

2022年（令和4年）

兵庫県感染症発生動向調査事業

年 報

兵庫県立健康科学研究所
(兵庫県感染症情報センター)

はじめに

2020年に世界中で流行した新型コロナウイルス感染症は、2022年も感染者数は増加し続け、2021年同様、対応に追われた1年となりました。

兵庫県では、オミクロン株を中心とした第6波（週最大：第5週 37,143人）、第7波（週最大：第32週 71,886人）第8波（週最大：第51週 45,428人）が発生し、年間120万人を超える感染者が報告されました。

新型コロナウイルス感染症以外の感染症については、2022年もRSウイルス感染症や手足口病をはじめとする多くの感染症で患者数が顕著に減少しました。しかし、全数報告である梅毒やダニ媒介性の感染症、定点報告である季節性インフルエンザなど、増加した感染症もあり、感染症の発生動向の変化が見られる1年でもありました。

また、2023年5月から新型コロナウイルス感染症は全数報告から5類の定点報告になりましたが、依然としてオミクロン株を中心とした感染拡大が続いております。今後もの確な感染症対策のための適切な情報提供が迅速に行えるよう、よりいっそう努力して参りますので、関係機関の皆様方には、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここに2022年の事業年報を取りまとめました。本書を感染症対策の資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

最後に、この事業の実施にあたり、兵庫県医師会、郡市医師会、定点医療機関をはじめとする関係各位には、ひとかたならぬご理解とご尽力を賜っておりますことに、改めまして心からお礼申し上げます。

2023年12月

兵庫県立健康科学研究所長 大橋 秀隆

2022 年報告週対応表

| 報告週 | 期 間 | 報告週 | 期 間 |
|-----|---------------------|-----|----------------------------|
| 1 | 1 月 3 日 ～ 1 月 9 日 | 27 | 7 月 4 日 ～ 7 月 10 日 |
| 2 | 1 月 10 日 ～ 1 月 16 日 | 28 | 7 月 11 日 ～ 7 月 17 日 |
| 3 | 1 月 17 日 ～ 1 月 23 日 | 29 | 7 月 18 日 ～ 7 月 24 日 |
| 4 | 1 月 24 日 ～ 1 月 30 日 | 30 | 7 月 25 日 ～ 8 月 31 日 |
| 5 | 1 月 31 日 ～ 2 月 6 日 | 31 | 8 月 1 日 ～ 8 月 7 日 |
| 6 | 2 月 7 日 ～ 2 月 13 日 | 32 | 8 月 8 日 ～ 8 月 14 日 |
| 7 | 2 月 14 日 ～ 2 月 20 日 | 33 | 8 月 15 日 ～ 8 月 21 日 |
| 8 | 2 月 21 日 ～ 2 月 27 日 | 34 | 8 月 22 日 ～ 8 月 28 日 |
| 9 | 2 月 28 日 ～ 3 月 6 日 | 35 | 8 月 29 日 ～ 9 月 4 日 |
| 10 | 3 月 7 日 ～ 3 月 13 日 | 36 | 9 月 5 日 ～ 9 月 11 日 |
| 11 | 3 月 14 日 ～ 3 月 20 日 | 37 | 9 月 12 日 ～ 9 月 18 日 |
| 12 | 3 月 21 日 ～ 3 月 27 日 | 38 | 9 月 19 日 ～ 9 月 25 日 |
| 13 | 3 月 28 日 ～ 4 月 3 日 | 39 | 9 月 26 日 ～ 10 月 2 日 |
| 14 | 4 月 4 日 ～ 4 月 10 日 | 40 | 10 月 3 日 ～ 10 月 9 日 |
| 15 | 4 月 11 日 ～ 4 月 17 日 | 41 | 10 月 10 日 ～ 10 月 16 日 |
| 16 | 4 月 18 日 ～ 4 月 24 日 | 42 | 10 月 17 日 ～ 10 月 23 日 |
| 17 | 4 月 25 日 ～ 5 月 1 日 | 43 | 10 月 24 日 ～ 10 月 30 日 |
| 18 | 5 月 2 日 ～ 5 月 8 日 | 44 | 10 月 31 日 ～ 11 月 6 日 |
| 19 | 5 月 9 日 ～ 5 月 15 日 | 45 | 11 月 7 日 ～ 11 月 13 日 |
| 20 | 5 月 16 日 ～ 5 月 22 日 | 46 | 11 月 14 日 ～ 11 月 20 日 |
| 21 | 5 月 23 日 ～ 5 月 29 日 | 47 | 11 月 21 日 ～ 11 月 27 日 |
| 22 | 5 月 30 日 ～ 6 月 5 日 | 48 | 11 月 28 日 ～ 12 月 4 日 |
| 23 | 6 月 6 日 ～ 6 月 12 日 | 49 | 12 月 5 日 ～ 12 月 11 日 |
| 24 | 6 月 13 日 ～ 6 月 19 日 | 50 | 12 月 12 日 ～ 12 月 18 日 |
| 25 | 6 月 20 日 ～ 6 月 26 日 | 51 | 12 月 19 日 ～ 12 月 25 日 |
| 26 | 6 月 27 日 ～ 7 月 3 日 | 52 | 12 月 26 日 ～ 2023 年 1 月 1 日 |

目 次

1. 事業の概要

- 1. 1 兵庫県における感染症発生動向調査システム 1
- 1. 2 地域の区分と地域別定点数 5

2. 患者発生状況

- 2. 1 概要 7
- 2. 2 結核、腸管出血性大腸菌感染症、梅毒、新型コロナウイルス感染症及び
定点把握対象疾病の動向 9
 - (1) 結核 10
 - (2) 腸管出血性大腸菌感染症 11
 - (3) 梅毒 12
 - (4) 新型コロナウイルス感染症 14
 - (5) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く） 16
 - (6) RS ウイルス感染症 17
 - (7) 咽頭結膜熱 18
 - (8) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 19
 - (9) 感染性胃腸炎 20
 - (10) 水痘 21
 - (11) 手足口病 22
 - (12) 伝染性紅斑 23
 - (13) 突発性発しん 24
 - (14) ヘルパンギーナ 25
 - (15) 流行性耳下腺炎 26
 - (16) 急性出血性結膜炎 27
 - (17) 流行性角結膜炎 28
 - (18) 細菌性髄膜炎
(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く) 29
 - (19) 無菌性髄膜炎 30
 - (20) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る） 31
 - (21) 性器クラミジア感染症 32
 - (22) 性器ヘルペスウイルス感染症 34
 - (23) 尖圭コンジローマ 36
 - (24) 淋菌感染症 38
 - (25) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 40
 - (26) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 41
 - (27) 薬剤耐性緑膿菌感染症 42

3. 病原微生物検出状況

| | |
|-------------------------------|----|
| (1) 腸管出血性大腸菌感染症事例 | 43 |
| (2) 細菌による食中毒（疑）事例 | 43 |
| (3) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症事例 | 43 |
| (4) 侵襲性肺炎球菌感染症事例 | 43 |
| (5) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症事例 | 44 |
| (6) その他の細菌検査 | 44 |
| (7) 結核菌の同定試験及び結核の感染源調査 | 45 |
| (8) 新型コロナウイルスの検出状況 | 47 |
| (9) インフルエンザウイルスの検出状況 | 47 |
| (10) 日本脳炎流行予測調査結果 | 48 |
| (11) 蚊媒介感染症の検査 | 48 |
| (12) ダニ媒介感染症の検査 | 48 |
| (13) HIV 及び肝炎ウイルスの検査 | 48 |
| (14) 集団嘔吐下痢症事例からのノロウイルス等の検出状況 | 49 |
| (15) 麻しん及び風しんウイルスの検出状況 | 49 |
| (16) 感染症発生動向調査における月別病原体検出件数 | 50 |

4. 資料

| | |
|------------------------|----|
| (1) 全数把握対象疾病の患者数 | 52 |
| (2) 定点把握対象疾病の週（月）別患者数 | 57 |
| (3) 定点把握対象疾病の保健所別患者数 | 60 |
| (4) 定点把握対象疾病の年齢階級別患者数 | 63 |
| (5) 定点把握対象疾病（月報）の性別患者数 | 65 |

兵庫県感染症発生動向調査事業実施要領

1. 事業の概要

1. 1 兵庫県における感染症発生動向調査システム

図1に患者情報に関する兵庫県感染症発生動向調査システムを示す。コンピュータ・オンライン・システムは、結核及びその他の感染症の患者情報を迅速に収集、解析、還元することにより、適切な予防措置を講じ、流行を未然に防止することを目的として、1987年に結核・感染症サーベイランスシステムとして導入された。

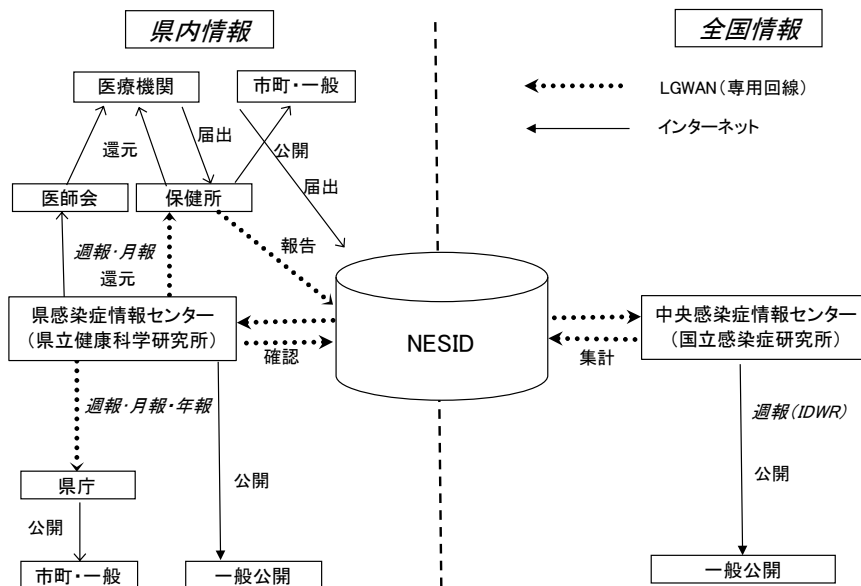
1999年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」が施行された。これに伴い、当研究所内に基幹地方感染症情報センターが設置され、政令市を含む兵庫県全域の感染症情報の集計・解析・情報還元の中核を担うこととなった。

2006年4月からは感染症発生動向調査システムが全面的に新しくなり、従来、収集された情報は全国の保健所、都道府県及び政令市、国の各レベルで集積され、そのためのデータベースプログラムが各組織に配布されていたが、新システム（NESID）では、これらの情報はブラウザで取り扱われて、国レベルで一元管理されることになった。

2007年4月の感染症法の改正では、発生動向調査対象疾病の類型分けの変更や結核予防法の統合等がなされた。感染症法の改正がその後も行われた結果、2023年10月31日現在の対象疾病は疑似症を含めて118疾病（表1、表2、表3）となっている。

現在は、厚労省、地方自治体、医療機関等及びそれから業務の委託を受けた者を政府ネットワーク回線、LGWAN回線又はインターネット回線で結び、感染症法に基づく発生届の提出並びに感染者情報等の把握及び管理を支援する仕組みになっている。

図1 兵庫県感染症発生動向調査システム（2023年）



当感染症情報センターでは、表 1、表 2 に示す感染症発生動向調査システムの対象疾病である一類～五類感染症、新型インフルエンザ等感染症の合計 116 疾病（疑似症を除く）のうち、全数把握対象疾病（91 疾病）については県内すべての医療機関からの患者発生届出を、定点把握対象疾病（25 疾病）については県内に指定された医療機関（全 280 定点）からの報告を、保健所を通じて集計・解析し、感染症の動向に関するコメント・グラフを付し週報、月報及び年報として保健所、市町、医師会、医療機関等に還元するとともに、ホームページを通じて広く県民に公開している。

新型コロナウイルス感染症は、2020 年 5 月 29 日以降、従来の NESID に代わり、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS : Health Center Real-time information-sharing System on COVID-19）で患者情報の収集管理が行われており、医療機関や保健所でも入力された情報を感染症情報センターで確認することになっている。

※NESID : National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases 厚生労働省感染症サーベイランスシステム

表1 全数把握の対象疾病 (91 疾病)

(2023年9月25日現在)

| | 対象疾病 |
|---------------------|---|
| 一類感染症(7 疾病) | (1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱 |
| 二類感染症(7 疾病) | (8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARS コロナウイルスであるものに限る。)、(12)中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERS コロナウイルスであるものに限る。)、(13)鳥インフルエンザ(H5N1)、(14)鳥インフルエンザ(H7N9) |
| 三類感染症(5 疾病) | (15)コレラ、(16)細菌性赤痢、(17)腸管出血性大腸菌感染症、(18)腸チフス、(19)パラチフス |
| 四類感染症(44 疾病) | (20) E型肝炎、(21)ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、(22) A型肝炎、(23)エキノコックス症、(24)エムポックス、(25)黄熱、(26)オウム病、(27)オムスク出血熱、(28)回帰熱、(29)キャサナル森林病、(30)Q熱、(31)狂犬病、(32)コクシジオイデス症、(33)ジカウイルス感染症、(34)重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)、(35)腎症候性出血熱、(36)西部ウマ脳炎、(37)ダニ媒介脳炎、(38)炭疽、(39)チクングニア熱、(40)つつが虫病、(41)デング熱、(42)東部ウマ脳炎、(43)鳥インフルエンザ(H5N1 及びH7N9 を除く。)、(44)ニパウイルス感染症、(45)日本紅斑熱、(46)日本脳炎、(47)ハンタウイルス肺症候群、(48)Bウイルス病、(49)鼻疽、(50)ブルセラ症、(51)ベネズエラウマ脳炎、(52)ヘンドラウイルス感染症、(53)発しんチフス、(54)ポツリヌス症、(55)マラリア、(56)野兔病、(57)ライム病、(58)リッサウイルス感染症、(59)リフトバレー熱、(60)類鼻疽、(61)レジオネラ症、(62)レプトスピラ症、(63)ロッキー山紅斑熱 |
| 五類感染症(24 疾病) | (64)アメーバ赤痢、(65)ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)、(66)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、(67)急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)、(68)急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)、(69)クリプトスポリジウム症、(70)クロイツフェルト・ヤコブ病、(71)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(72)後天性免疫不全症候群、(73)ジアルジア症、(74)慢性インフルエンザ菌感染症、(75)侵襲性髄膜炎菌感染症、(76)侵襲性肺炎球菌感染症、(77)水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)、(78)先天性風しん症候群、(79)梅毒、(80)播種性クリプトコックス症、(81)破傷風、(82)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(83)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(84)百日咳、(85)風しん、(86)麻しん、(87)薬剤耐性アシネトバクター感染症 |
| 新型インフルエンザ等感染症(4 疾病) | (113)新型インフルエンザ、(114)再興型インフルエンザ、(115)新型コロナウイルス感染症、(116)再興型新型コロナウイルス感染症 |

表2 定点把握対象疾病 (五類感染症、疑似症)

(2023年9月25日現在)

| 患者定点 | 対象疾病 |
|---|--|
| 小児科定点(週報) 129 定点、10 疾病 | (88)RSウイルス感染症、(89)咽頭結膜熱、(91)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(92)感染性胃腸炎、(97)水痘、(101)手足口病、(102)伝染性紅斑、(103)突発性発しん、(105)ヘルパンギーナ、(111)流行性耳下腺炎 |
| インフルエンザ/COVID-19 (週報) 199 定点、2 疾病 | (90)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)(96)新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。) |
| 眼科定点(週報) 35 定点、2 疾病 | (93)急性出血性結膜炎、(110)流行性角結膜炎 |
| 性感染症定点(月報) 46 定点、4 疾病 | (98)性器クラミジア感染症、(99)性器ヘルペスウイルス感染症、(100)尖圭コンジローマ、(112)淋菌感染症 |
| 基幹定点(週報) 14 定点、6 疾病 | (90)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)*ただし、入院患者に限定する。 (92)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(94)クラミジア肺炎(オウム病を除く。)、(95)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)、(106)マイコプラズマ肺炎、(107)無菌性髄膜炎 |
| 基幹定点(月報) 14 定点、3 疾病 | (104)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(108)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (109)薬剤耐性緑膿菌感染症 |

| | |
|-------------------------|---|
| 疑似症 ^{*1} 41 定点 | <p>法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症 (117)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象</p> |
|-------------------------|---|

表3 定点以外把握対象疾病（疑似症）

(2023年9月25日現在)

| 患者定点 | 対象疾病 |
|-------------------|---|
| 疑似症 ^{*1} | <p>(118)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、都道府県知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。</p> |

^{*1}2019年4月1日改正。異常事象サーベイランスシステムで実施。

注)2023年5月26日にサル痘はエムポックス、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症はカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症に名称変更。

1. 2 地域の区分と地域別定点数

図2に、政令市、中核市及び保健所管内を単位とする地域の区分を示す。

表4に、五類感染症の地域別定点数と人口の関係を示す。

2022年の定点数は、インフルエンザ199定点、小児科129定点、眼科35定点、性感染症46定点、基幹14定点である。

図2 地域の区分

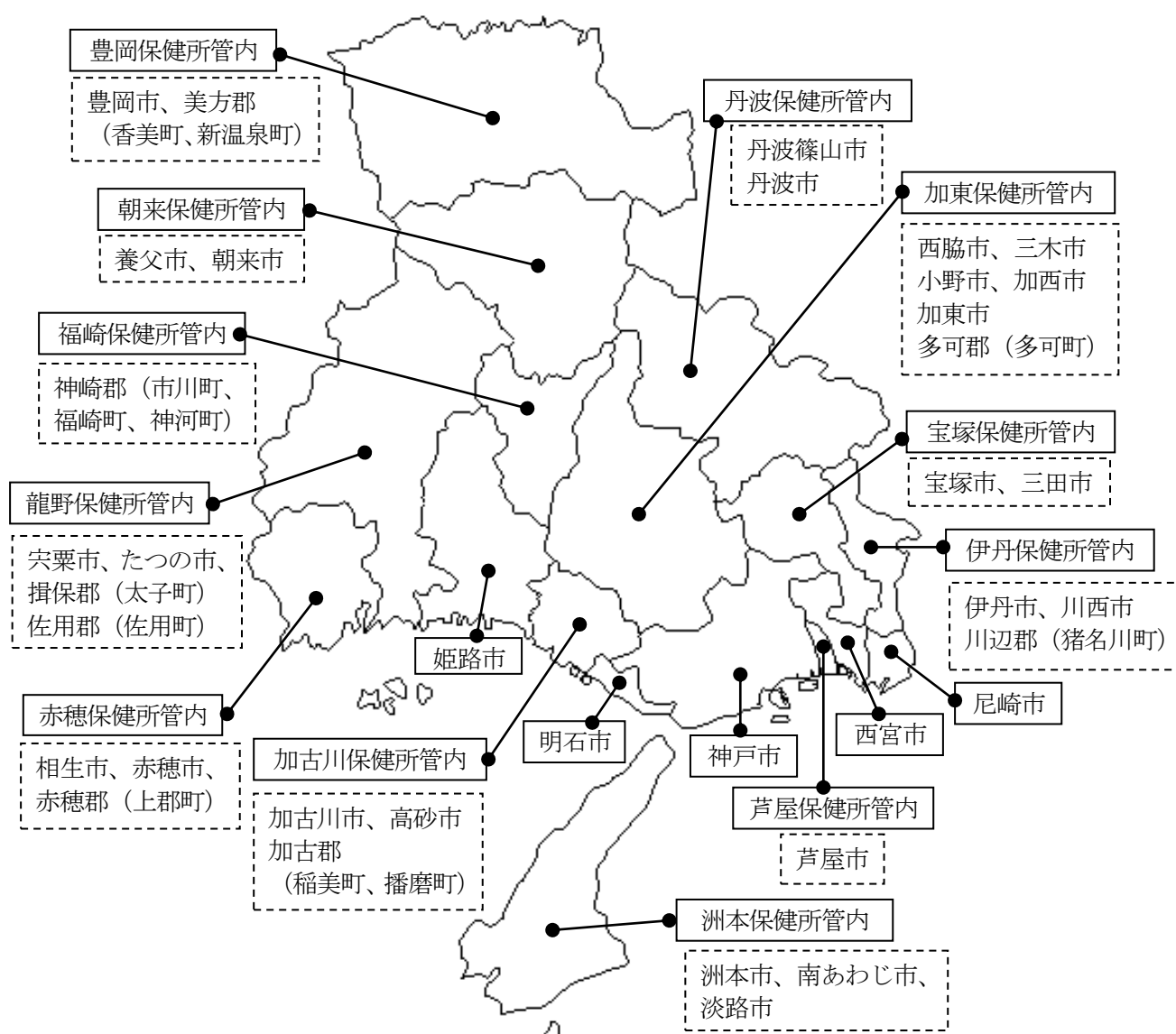


表4 地域別定点数と人口の関係

| 区分 | 人口 (万人) | 人口比 (%) | インフルエンザ定点 | | 小児科定点 | | 眼科定点 | | 性感染症定点 | | 基幹定点 | |
|--------------|------------|------------|-----------|------------------|-------|------------------|------|------------------|--------|------------------|------|------------------|
| | | | 定点数 | 定点あたりの人口 (万人) | 定点数 | 定点あたりの人口 (万人) | 定点数 | 定点あたりの人口 (万人) | 定点数 | 定点あたりの人口 (万人) | 定点数 | 定点あたりの人口 (万人) |
| 神戸市 | 151.2 | 28.0 | 48 | 3.2 | 31 | 4.9 | 10 | 15.1 | 12 | 12.6 | 3 | 50.4 |
| 姫路市 | 52.6 | 9.7 | 19 | 2.8 | 13 | 4.0 | 3 | 17.5 | 4 | 13.2 | 1 | 52.6 |
| 尼崎市 | 45.6 | 8.4 | 15 | 3.0 | 10 | 4.6 | 3 | 15.2 | 4 | 11.4 | 1 | 45.6 |
| 明石市 | 30.4 | 5.6 | 11 | 2.8 | 7 | 4.3 | 2 | 15.2 | 2 | 15.2 | 0 | |
| 西宮市 | 48.4 | 9.0 | 14 | 3.5 | 9 | 5.4 | 3 | 16.1 | 3 | 16.1 | 1 | 48.4 |
| 芦屋 保健所管内 | 9.4 | 1.7 | 3 | 3.1 | 2 | 4.7 | 1 | 9.4 | 1 | 9.4 | 0 | |
| 宝塚 保健所管内 | 33.2 | 6.1 | 9 | 3.7 | 6 | 5.5 | 2 | 16.6 | 3 | 11.1 | 0 | |
| 伊丹 保健所管内 | 37.7 | 7.0 | 12 | 3.1 | 8 | 4.7 | 2 | 18.9 | 2 | 18.9 | 0 | |
| 加古川 保健所管内 | 40.8 | 7.5 | 14 | 2.9 | 9 | 4.5 | 3 | 13.6 | 4 | 10.2 | 1 | 40.8 |
| 加東 保健所管内 | 25.9 | 4.8 | 13 | 2.0 | 8 | 3.2 | 2 | 13.0 | 3 | 8.6 | 1 | 25.9 |
| 福崎 保健所管内 | 4 | 0.7 | 2 | 2.0 | 1 | 4.0 | 1 | 4.0 | 1 | 4.0 | 0 | |
| 龍野 保健所管内 | 15.5 | 2.9 | 8 | 1.9 | 5 | 3.1 | 1 | 15.5 | 1 | 15.5 | 1 | 15.5 |
| 赤穂 保健所管内 | 8.6 | 1.6 | 6 | 1.4 | 4 | 2.2 | 0 | | 1 | 8.6 | 1 | 8.6 |
| 豊岡 保健所管内 | 10.4 | 2.0 | 8 | 1.3 | 5 | 2.1 | 1 | 10.4 | 1 | 10.4 | 1 | 10.4 |
| 朝来 保健所管内 | 4.9 | 0.9 | 3 | 1.6 | 2 | 2.5 | 0 | | 1 | 4.9 | 1 | 4.9 |
| 丹波 保健所管内 | 9.9 | 1.8 | 6 | 1.7 | 4 | 2.5 | 0 | | 1 | 9.9 | 1 | 9.9 |
| 洲本 保健所管内 | 12.5 | 2.3 | 8 | 1.6 | 5 | 2.5 | 1 | 12.5 | 2 | 6.3 | 1 | 12.5 |
| 合計 | 541.1 | 100.0 | 199 | 2.7 | 129 | 4.2 | 35 | 15.5 | 46 | 11.8 | 14 | 38.6 |

(人口:2022年7月1日推計人口)

2. 患者発生状況

2. 1 概要

2. 1. 1 全数把握対象疾病

表 5 に全数把握対象疾病の年間患者数を示す。2022 年は、一類感染症は報告がなく、二類感染症は結核 762 人であった。患者数の多い疾病は、三類感染症では腸管出血性大腸菌感染症 94 人、四類感染症ではレジオネラ症 81 人、五類感染症では梅毒 393 人、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 81 人であった。また、新型コロナウイルス感染症は 1,202,985 人の報告があり、2021 年の 68,584 人の約 18 倍と大幅な増加となった。

この新型コロナウイルス感染症の大流行の影響もあり、2022 年も多くの感染症で患者数が減少した中で、梅毒の患者数は増加しており、2000 年以降で最多の患者数となった。

2. 1. 2 定点把握対象疾病

表 6 に週報疾病別年間患者数を、表 7 に月報疾病別年間患者数を示す。

週報対象疾病のうち、インフルエンザ定点及び小児科定点対象疾病で 2022 年の患者数が多い疾病は、感染性胃腸炎 29,025 人、RS ウイルス感染症 6,512 人の順であった。2021 年と比較すると、インフルエンザ [35 人→807 人] と増加が顕著であった。

患者数が著しく減少した疾病は RS ウイルス感染症が [10,712 人→6,512 人]、手足口病 [4,356 人→3,776 人] であった。

眼科定点対象疾病では、急性出血性結膜炎 [3 人→7 人] の患者数が増加した。基幹定点対象疾病では、マイコプラズマ肺炎 [10 人→0 人] の患者数が減少した。

月報対象疾病では、性器ヘルペスウイルス感染症 [281 人→245 人] の患者数が減少した。

表5 全数把握対象疾病の年間患者数（届出のあった疾病）

（2023年10月30日現在の兵庫県感染症情報センターにおける把握）

| | 疾 病 名 | 2020年患者数 | 2021年患者数 | 2022年患者数 |
|---------------|----------------------------|----------|----------|-----------|
| 二類 | 結核 | 906 | 809 | 762 |
| 三類 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 114 | 84 | 94 |
| 四類 | E型肝炎 | 6 | 1 | 5 |
| | A型肝炎 | 2 | 1 | 3 |
| | 重症熱性血小板減少症候群 ^{*A} | 0 | 1 | 2 |
| | つつが虫病 | 7 | 4 | 9 |
| | デング熱 | 2 | 0 | 2 |
| | 日本紅斑熱 | 11 | 23 | 17 |
| | マラリア | 0 | 1 | 1 |
| | ライム病 | 0 | 1 | 0 |
| | レジオネラ症 | 100 | 91 | 81 |
| | レプトスピラ症 | 1 | 0 | 0 |
| 五類 | アメーバ赤痢 | 27 | 30 | 24 |
| | ウイルス性肝炎 ^{*B} | 5 | 6 | 8 |
| | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 84 | 75 | 81 |
| | 急性弛緩性麻痺 ^{*C*1} | 1 | 0 | 0 |
| | 急性脳炎 ^{*D} | 19 | 16 | 11 |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 4 | 3 | 2 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 41 | 32 | 22 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 43 | 32 | 23 |
| | ジアルジア症 | 2 | 4 | 3 |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 5 | 13 | 12 |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 1 | 0 | 1 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 92 | 68 | 62 |
| | 水痘（入院例） | 22 | 10 | 9 |
| | 梅毒 | 217 | 263 | 393 |
| | 播種性クリプトコックス症 | 5 | 7 | 6 |
| | 破傷風 | 3 | 3 | 1 |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 1 | 3 | 2 |
| | 百日咳 | 141 | 44 | 15 |
| | 風しん | 7 | 1 | 0 |
| | 麻しん | 1 | 0 | 1 |
| 新型インフルエンザ等感染症 | 新型コロナウイルス感染症 ^{*E} | 10,330 | 68,584 | 1,202,985 |

名称は2023年10月30日現在のものを使用。

^{*A} 病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。^{*B} E型肝炎及びA型肝炎を除く。^{*C} 急性灰白髄炎を除く。^{*D} ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

^{*E} 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

^{*1} 2018年5月1日より追加。

表 6 疾病別年間患者数 (週報)

| 疾 病 名 | 2020 年 | | 2021 年 | | 2022 年 | |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 患者数 | 定点あたり | 患者数 | 定点あたり | 患者数 | 定点あたり |
| インフルエンザ ^{*A} | 24,348 | 122.51 | 35 | 0.18 | 807 | 4.08 |
| RS ウイルス感染症 | 635 | 4.94 | 10,712 | 83.07 | 6,512 | 50.88 |
| 咽頭結膜熱 | 1,297 | 10.08 | 1,325 | 10.29 | 993 | 7.76 |
| A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 4,143 | 32.21 | 2,405 | 18.70 | 1,660 | 12.97 |
| 感染性胃腸炎 | 18,039 | 140.15 | 28,256 | 219.69 | 29,025 | 226.76 |
| 水痘 | 1,026 | 7.97 | 585 | 4.55 | 445 | 3.48 |
| 手足口病 | 401 | 3.11 | 4,356 | 33.79 | 3,776 | 29.50 |
| 伝染性紅斑 | 584 | 4.54 | 86 | 0.67 | 88 | 0.69 |
| 突発性発しん | 2,216 | 17.22 | 2,099 | 16.31 | 1,614 | 12.61 |
| ヘルパンギーナ | 958 | 7.43 | 1,497 | 11.61 | 957 | 7.48 |
| 流行性耳下腺炎 | 294 | 2.28 | 300 | 2.33 | 202 | 1.58 |
| 急性出血性結膜炎 | 10 | 0.29 | 3 | 0.09 | 7 | 0.20 |
| 流行性角結膜炎 | 499 | 14.26 | 317 | 9.06 | 326 | 9.31 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 45 | 3.21 | 12 | 0.86 | 11 | 0.79 |
| 無菌性髄膜炎 | 35 | 2.50 | 42 | 3.00 | 32 | 2.29 |
| マイコプラズマ肺炎 | 126 | 9.00 | 10 | 0.71 | 0 | - |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 1 | 0.07 | 1 | 0.07 | 0 | - |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルス) | 8 | 0.57 | 7 | 0.50 | 3 | 0.21 |

^{*A} 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。^{*B} インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

表 7 疾病別年間患者数 (月報)

| 疾 病 名 | 2020 年 | | 2021 年 | | 2022 年 | |
|-------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 患者数 | 定点あたり | 患者数 | 定点あたり | 患者数 | 定点あたり |
| 性器クラミジア感染症 | 1,119 | 24.40 | 1,072 | 23.30 | 1,172 | 25.48 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 309 | 6.74 | 281 | 6.11 | 245 | 5.33 |
| 尖圭コンジローマ | 185 | 4.04 | 186 | 4.04 | 207 | 4.50 |
| 淋菌感染症 | 300 | 6.54 | 319 | 6.93 | 316 | 6.87 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 576 | 41.14 | 589 | 42.07 | 583 | 41.64 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 30 | 2.14 | 13 | 0.93 | 13 | 0.93 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 10 | 0.71 | 8 | 0.57 | 6 | 0.43 |

2.2 結核、腸管出血性大腸菌感染症、梅毒、新型コロナウイルス感染症及び定点把握対象疾病の動向

2022 年の感染症発生動向調査事業における週報及び月報の患者情報を解析し、週(月)別患者数、保健所別患者数及び年齢階級別患者数を求めた。性感染症では性別・年齢階級別患者数を求めた。これらの統計表は付表として本誌 52~65 ページに掲載した。

全数把握対象疾病のうち患者数の多い結核、腸管出血性大腸菌感染症、梅毒、新型コロナウイルス感染症及び定点把握対象疾病について、各疾病の動向を以下に示す。

なお、新型コロナウイルス感染症は NESID に代わって導入された HER-SYS への入力が入分に進んでいないため、県庁の日々の公表データを基に、患者情報の解析を行った。

(1) 結核

結核の年間患者数は762人で、2021年の809人より減少した。性別分布は男性403人、女性359人であった。

患者の年齢階級別割合は10歳未満0.9%、10歳代1%、20歳代5%、30歳代4%、40歳代6%、50歳代9%、60歳代8%、70歳代26%、80歳代29%、90歳以上12%となり、70歳以上の高齢者が全体の67%を占めていた。

病型別では、肺結核が341人(45%)、肺結核及びその他の結核が43人(6%)、その他の結核が155人(20%)、無症状病原体保有者が221人(29%)、疑似症患者が2人(0.3%)であった。

図 3-1 結核の週別患者数

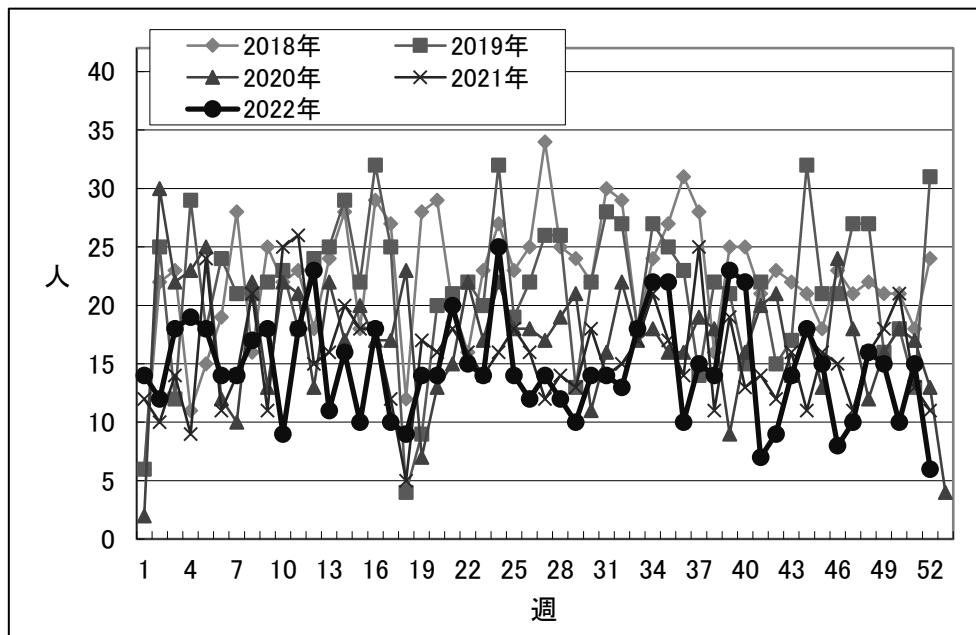
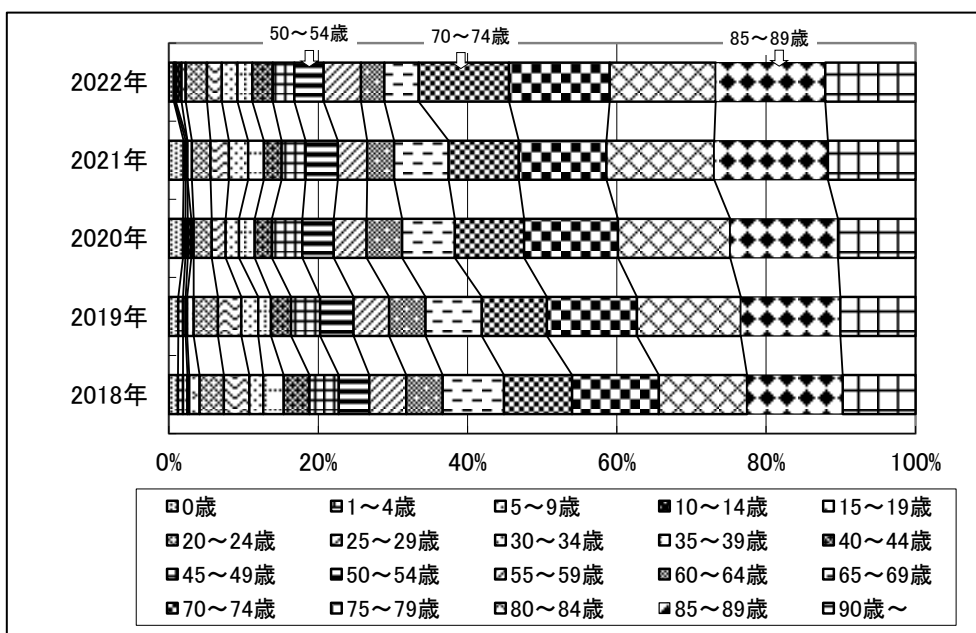


図 3-2 結核患者の年齢階級別割合



(2) 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の年間患者数は94人で、2021年の84人より増加した。28週（7月中旬）に9人、42週（10月下旬）に8人の患者が報告された。性別分布は男性40人、女性54人であった。

患者の年齢階級別割合は10歳未満21%、10歳代12%、20歳代19%、30歳代12%、40歳代10%、50歳代15%、60歳代4%、70歳以上7%であった。

有症者は63人で、うち8人が溶血性尿毒症症候群を発症し、無症状病原体保有者は31人であった。O血清型別では、O157が65人、O26が12人の順で多かった。

図 4-1 腸管出血性大腸菌感染症の週別患者数

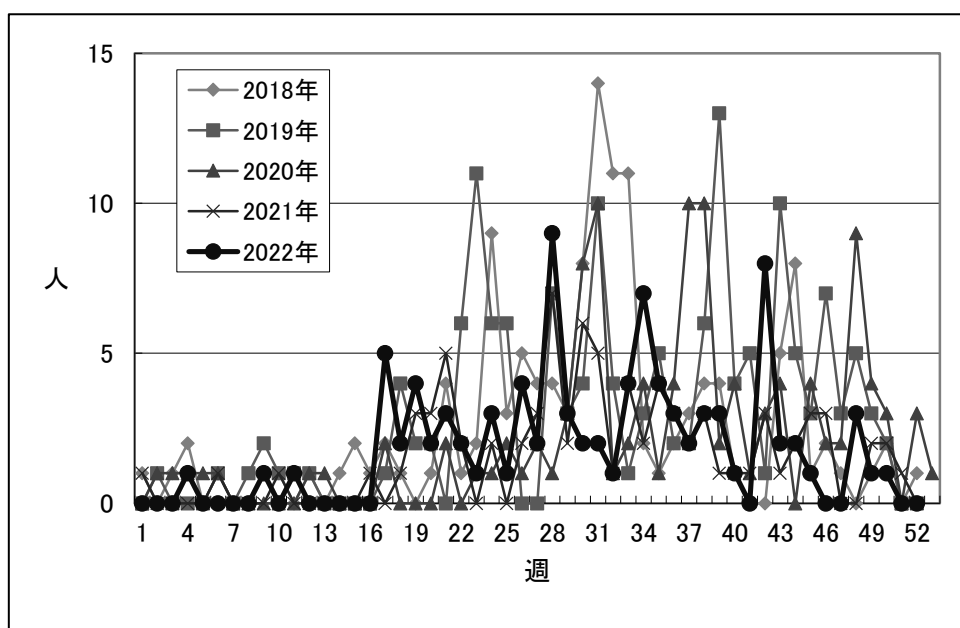
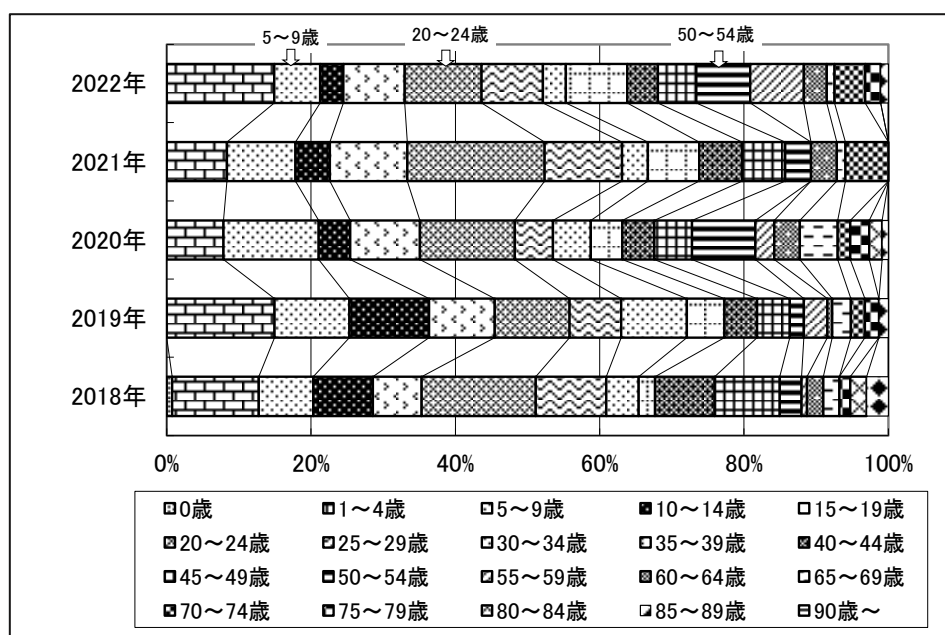


図 4-2 腸管出血性大腸菌感染症患者の年齢階級別割合



(3) 梅毒

梅毒の年間患者数は393人で、2021年の263人より増加した。性別分布は男性297人（2021年183人）、女性96人（2021年80人）と、2022年は男性患者、女性患者共に増加した。

患者の年齢階級別割合は10歳代3%、20歳代30%、30歳代18%、40歳代21%、50歳代17%、60歳代7%、70歳代及び80歳以上が各2%となり、20～50歳代の患者数が多くなっている。

感染原因として、92%が性的接触を報告しており、感染地域は兵庫県内が235人、その他国内が41人、国外が2人、不明が115人であった。

図5-1 梅毒の週別患者数

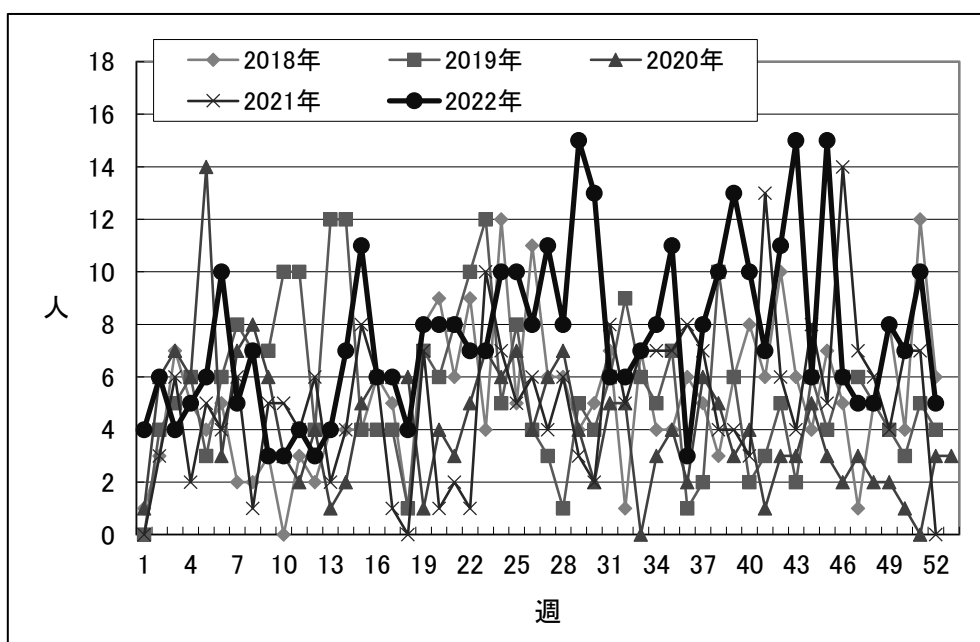


図5-2 梅毒患者の年齢階級別割合

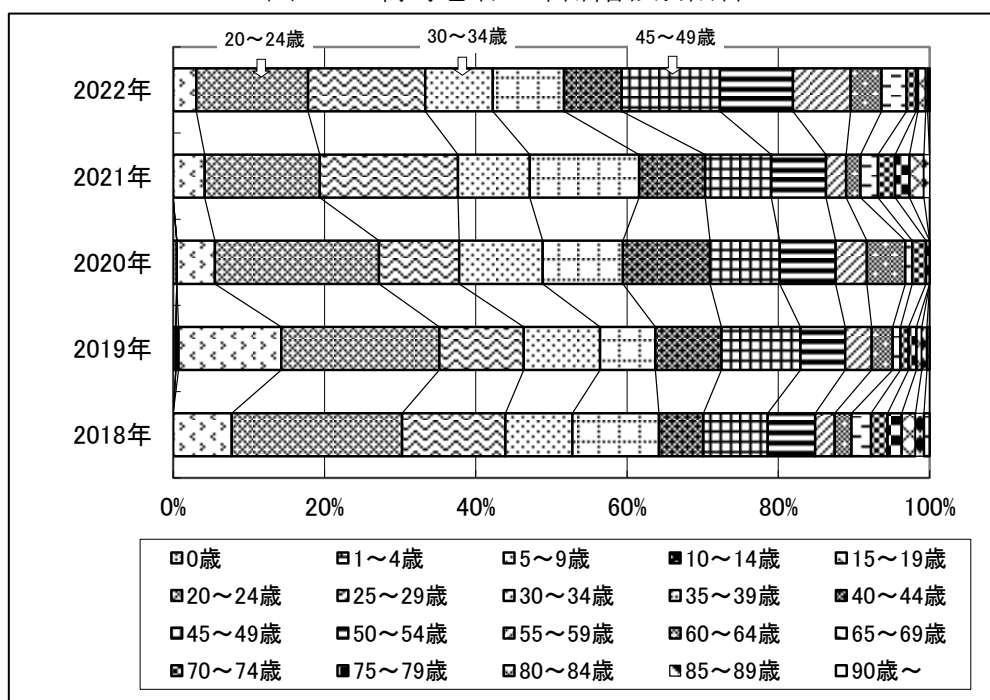


図 5-3 梅毒の年齢階級別患者数 (男性)

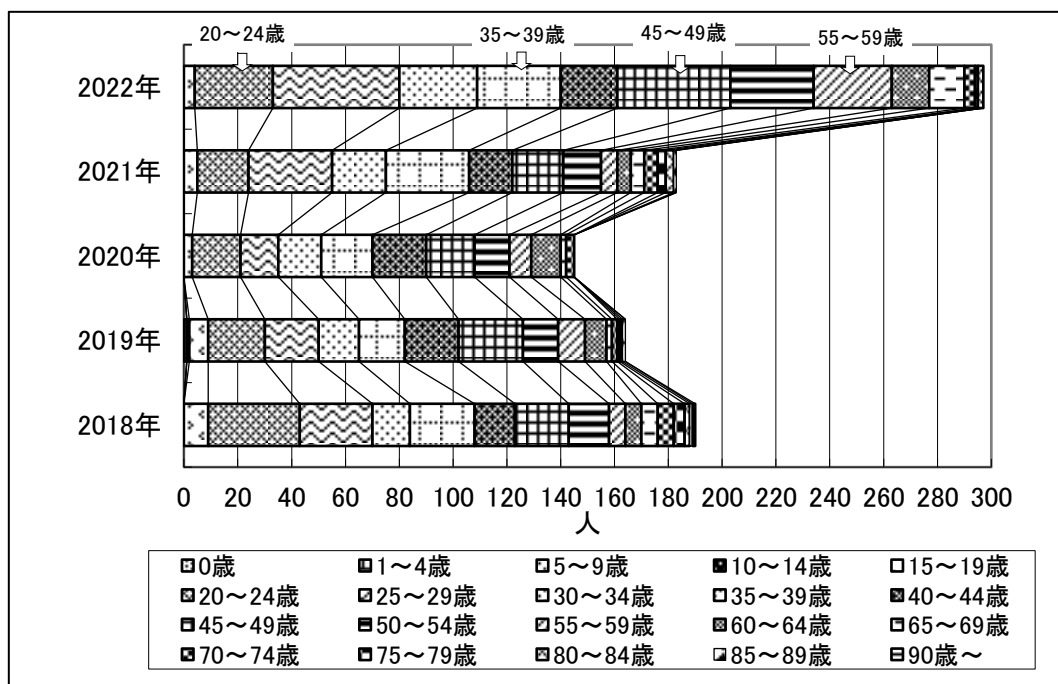
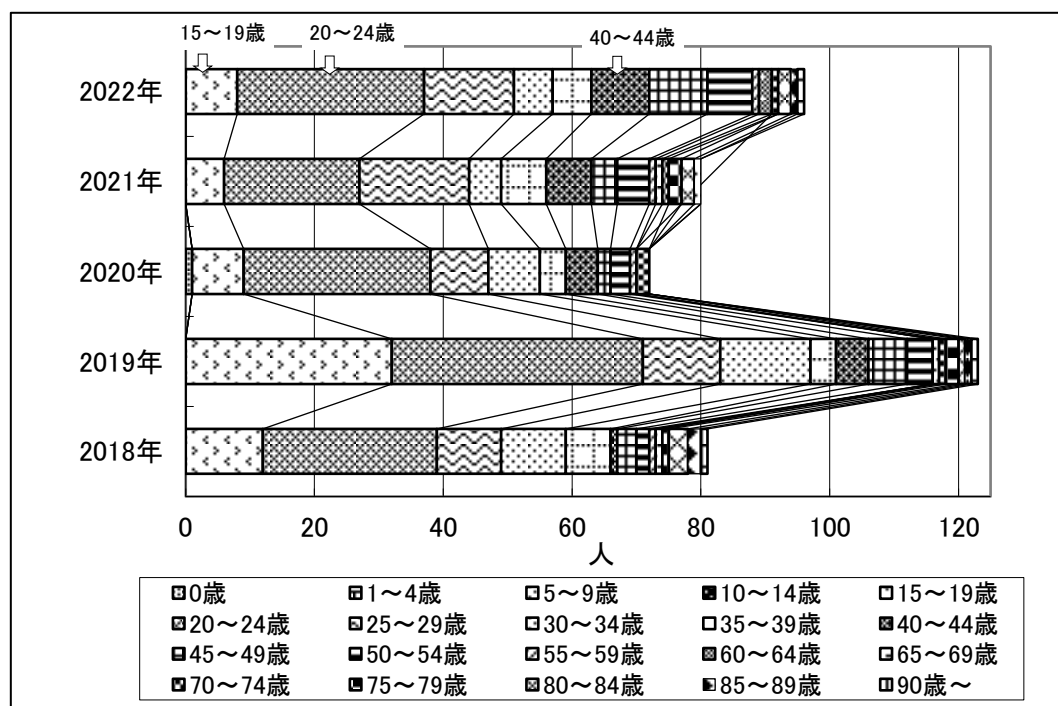


図 5-4 梅毒の年齢階級別患者数 (女性)



(4) 新型コロナウイルス感染症

2022年の年間患者数は1,202,985人で、2021年の68,584人の約18倍と大幅に増加した。5週（2月上旬）の37,143人及び32週（8月中旬）の71,886人をピークに流行が繰り返された。

患者の年齢階級別割合は10歳未満14%、10歳代15%、20歳代14%、30歳代14%、40歳代15%、50歳代11%、60歳代7%、70歳代5%、80歳以上5%となり、0～40歳代が全体の72%を占めていた。

図 6-1 新型コロナウイルス感染症の週別患者数

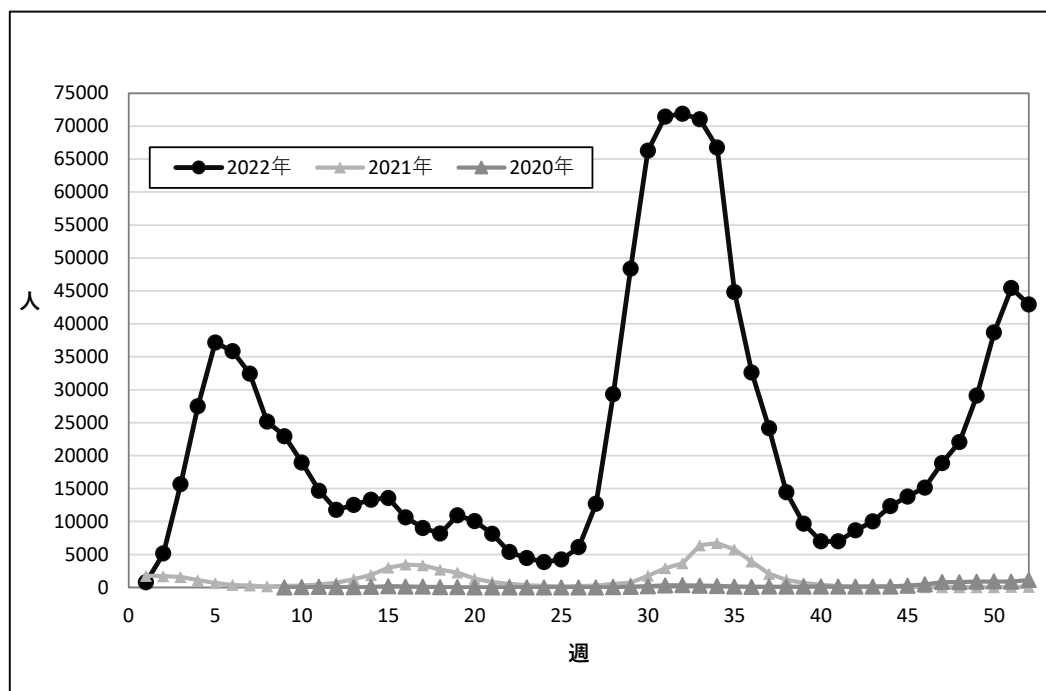


図 6-2 新型コロナウイルス感染症患者の年齢階級別割合

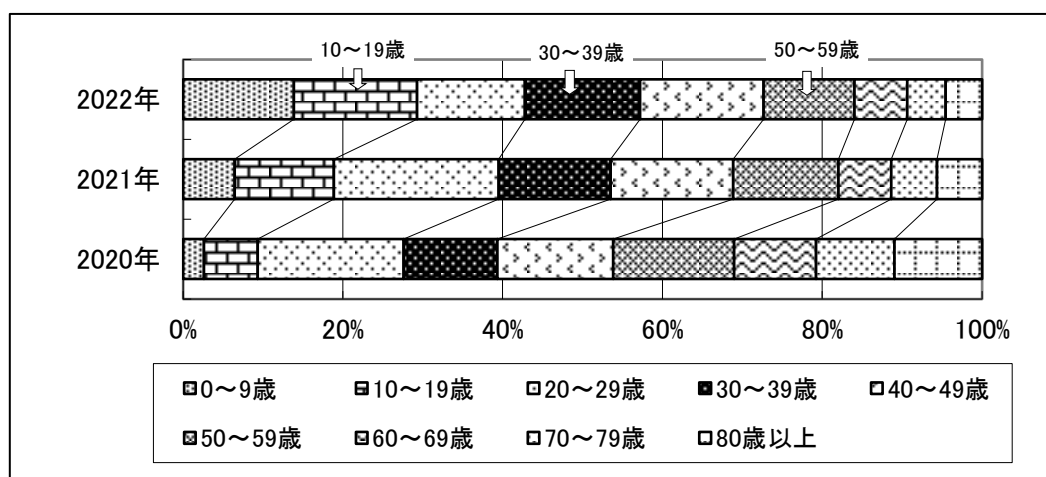
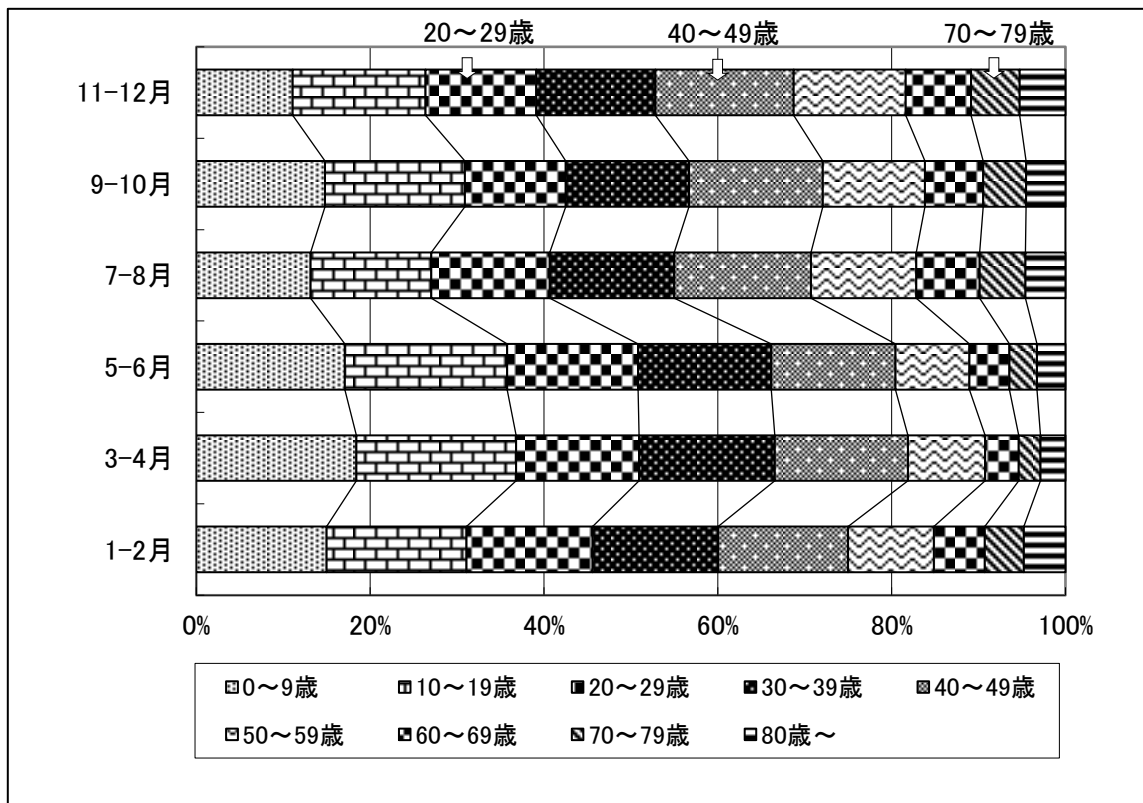


図 6-3 新型コロナウイルス感染症患者の月別年齢階級別割合



(5) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）

年間患者数は807人（定点あたり4.08人）で、2021年の35人（0.18人）より増加した。週別定点あたり患者数は、患者数1.5人以下で推移した。

当研究所で行った検査では、AH3亜型（A香港型）のインフルエンザウイルスを19件検出した。

患者の年齢階級別割合では、9歳以下の患者が全体の45%、14歳以下の患者が全体の67%を占めていた。

図 7-1 インフルエンザの週別定点あたり患者数

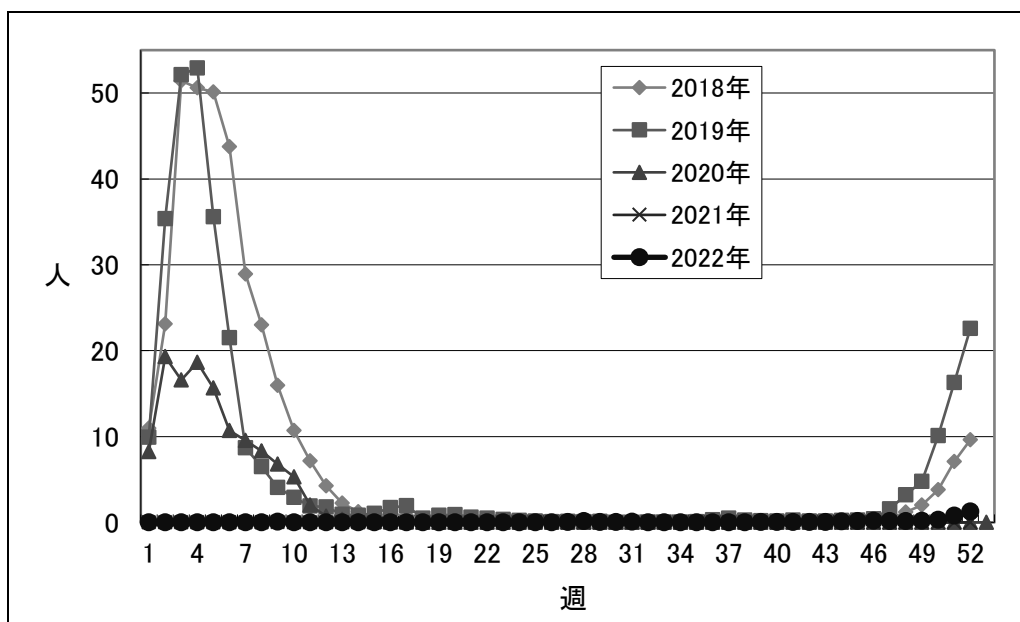
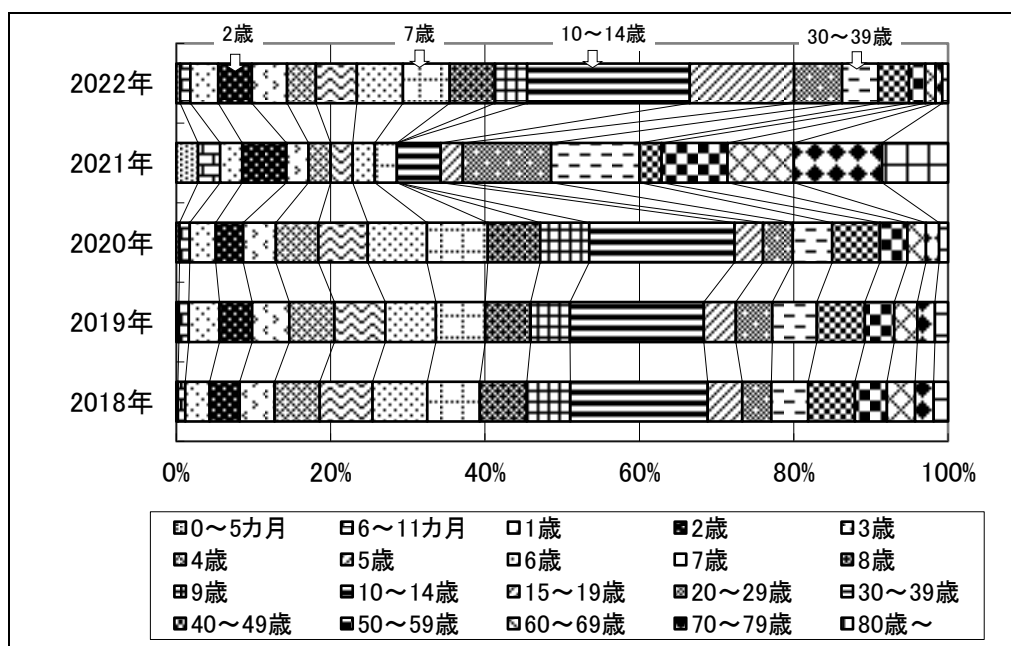


図 7-2 インフルエンザ患者の年齢階級別割合



(6) RS ウイルス感染症

年間患者数は6,512人（定点あたり50.88人）で、2021年の10,712人（83.07人）より大きく減少した。

週別定点あたり患者数は30週（7月下旬）の5.68人が最大で、例年の秋から冬にかけての流行ではなく、2021年と同様に夏の流行であった。

患者の年齢階級別割合では、0歳の患者が全体の17%、1歳以下の患者が46%、2歳以下の患者が69%を占めていた。

図 8-1 RS ウイルス感染症の週別定点あたり患者数

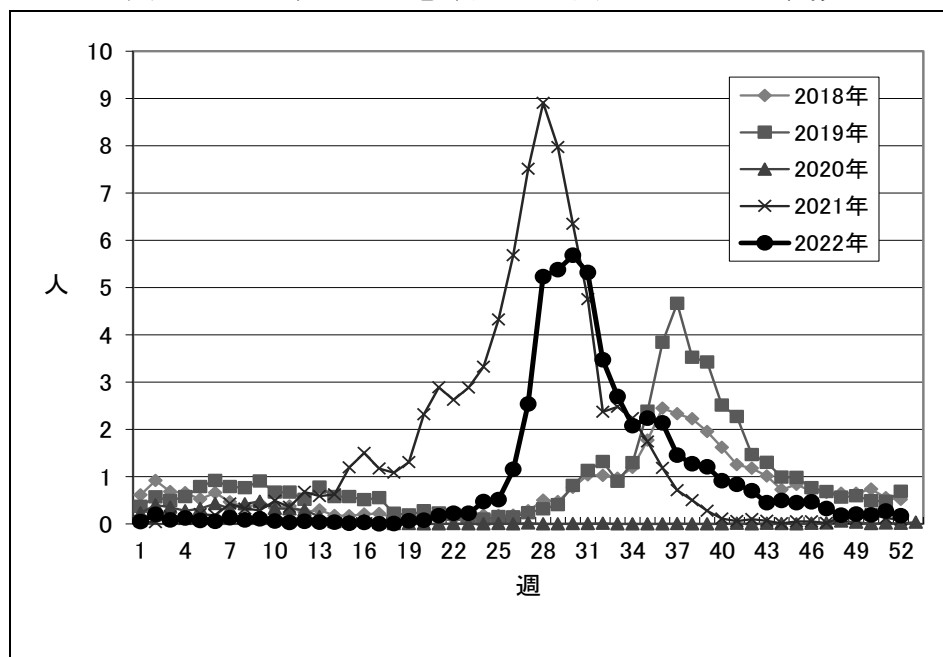
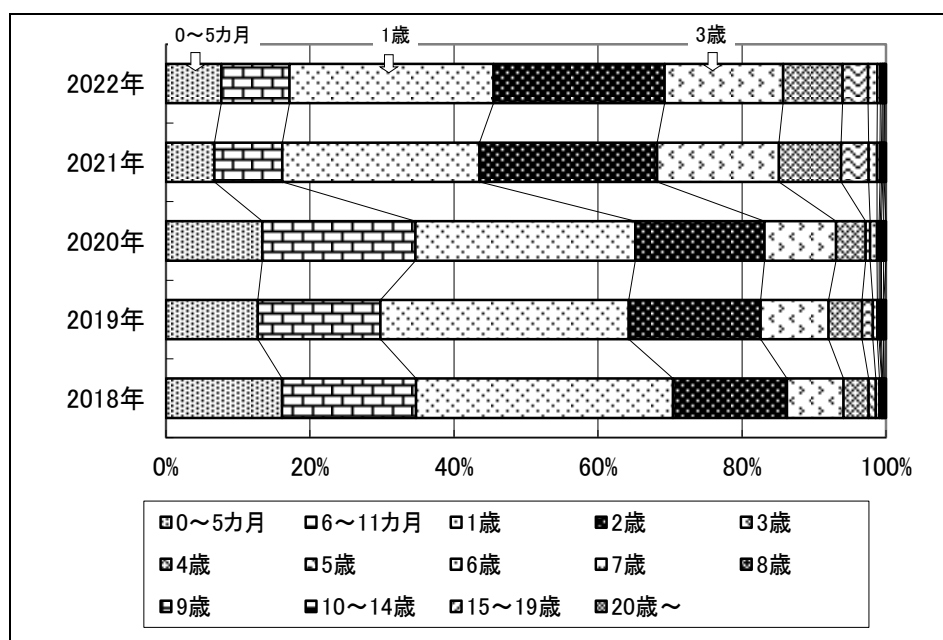


図 8-2 RS ウイルス感染症患者の年齢階級別割合



(7) 咽頭結膜熱

年間患者数は993人(定点あたり7.76人)で、2021年の1,325人(10.29人)より減少した。週別定点あたり患者数は21週(5月下旬)から増加し始め、25週(6月下旬)に最大のピーク(0.62人)を示した。

患者の年齢階級別割合は1歳40%、2歳21%、3歳12%、0歳8%の順で多く、0~5歳の患者が全体の92%、0~9歳の患者が全体の98%を占めていた。

図9-1 咽頭結膜熱の週別定点あたり患者数

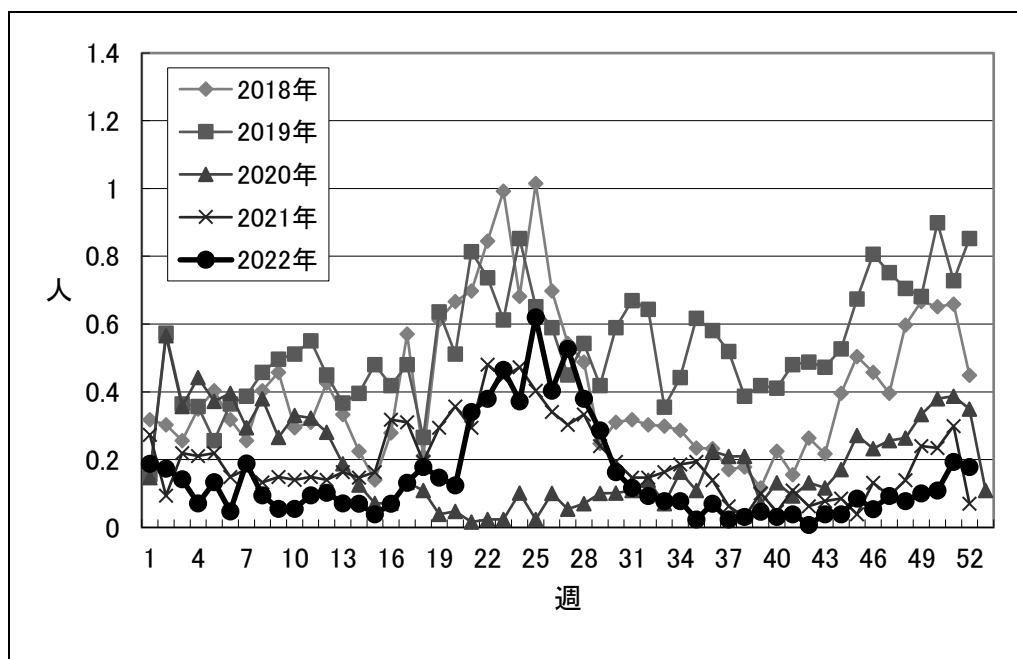
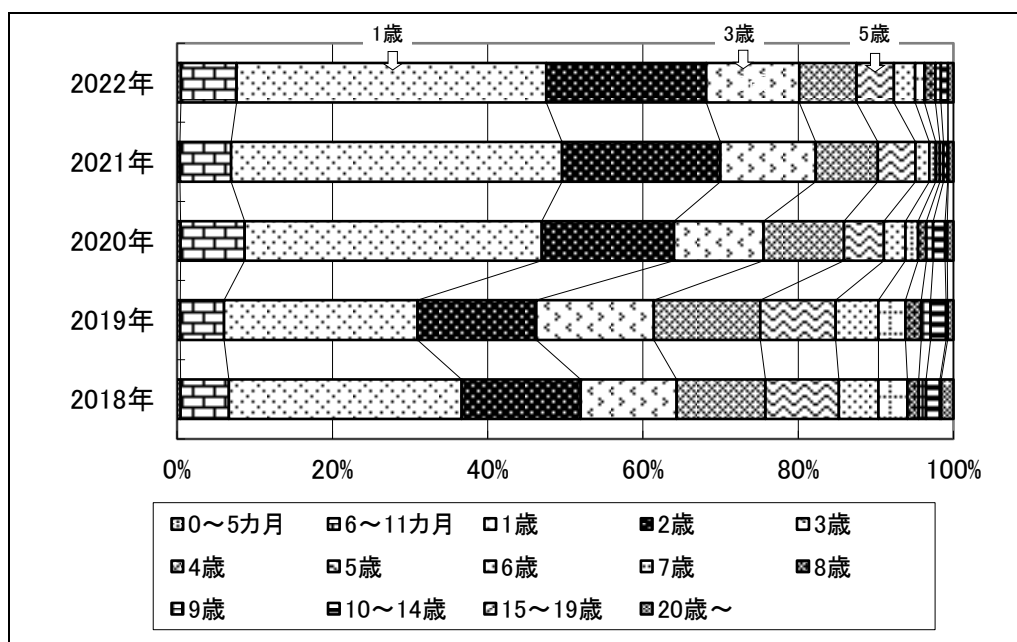


図9-2 咽頭結膜熱患者の年齢階級別割合



(8) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

年間患者数は1,660人(定点あたり12.97人)で、2021年の2,405人(18.70人)より減少した。

週別定点あたり患者数は、定点あたり1人以下の少ない状態で推移した。

患者の年齢階級別割合は4歳及び5歳が各13%、3歳12%、2歳11%、1歳及び10~14歳が各10%の順で多く、1~9歳の患者が全体の84%、1~14歳の患者が全体の94%を占めていた。

図10-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の週別定点あたり患者数

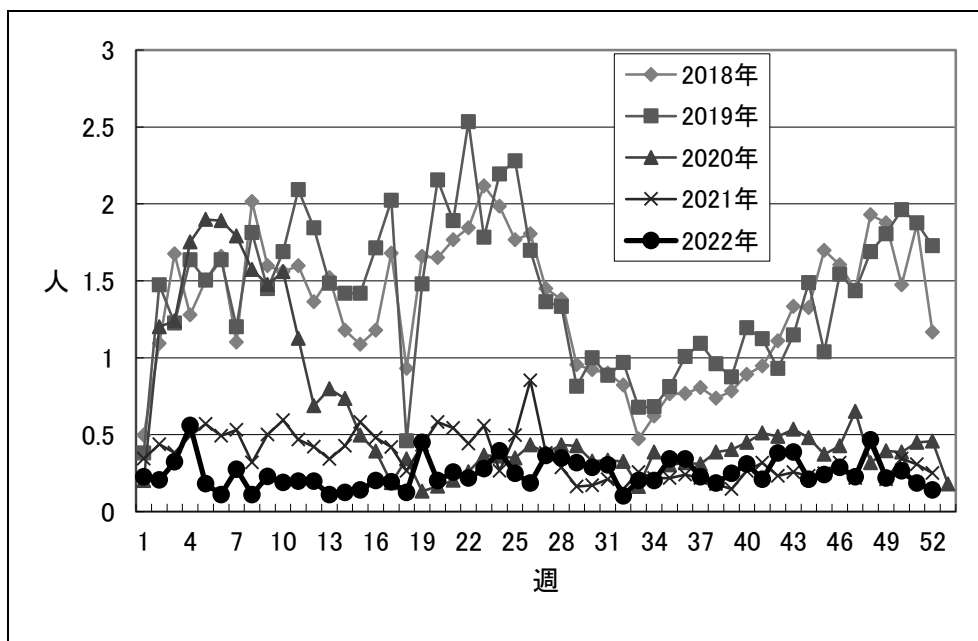
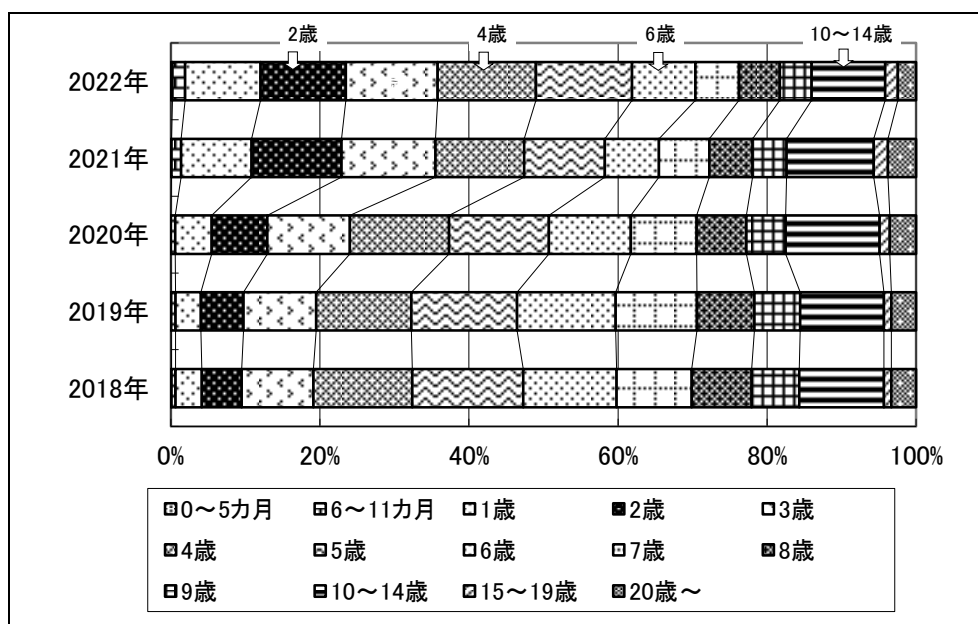


図10-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者の年齢階級別割合



(9) 感染性胃腸炎

年間患者数は29,025人（定点あたり226.76人）で、2021年の28,256人（219.69人）より増加した。

感染性胃腸炎は冬場でピークを迎えることが多く、週別定点あたり患者数は3週（1月中旬）にピーク（11.6人）を示し、5週（2月上旬）以降は8.0人以下で推移した。

患者の年齢階級別割合は1歳16%、2歳14%、3歳12%、4歳10%、10～14歳9%の順で多く、0～5歳の患者が全体の67%、0～9歳の患者が全体の83%を占めていた。

図 11-1 感染性胃腸炎の週別定点あたり患者数

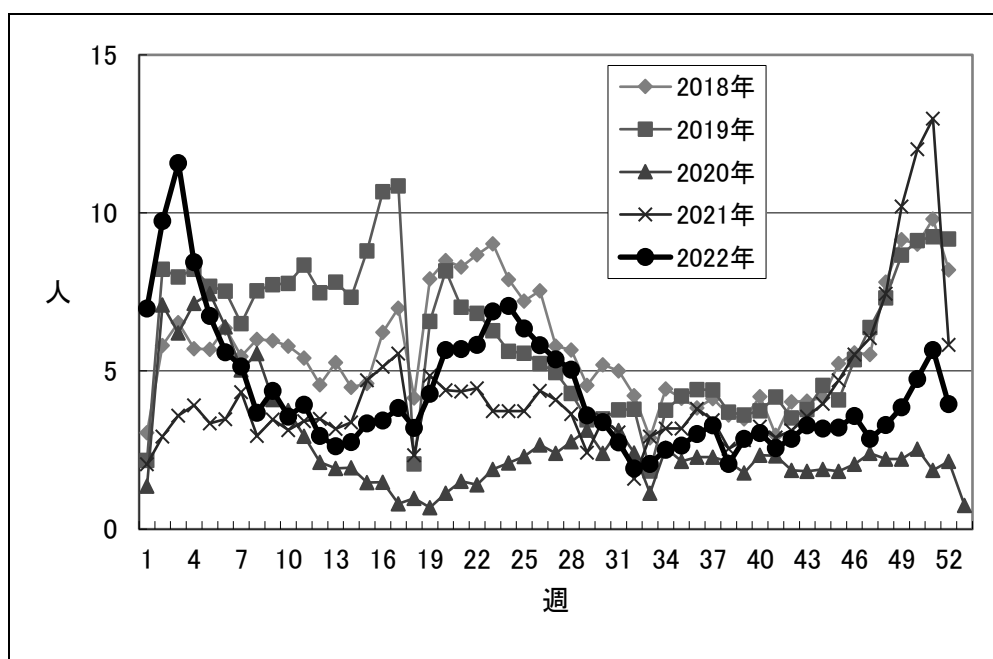
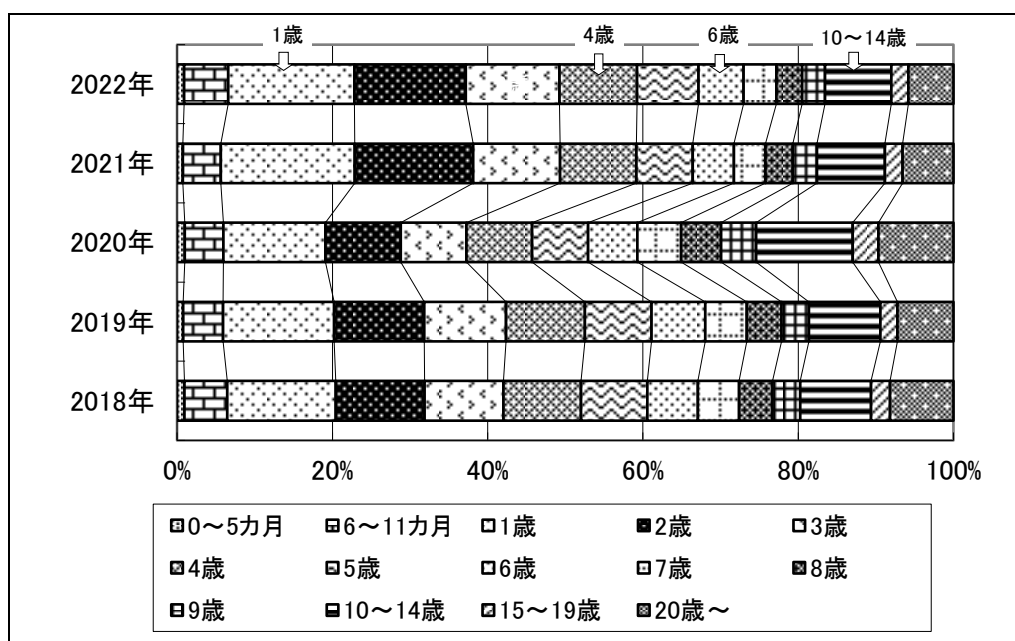


図 11-2 感染性胃腸炎患者の年齢階級別割合



(10) 水痘

年間患者数は445人（定点あたり3.48人）で、2021年の585人（4.55人）より減少した。患者の年齢階級別割合は、10～14歳20%、5歳11%、1歳、7歳及び9歳が各9%の順で多く、0～9歳の患者が全体の78%を占めていた。

図 12-1 水痘の週別定点あたり患者数

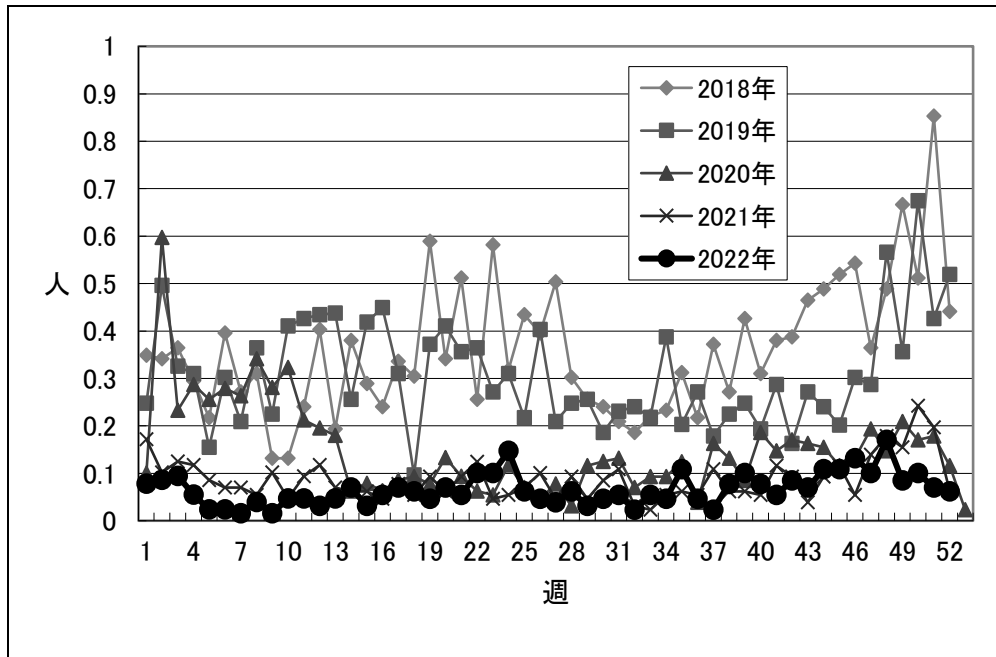
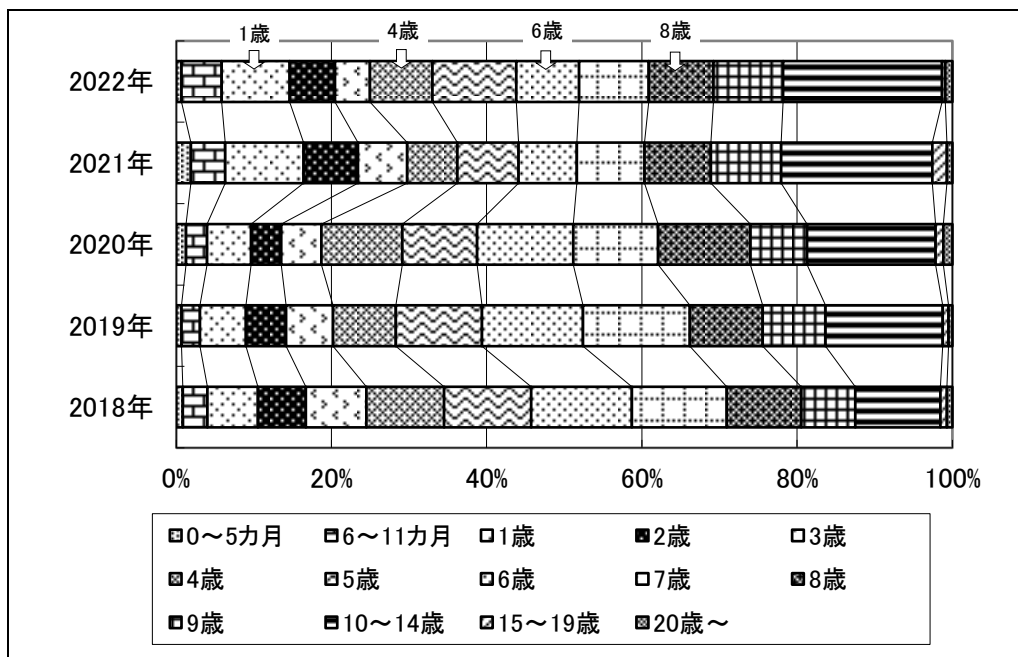


図 12-2 水痘患者の年齢階級別割合



(11) 手足口病

年間患者数は 3,776 人（定点あたり 29.50 人）で、2021 年の患者数 4,356 人（33.79 人）より減少した。

2019 年までは隔年ごとに流行していたが、2020 年以降は週別定点あたり患者数 5 人未満で推移した。

患者の年齢階級別割合は 1 歳 37%、2 歳 26%、3 歳 13%、0 歳 9%の順で多く、0～5 歳の患者が全体の 96%を占めていた。

図 13-1 手足口病の週別定点あたり患者数

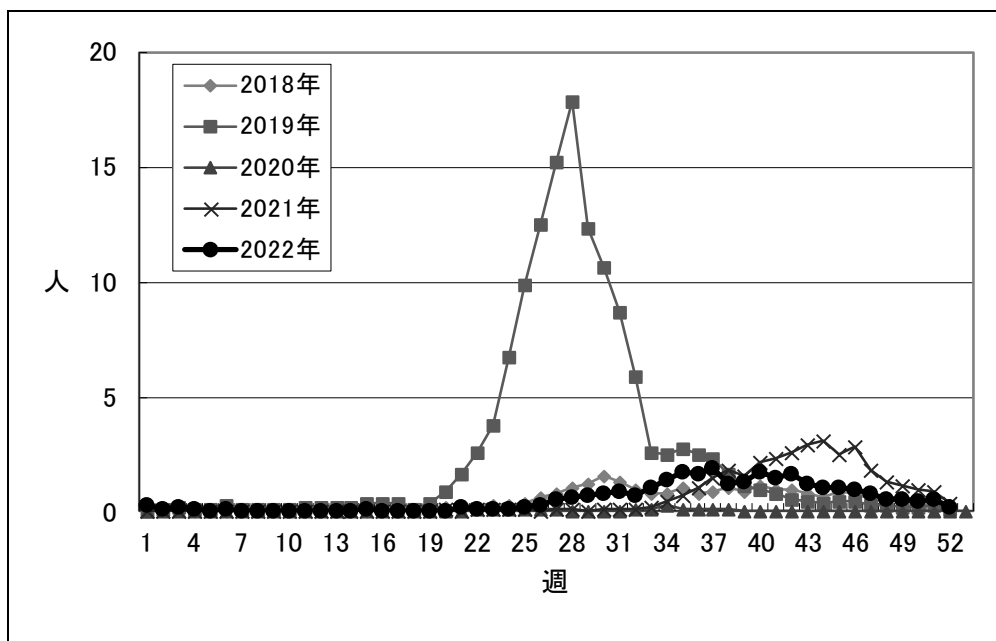
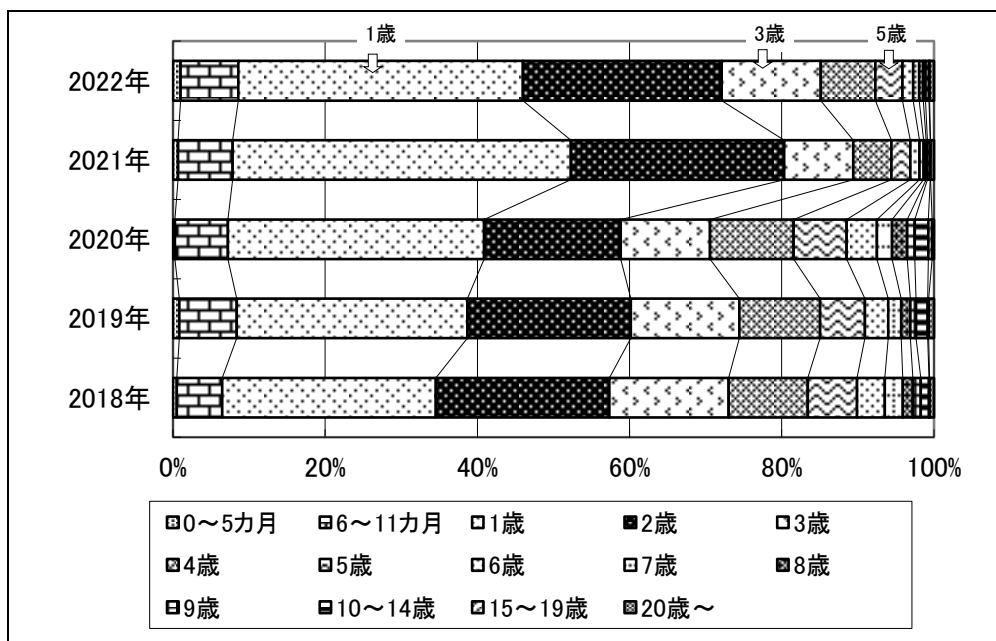


図 13-2 手足口病患者の年齢階級別割合



(12) 伝染性紅斑

年間患者数は88人（定点あたり0.69人）で、2021年の86人（定点あたり0.67人）から横ばいとなった。

週別定点あたり患者数は1年を通して定点あたり0.04人以下の少ない状態で推移した。

患者の年齢階級別割合は1歳23%、1歳未満、2歳及び5歳が各9%の順で多く、0～9歳の患者が全体の91%を占めていた。

図 14-1 伝染性紅斑の週別定点あたり患者数

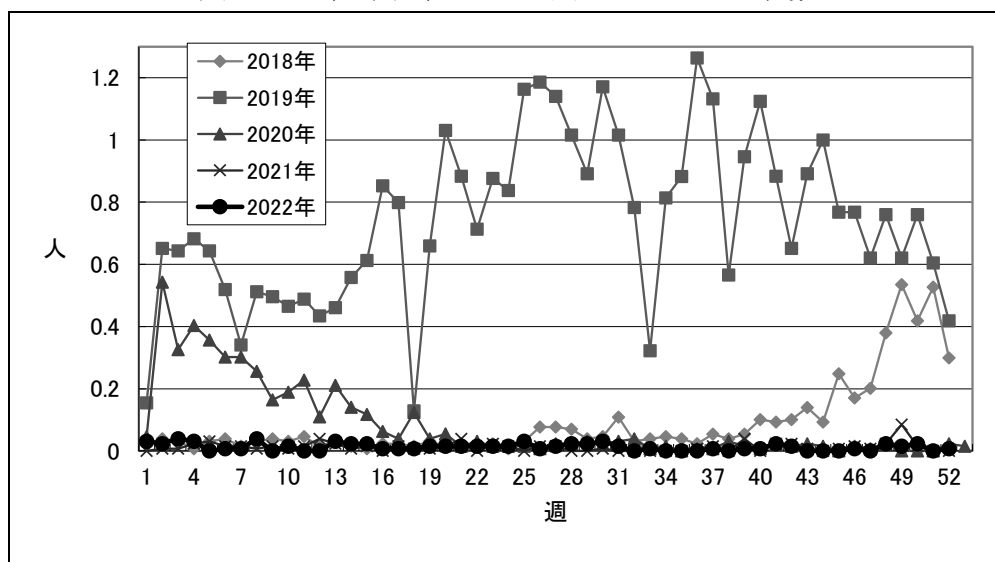
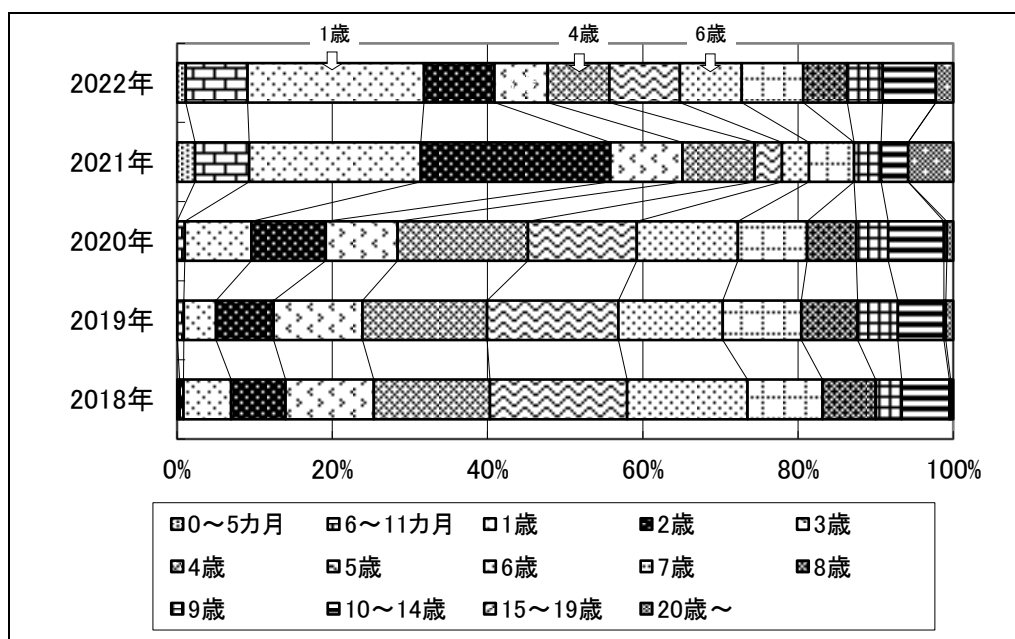


図 14-2 伝染性紅斑患者の年齢階級別割合



(13) 突発性発しん

年間患者数は1,614人（定点あたり12.61人）で、2021年の2,099人（16.31人）より減少した。

週別定点あたり患者数は、0.12～0.40人の中で推移した。

患者の年齢階級別割合は1歳が55%、0歳が28%、2歳が11%の順で多く、0～2歳の患者が全体の94%を占めていた。

図 15-1 突発性発しんの週別定点あたり患者数

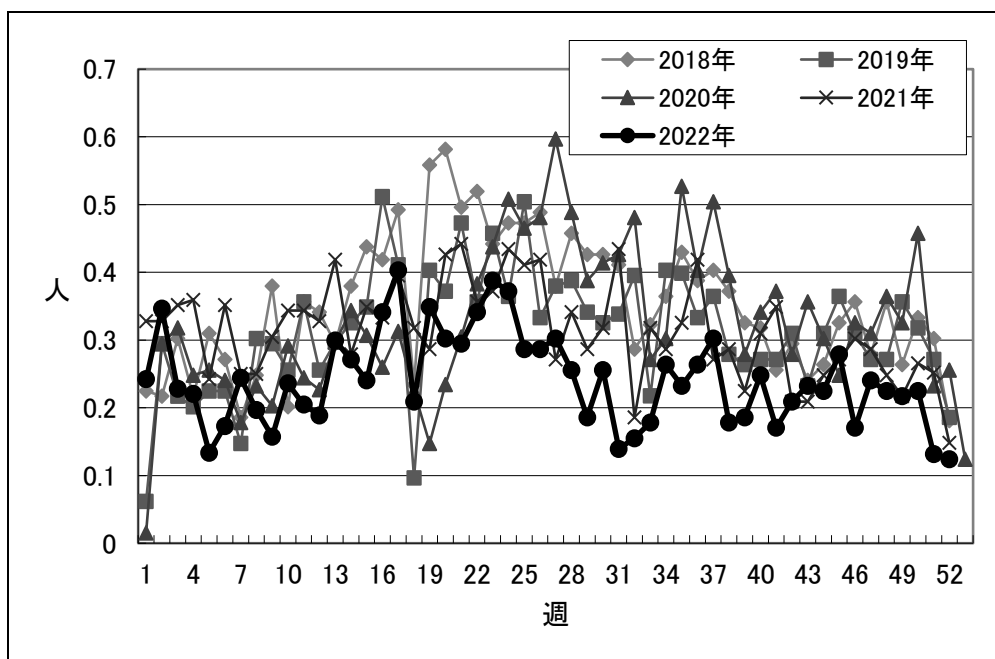
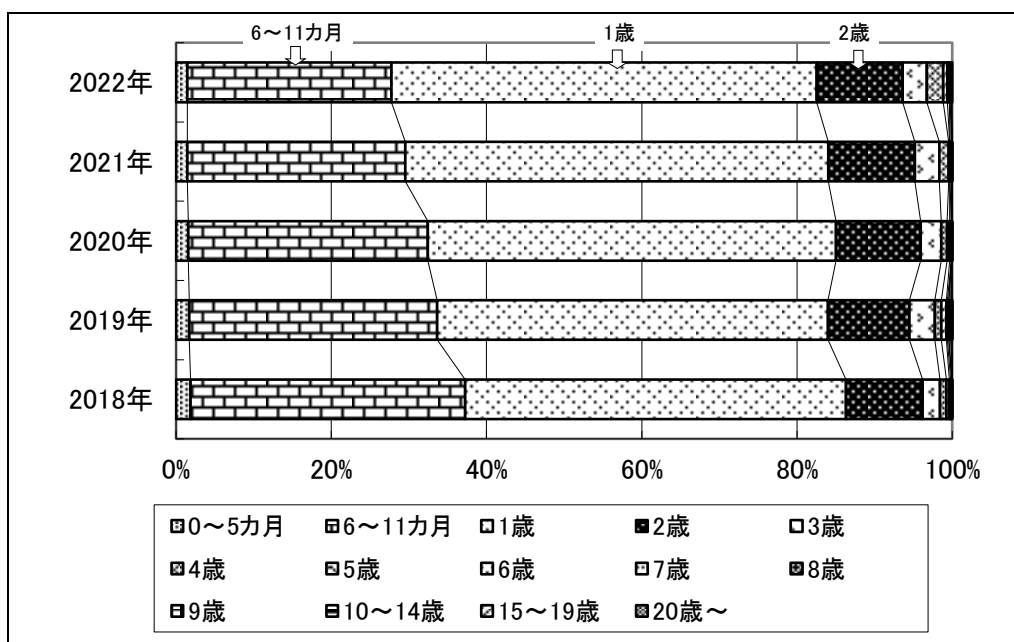


図 15-2 突発性発しん患者の年齢階級別割合



(14) ヘルパンギーナ

年間患者数は957人(定点あたり7.48人)で、2021年の1,497人(11.61人)より減少した。2019年までは、夏に流行がみられたが、2020年以降は感染者数は少ないものの、流行時期が秋へと変化している。

週別定点あたり患者数は、0.70人未満の少ない状態で推移した。

患者の年齢階級別割合は1歳27%、2歳25%、3歳16%、4歳10%、0歳8%の順で多く、0～5歳の患者が全体の91%を占めていた。

図 16-1 ヘルパンギーナの週別定点あたり患者数

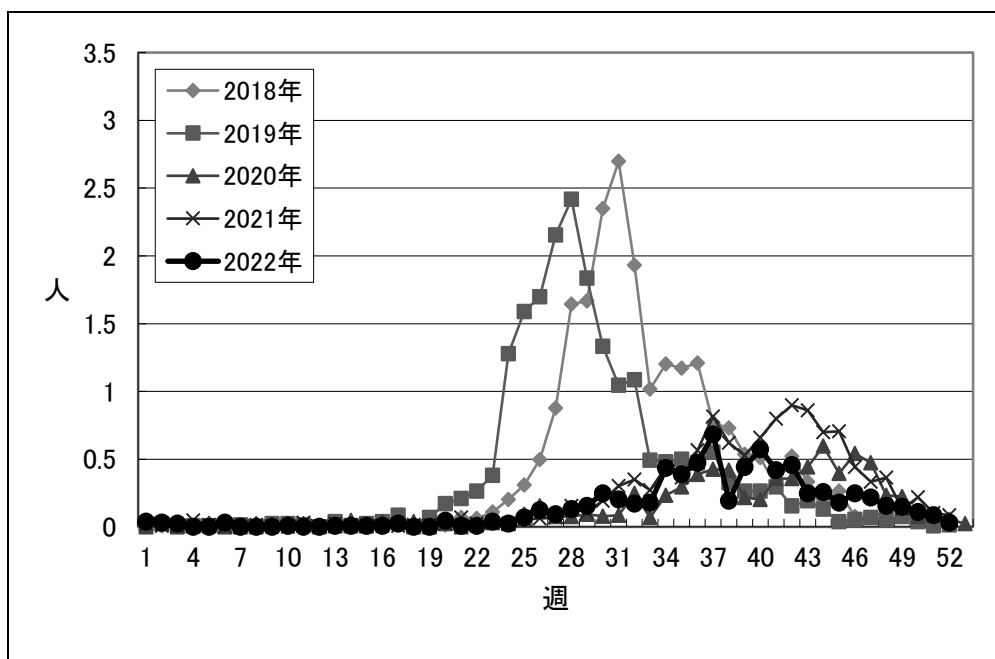
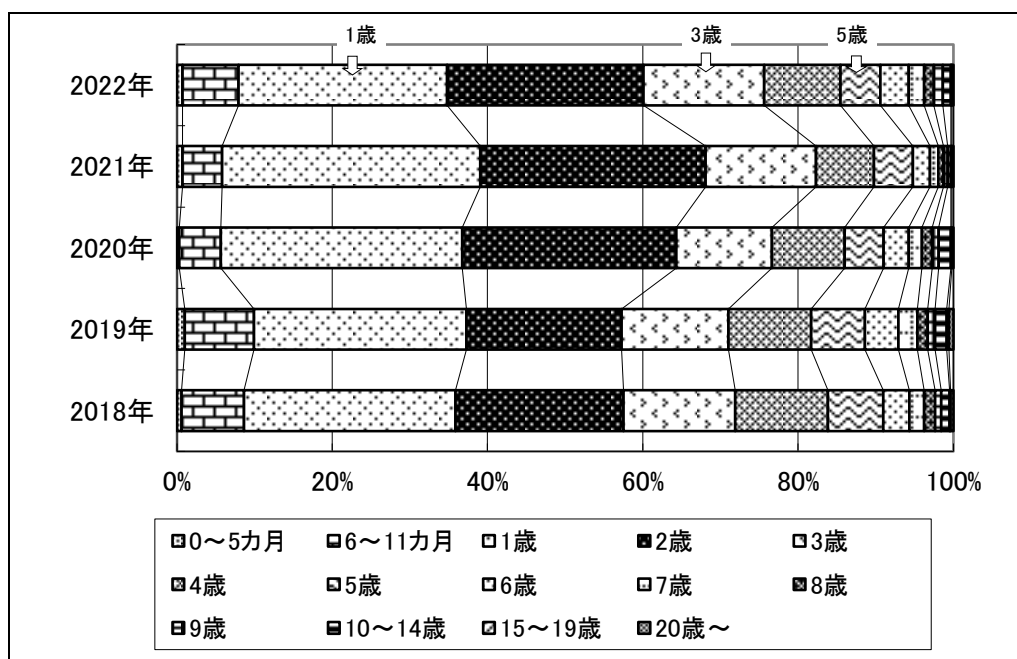


図 16-2 ヘルパンギーナ患者の年齢階級別割合



(15) 流行性耳下腺炎

年間患者数は202人（定点あたり1.58人）で、2021年の300人（2.33人）より減少した。週別定点あたり患者数は1年を通じて0.15人以下の少ない状態で推移した。患者の年齢階級別割合は5歳16%、10～14歳15%、4歳及び8歳が各13%、6歳11%の順で多く、0～9歳の患者が全体の84%を占めていた。

図 17-1 流行性耳下腺炎の週別定点あたり患者数

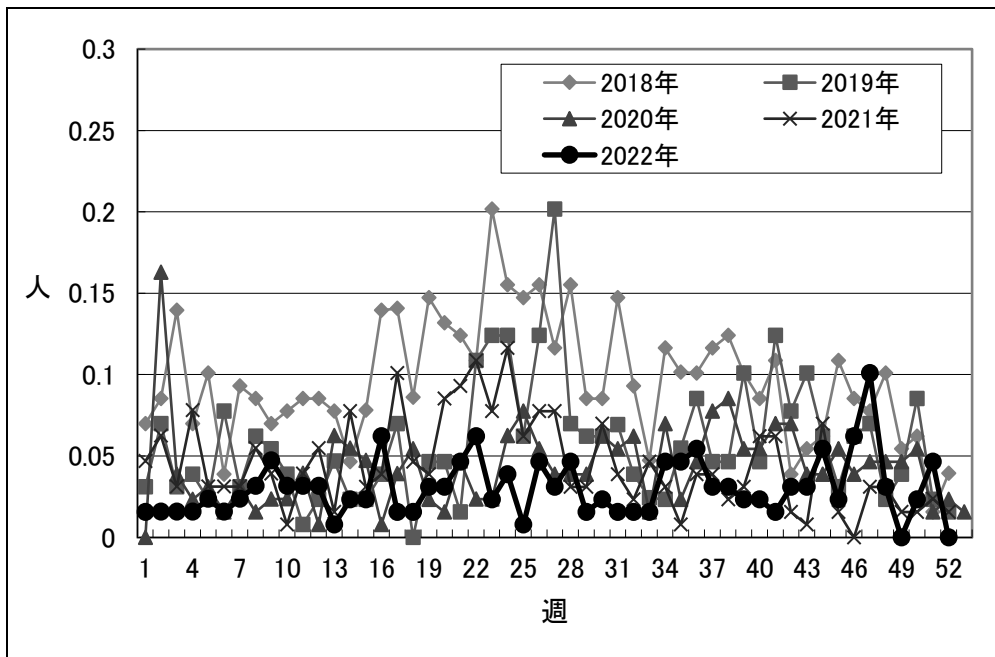
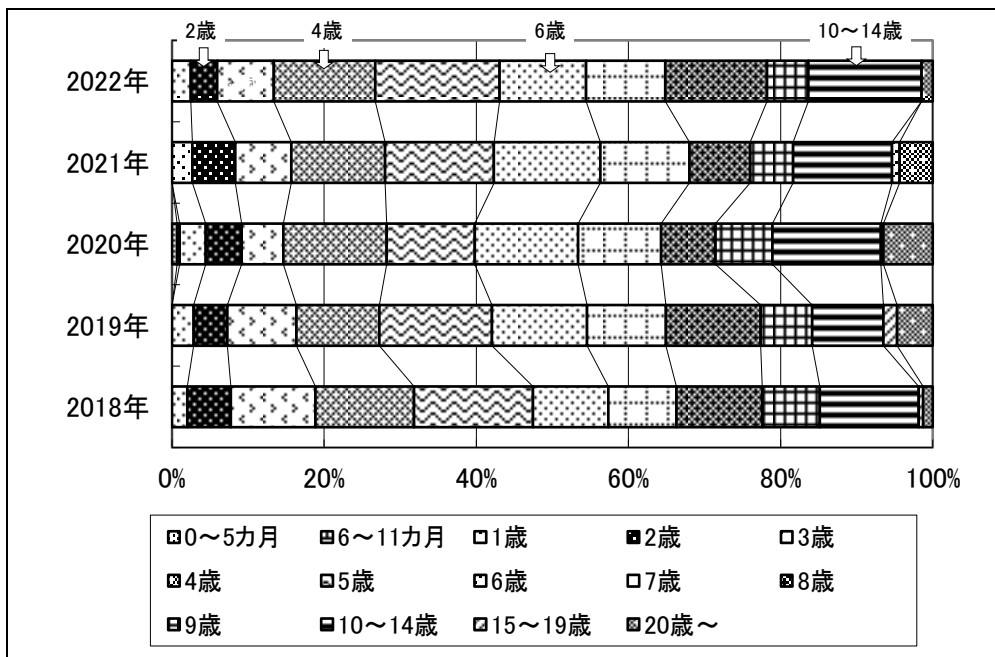


図 17-2 流行性耳下腺炎患者の年齢階級別割合



(16) 急性出血性結膜炎

年間患者数は7人（定点あたり0.20人）で、2021年の3人（0.09人）より増加した。2007年以降、年間の定点あたり患者数は1人未満の少ない状態で推移している。

患者の年齢階級別割合は、60歳代が3人、30歳代が2人、10歳代及び40歳代が各1人となっていた。

図 18-1 急性出血性結膜炎の週別定点あたり患者数

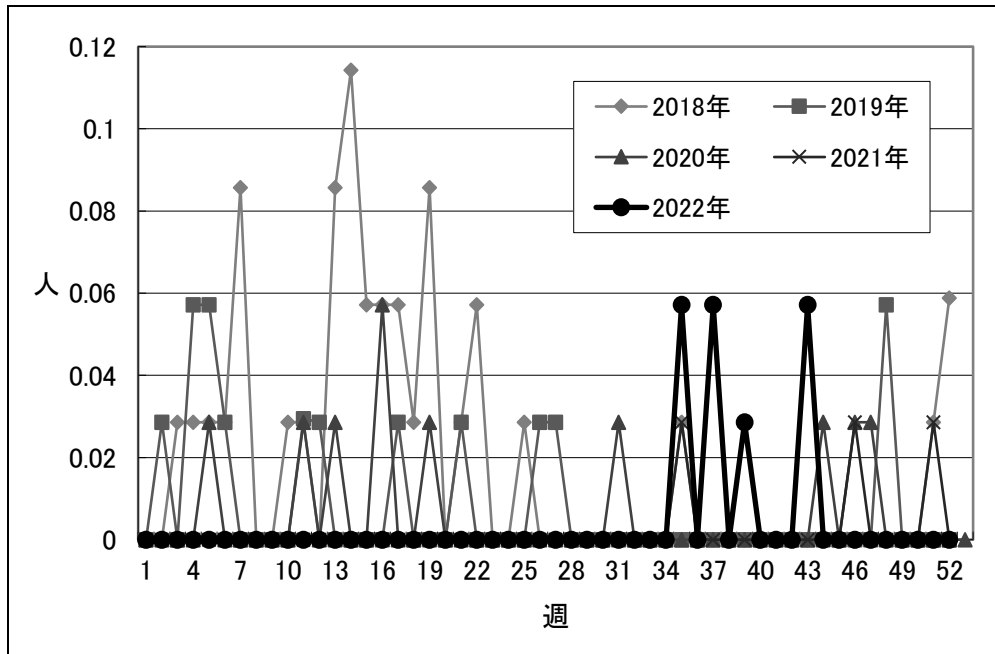
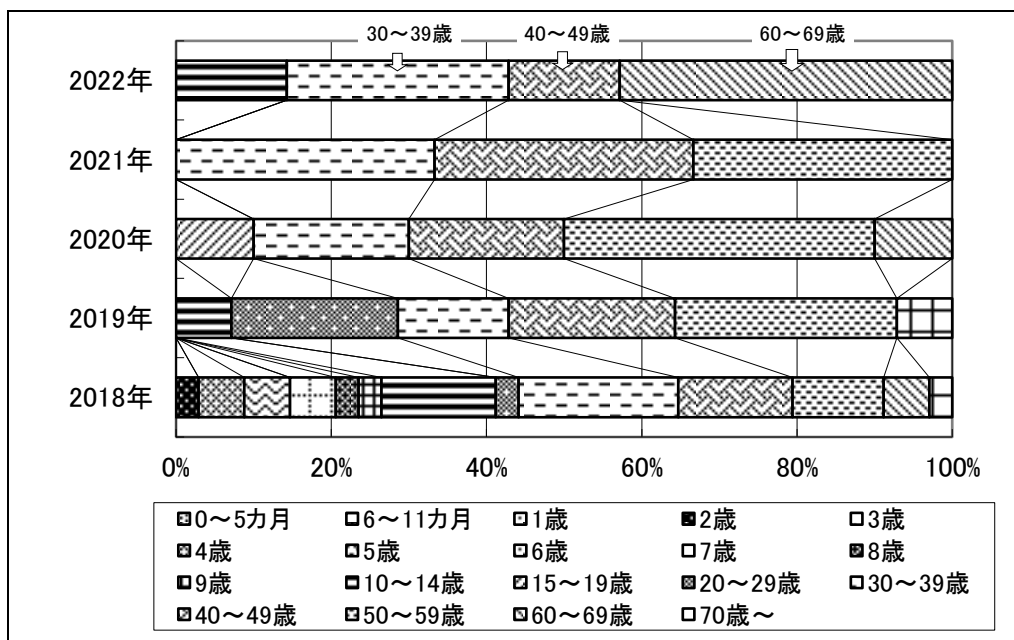


図 18-2 急性出血性結膜炎患者の年齢階級別割合



(17) 流行性角結膜炎

年間患者数は326人（定点あたり9.31人）で、2021年の317人（9.06人）より増加した。週別定点あたり患者数は、0.5人未満の少ない状態で推移している。

患者の年齢階級別割合は30歳代21%、40歳代17%、50歳代及び70歳以上が各11%の順で多く、20歳以上の患者が全体の82%を占めていた。

図 19-1 流行性角結膜炎の週別定点あたり患者数

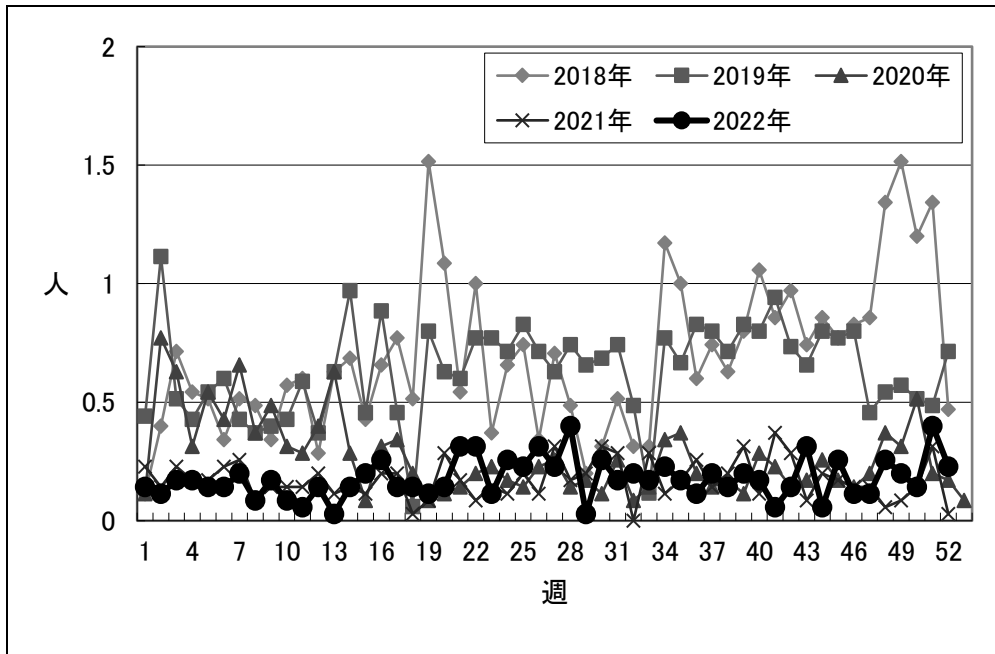
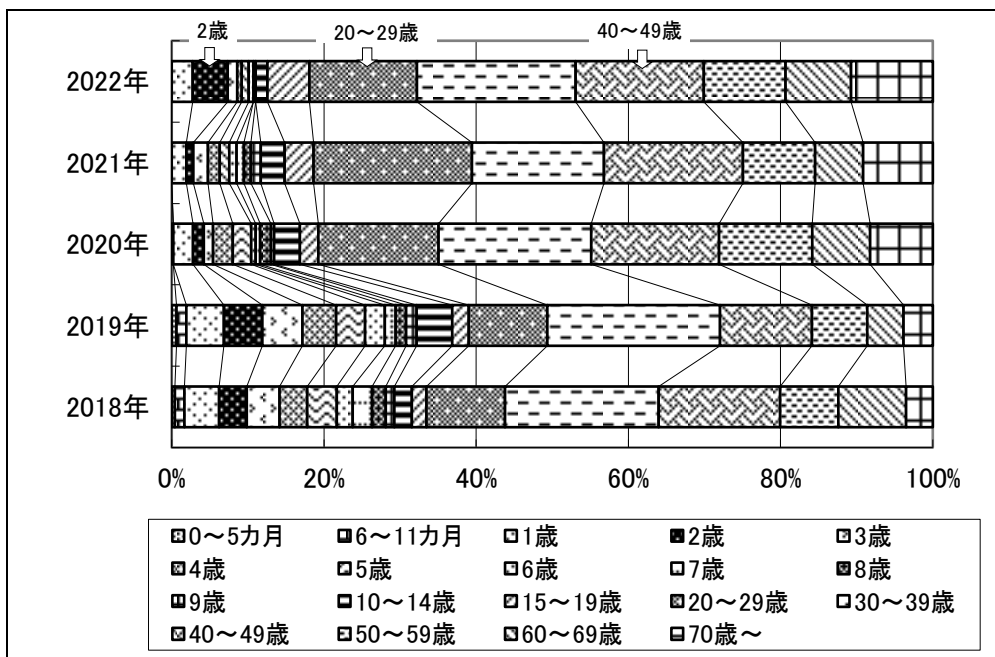


図 19-2 流行性角結膜炎患者の年齢階級別割合



(18) 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）

年間患者数は11人（定点あたり0.79人）で、2021年の12人（0.86人）より減少した。

患者の年齢階級別割合は70歳以上4人（36%）、0歳及び65～69歳が各2人（18%）、1～4歳、35～39歳及び60～64歳が各1人（9%）の順で多くなっていた。

図 20-1 細菌性髄膜炎の週別定点あたり患者数

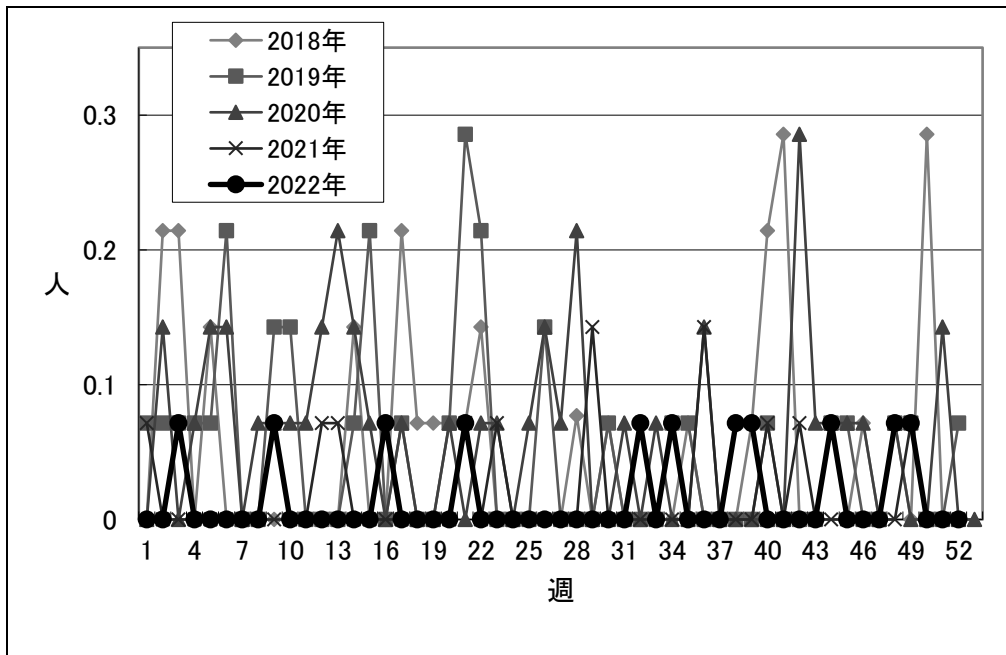
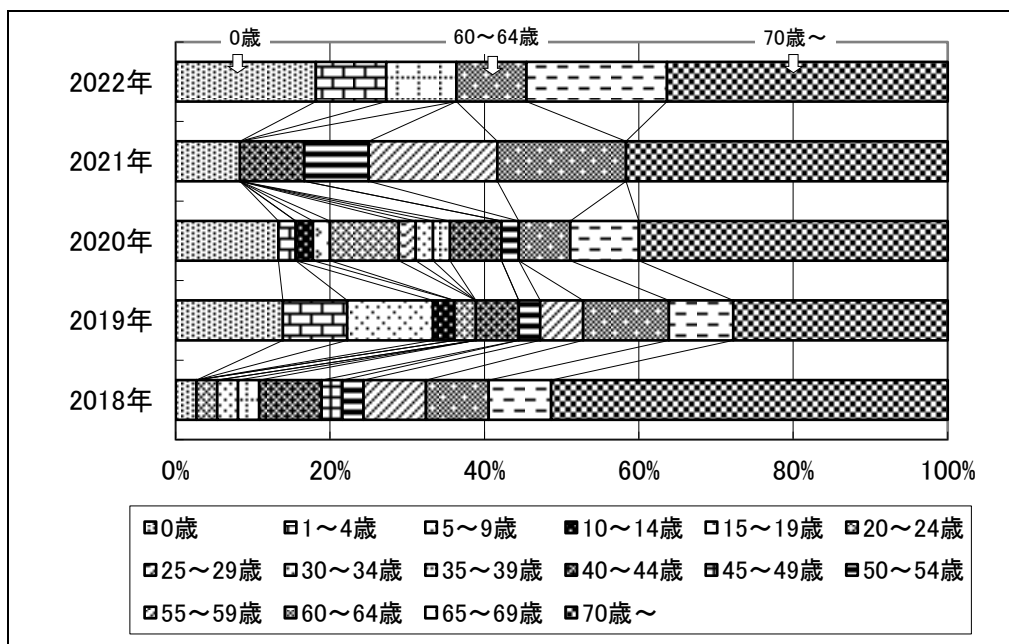


図 20-2 細菌性髄膜炎患者の年齢階級別割合



(19) 無菌性髄膜炎

年間患者数は32人（定点あたり2.29人）で、2021年の42人（3.00人）より減少した。2004年以降20～70人の範囲で増減を繰り返している。

患者の年齢階級別割合は70歳以上8人(25%)、25～29歳4人(13%)、65～69歳3人(9%)、0歳、5～9歳、10～14歳、15～19歳、35～39歳及び60～64歳が各2人（6%）の順で多くなっていた。

図 21-1 無菌性髄膜炎の週別定点あたり患者数

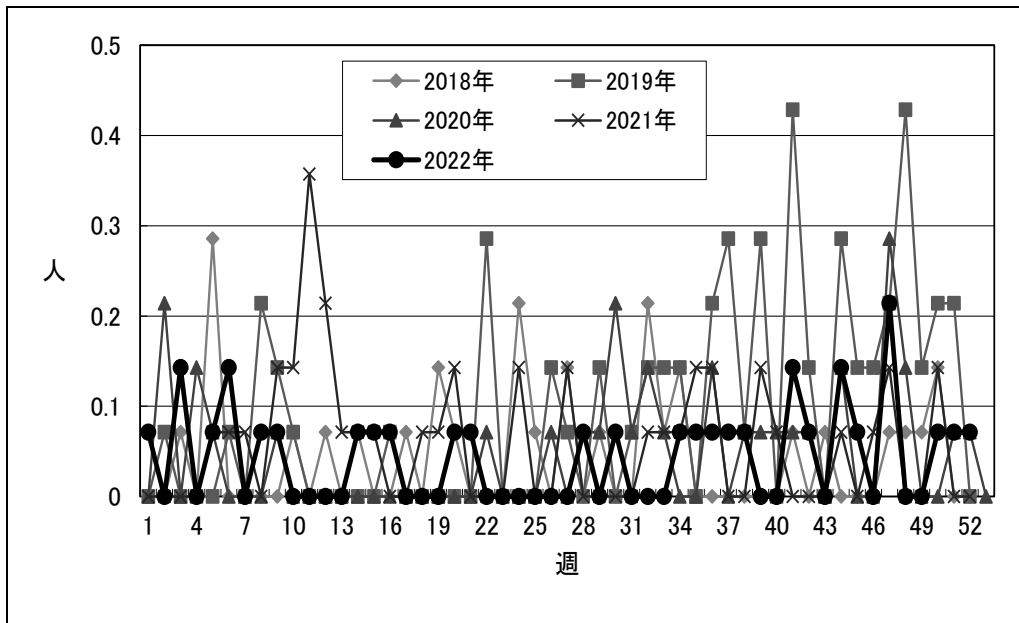
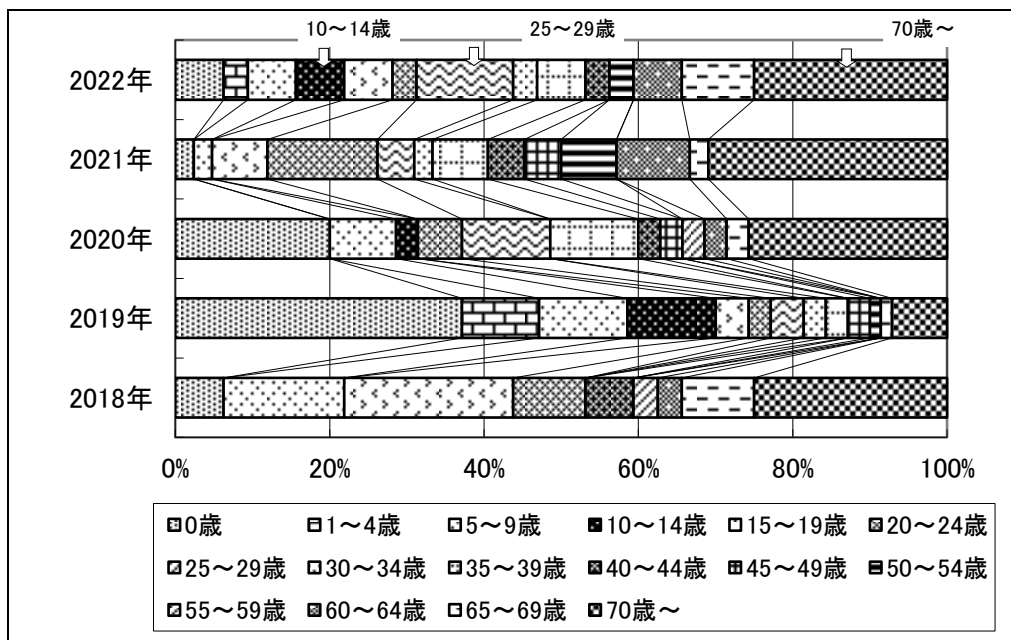


図 21-2 無菌性髄膜炎患者の年齢階級別割合



(20) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）

2022年の年間患者数は3人（定点あたり0.21人）で、2021年の7人（0.50人）より減少した。2020年10月からロタウイルスの定期接種が開始され、患者数は減少傾向にある。

週別定点あたり患者数は3週（1月中旬）、4週（1月下旬）及び34週（8月下旬）に各0.07人であった。

患者の年齢階級別割合は0歳、1～4歳及び5～9歳が各1人（33%）となっていた。

図 22-1 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルス）の週別定点あたり患者数

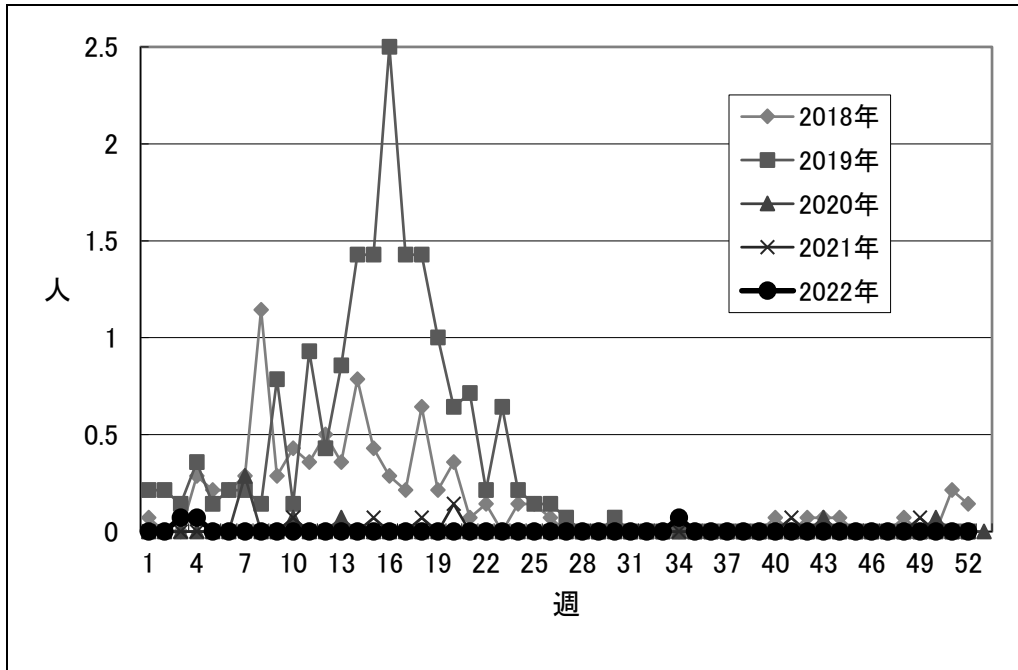
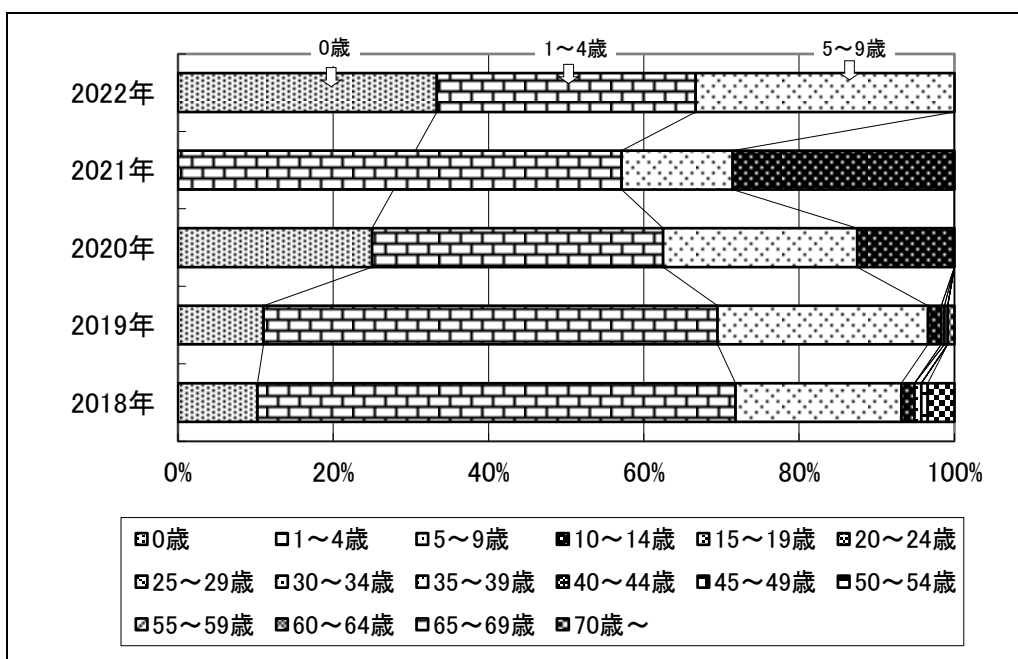


図 22-2 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルス）患者の年齢階級別割合



(21) 性器クラミジア感染症

年間患者数は1,172人（定点あたり25.48人）で、2021年の1,072人（23.30人）より増加した。患者の性別割合は、男性47%、女性53%であった。

患者の性別年齢階級別割合では、男性は20～24歳26%、25～29歳21%、35～39歳12%、30～34歳11%、40～44歳及び45～49歳が各7%の順で多く、20～49歳の患者が男性患者の84%を占めていた。女性は20～24歳32%、25～29歳23%、30～34歳12%、15～19歳11%の順で多く、15～39歳の患者が女性患者の87%を占めていた。

図 23-1 性器クラミジア感染症の月別定点あたり患者数

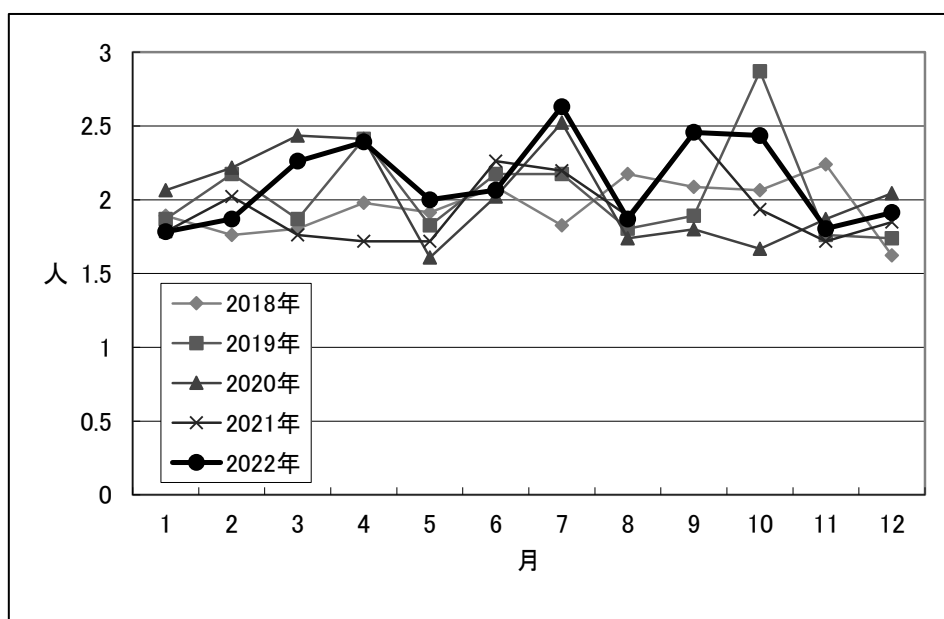


図 23-2 性器クラミジア感染症患者の性別割合

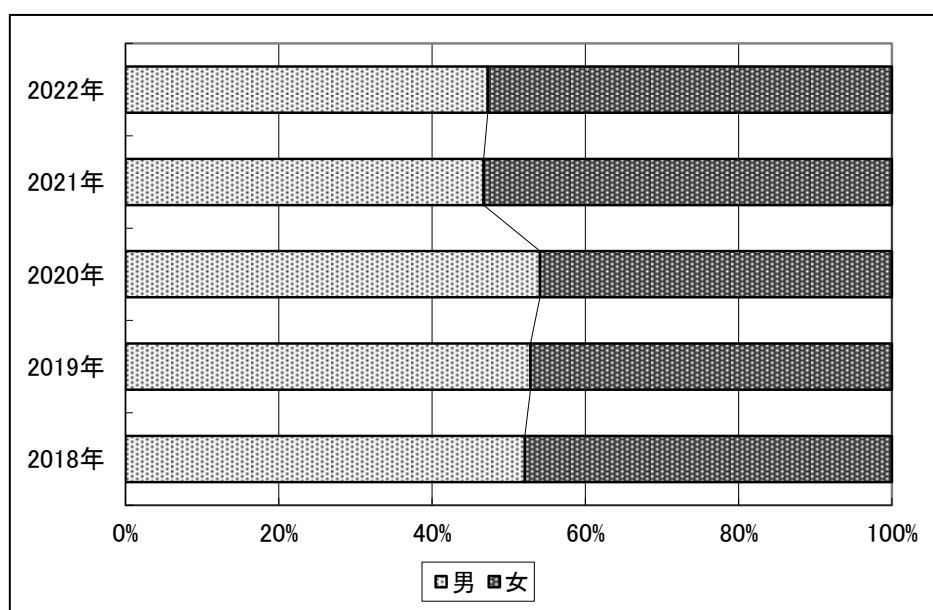


図 23-3 性器クラミジア感染症患者の年齢階級別割合（男性）

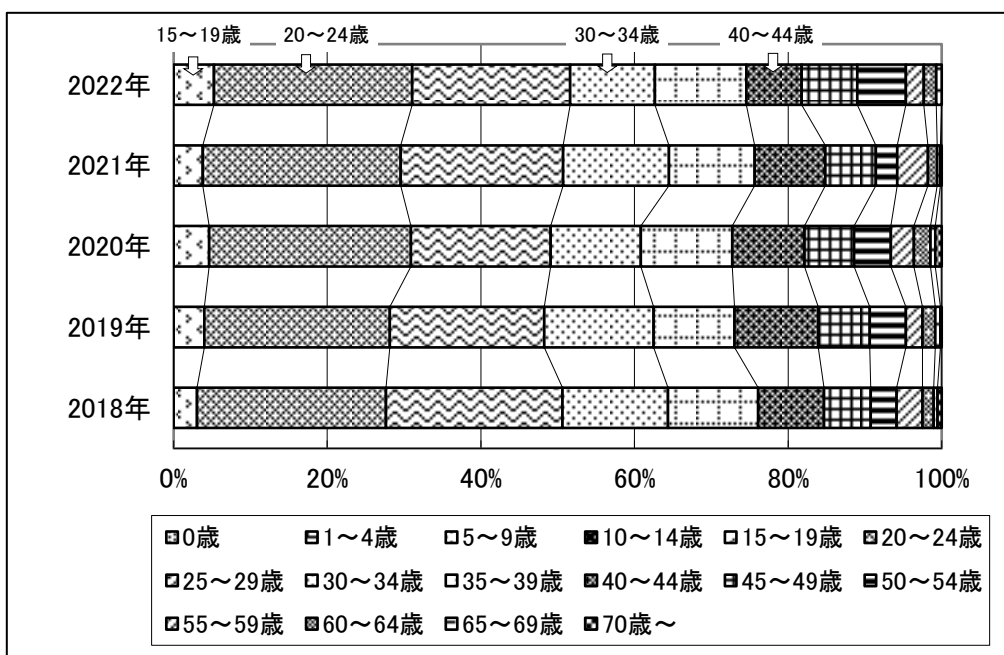
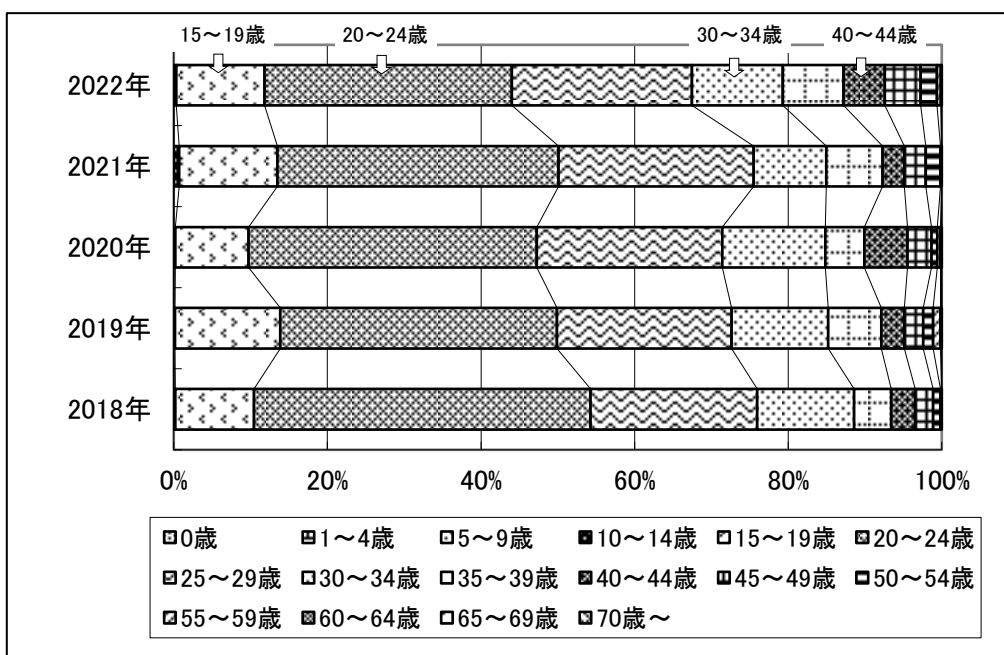


図 23-4 性器クラミジア感染症患者の年齢階級別割合（女性）



(22) 性器ヘルペスウイルス感染症

年間患者数は245人（定点あたり5.33人）で、2021年の281人（定点あたり6.11人）より減少した。患者の性別割合は、男性32%、女性68%であった。

患者の性別年齢階級別割合では、男性は30～34歳及び40～44歳が各15%、50～54歳が14%、45～49歳が13%の順で多く、20～69歳の患者が男性患者の97%を占めていた。女性は35～39歳15%、25～29歳14%、40～44歳が12%、30～34歳が10%の順で多く、20～59歳の患者が女性患者の81%を占めていた。

図 24-1 性器ヘルペスウイルス感染症の月別定点あたり患者数

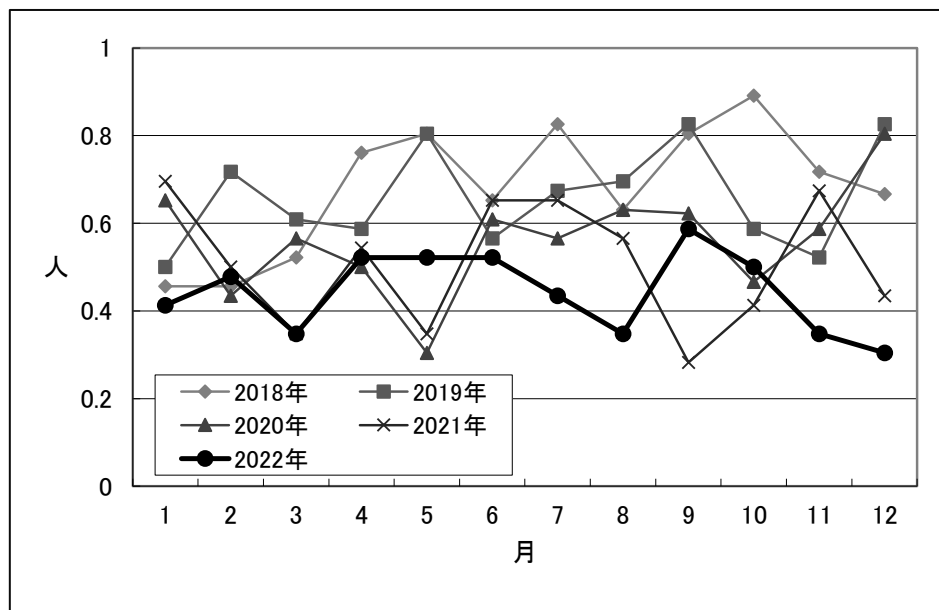


図 24-2 性器ヘルペスウイルス感染症患者の性別割合

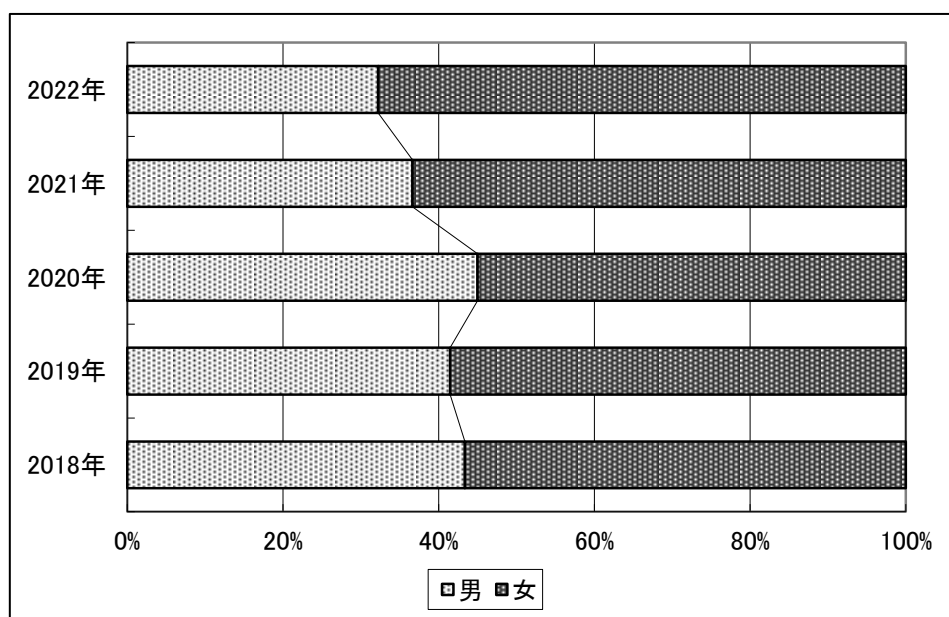


図 24-3 性器ヘルペスウイルス感染症患者の年齢階級別割合（男性）

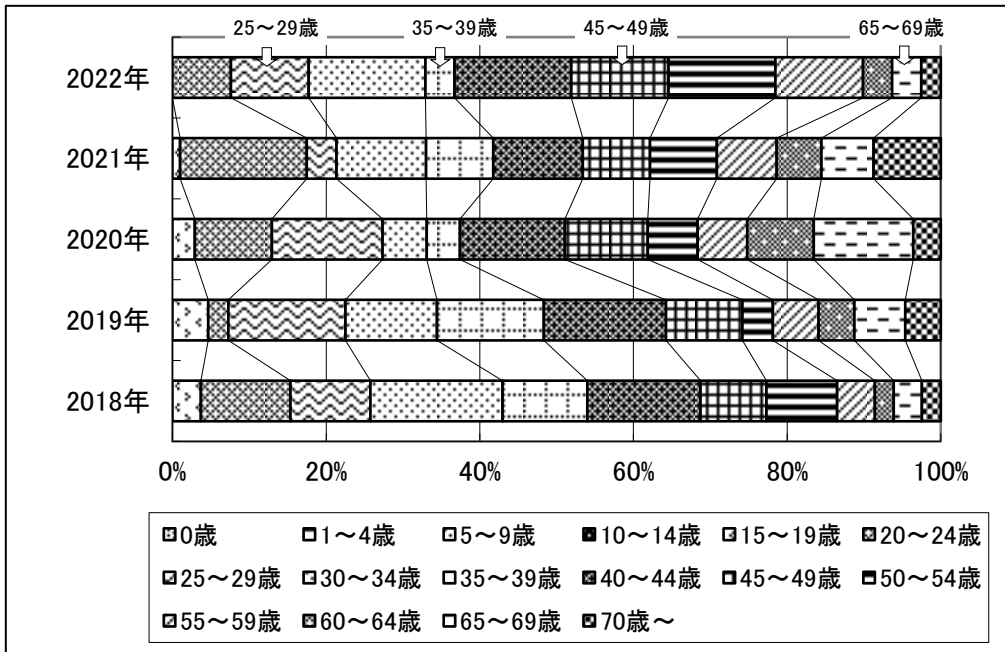
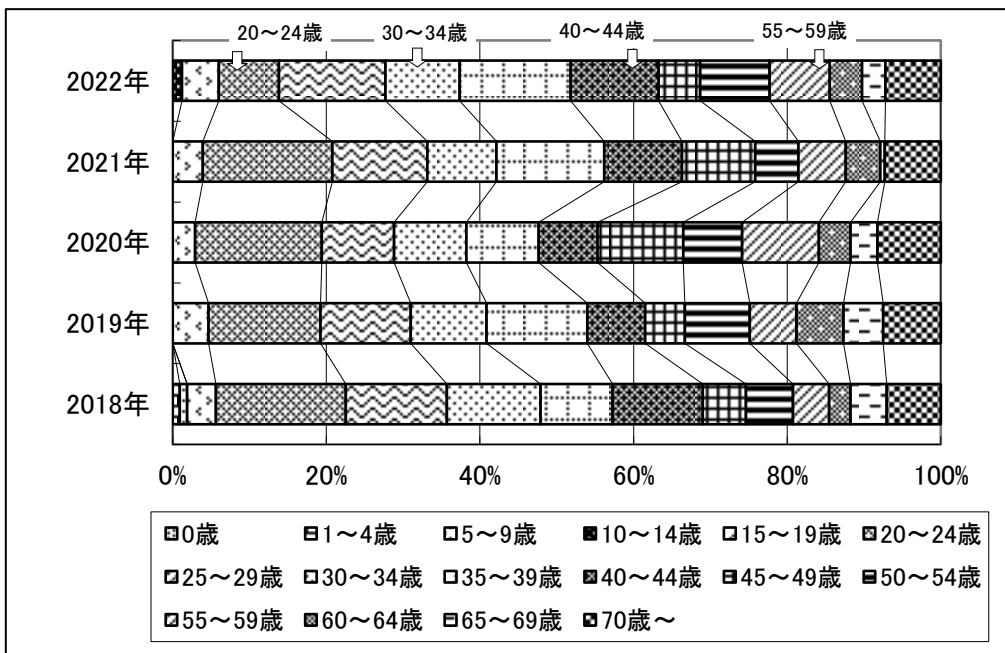


図 24-4 性器ヘルペスウイルス感染症患者の年齢階級別割合（女性）



(23) 尖圭コンジローマ

年間患者数は207人（定点あたり4.50人）で、2021年の186人（4.04人）より増加した。患者の性別割合は、男性65%、女性35%であった。

患者の性別年齢階級別割合では、男性は30～34歳15%、50～54歳14%、25～29歳13%、20～24歳及び35～39歳が各12%の順で多く、20～59歳の患者が男性患者の89%を占めていた。女性は20～24歳38%、15～19歳及び25～29歳が各14%、30～34歳11%の順で多く、20～49歳の患者が女性患者の78%を占めていた。

図 25-1 尖圭コンジローマの月別定点あたり患者数

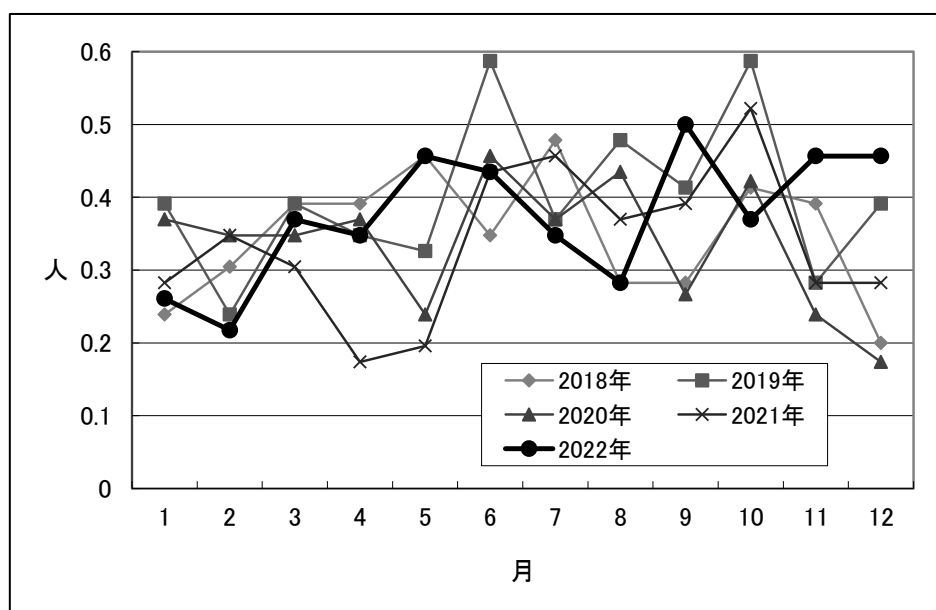


図 25-2 尖圭コンジローマ患者の性別割合

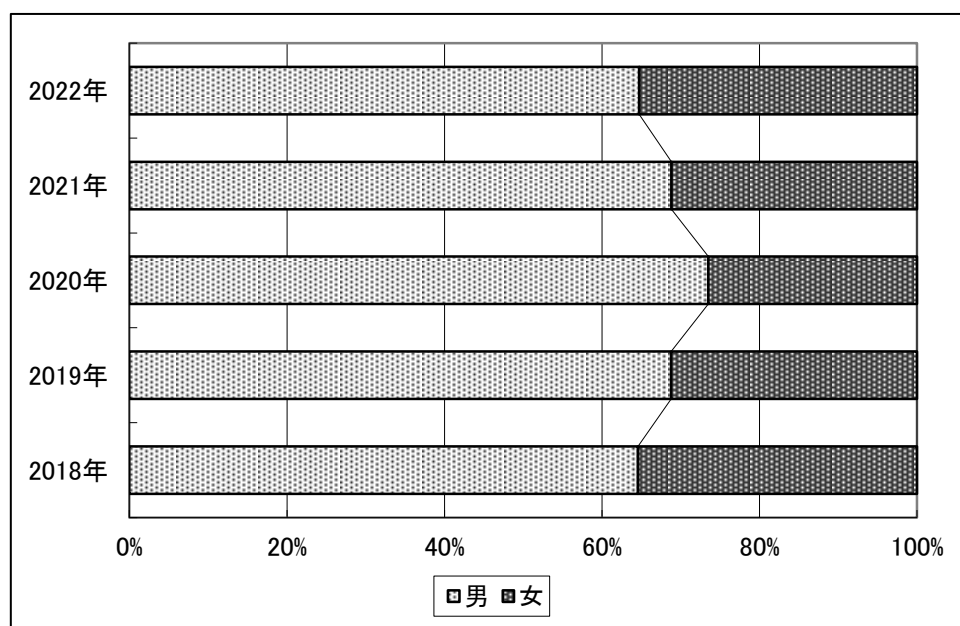


図 25-3 尖圭コンジローマ患者の年齢階級別割合（男性）

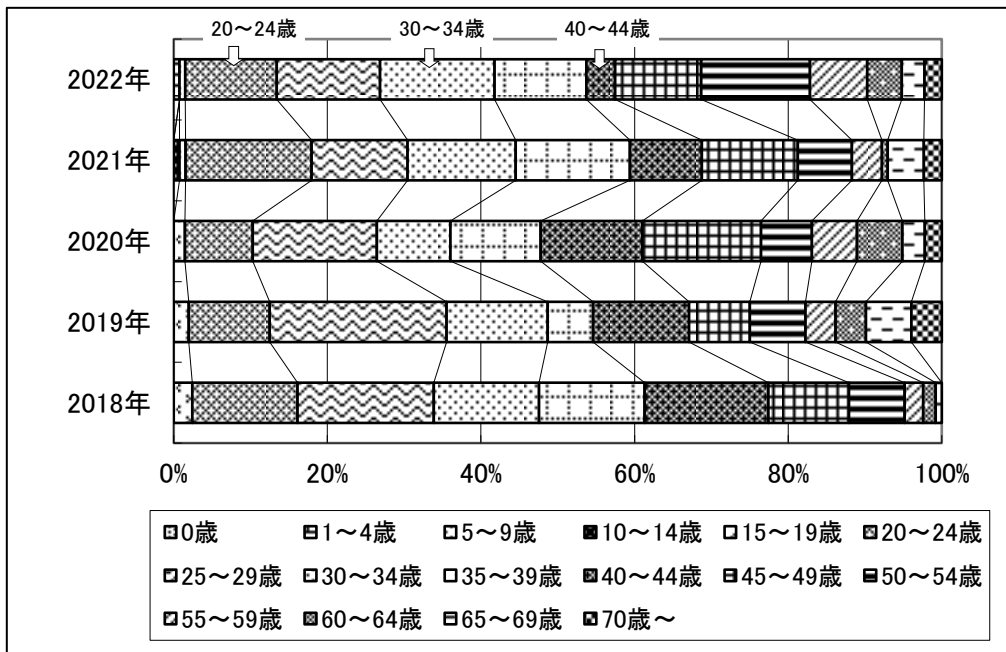
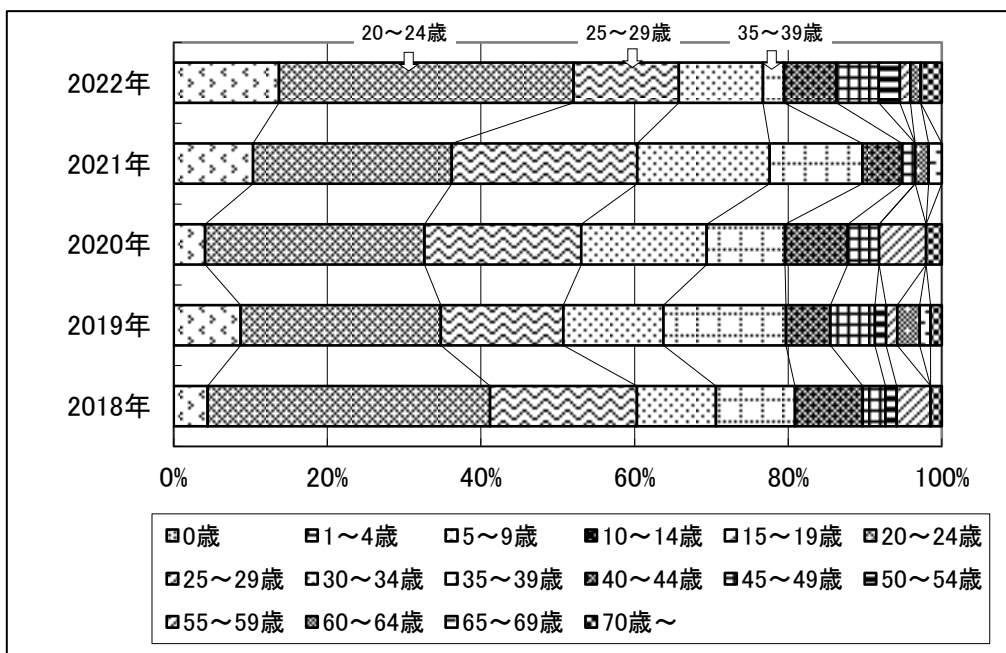


図 25-4 尖圭コンジローマ患者の年齢階級別割合（女性）



(24) 淋菌感染症

年間患者数は316人（定点あたり6.87人）で、2021年の319人（6.93人）より減少した。患者の性別割合は、男性79%、女性21%であった。

患者の性別年齢階級別割合では、男性は20～24歳27%、25～29歳17%、50～54歳11%、30～34歳及び40～44歳が各10%の順で多く、20～49歳の患者が男性患者の78%を占めていた。女性は20～24歳29%、15～19歳20%、25～29歳19%の順で多く、15～39歳の患者が女性患者の82%を占めていた。

図 26-1 淋菌感染症の月別定点あたり患者数

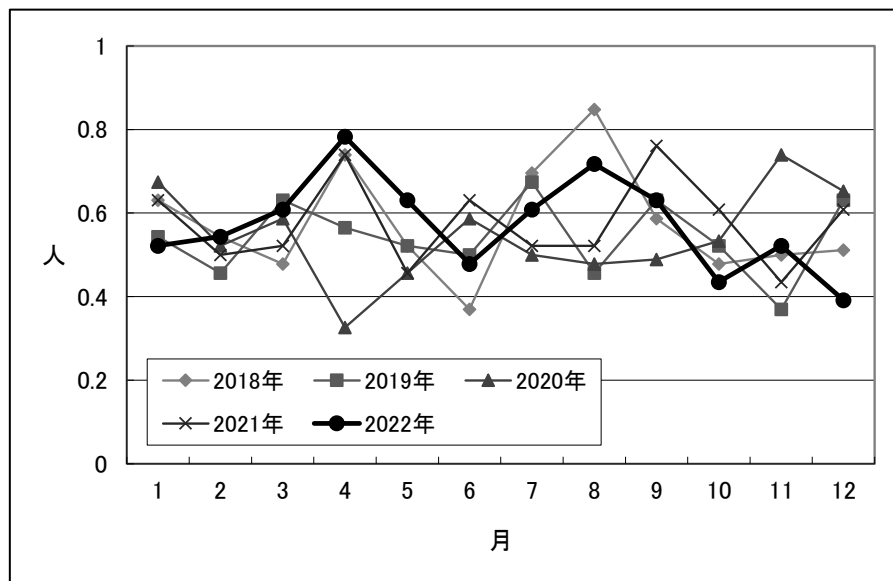


図 26-2 淋菌感染症患者の性別割合

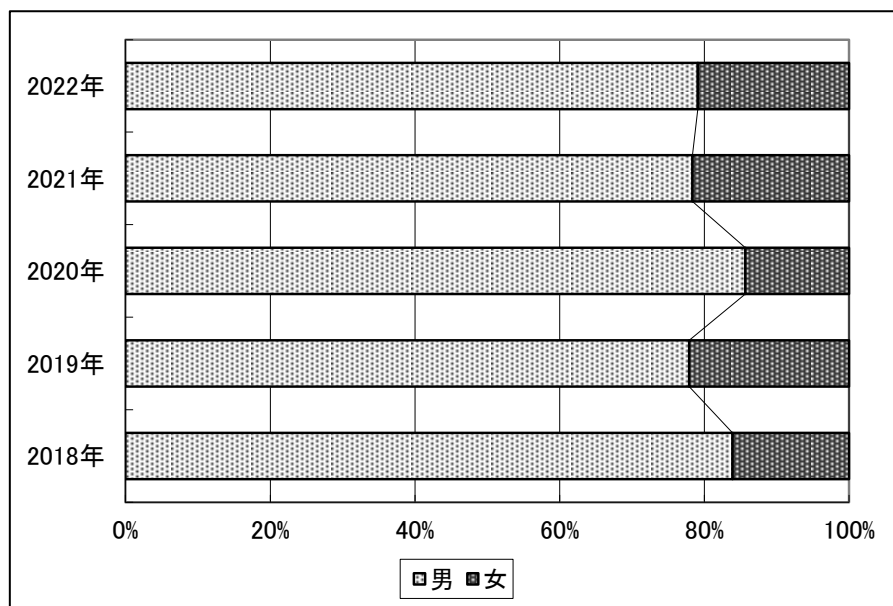


図 26-3 淋菌感染症患者の年齢階級別割合（男性）

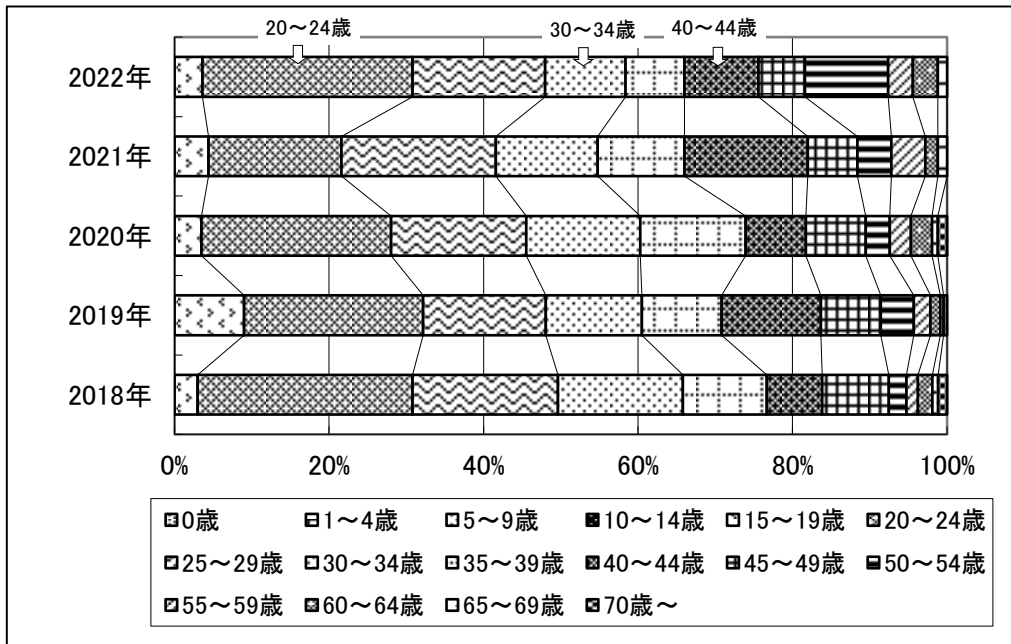
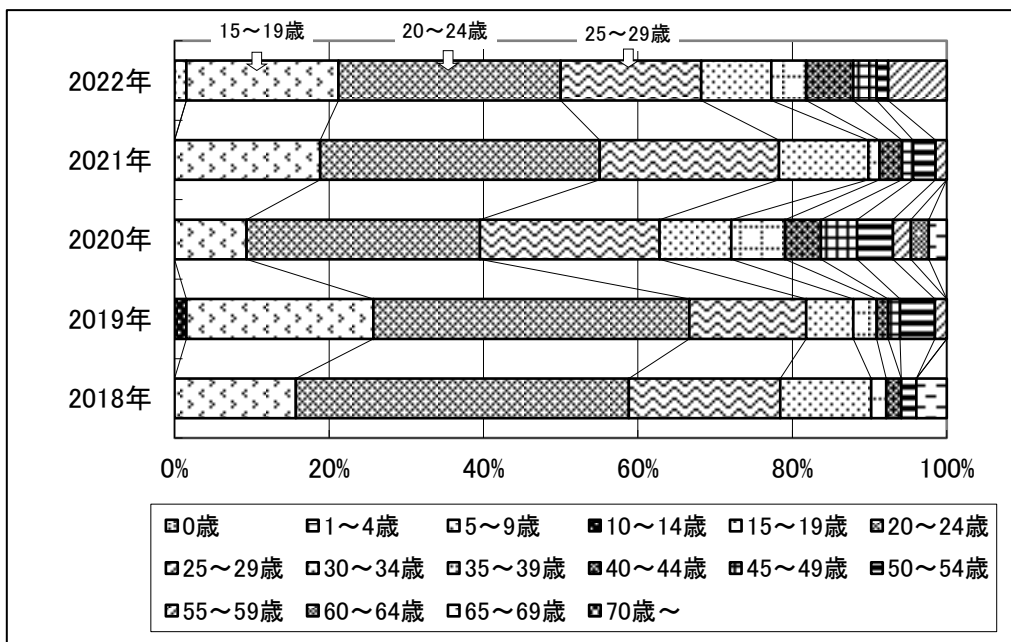


図 26-4 淋菌感染症患者の年齢階級別割合（女性）



(25) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

年間患者数は583人（定点あたり41.64人）で、2021年の589人（42.07人）より減少した。患者の年齢階級別割合は、70歳以上の患者が全体の71%、60歳以上が全体の81%を占めていた。

図 27-1 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の月別定点あたり患者数

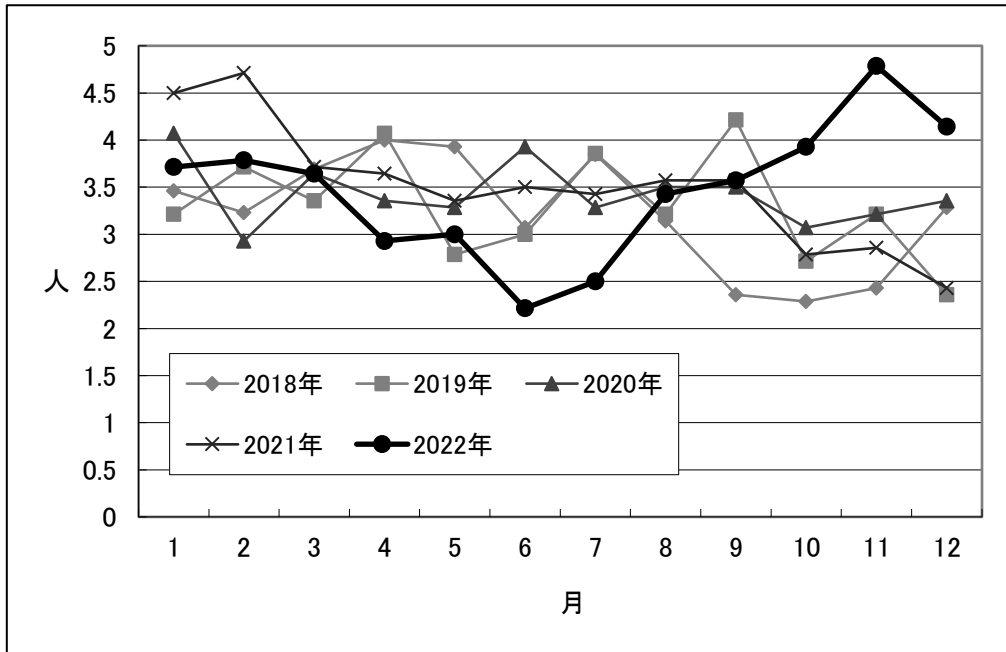
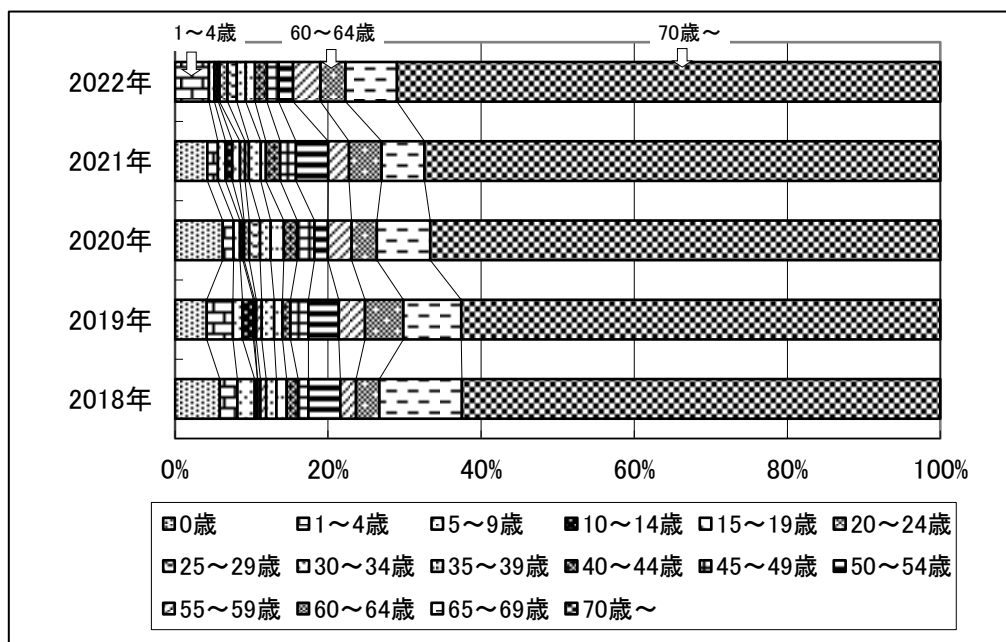


図 27-2 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症患者の年齢階級別割合



(26) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

年間患者数は13人(定点あたり0.93人)で、2021年の13人(0.93人)から横ばいであった。患者の年齢階級別割合は、70歳以上の患者が全体の69%を占めていた。

図 28-1 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の月別定点あたり患者数

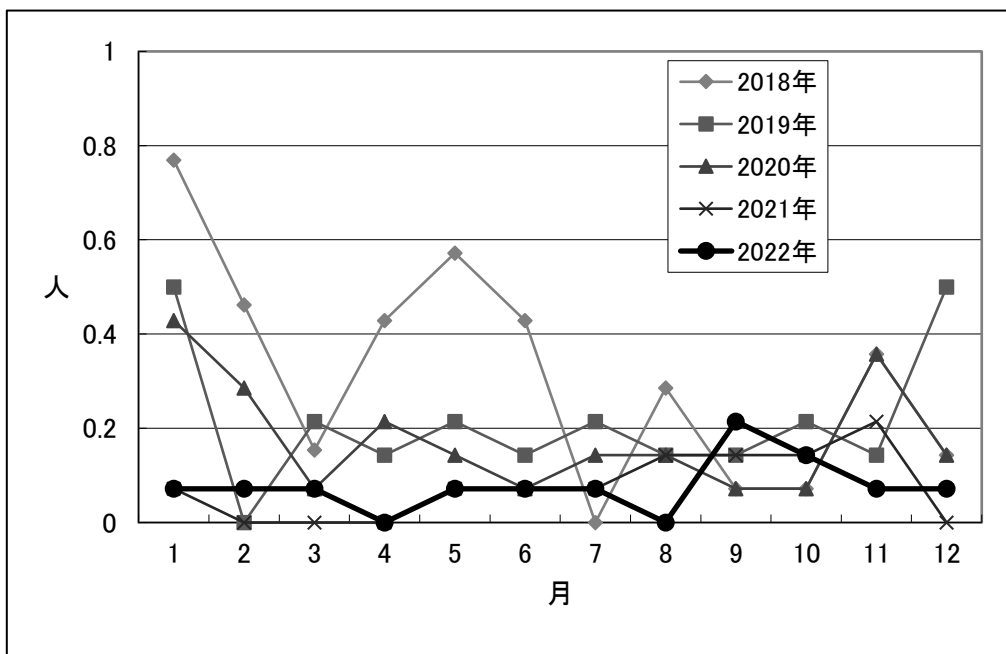
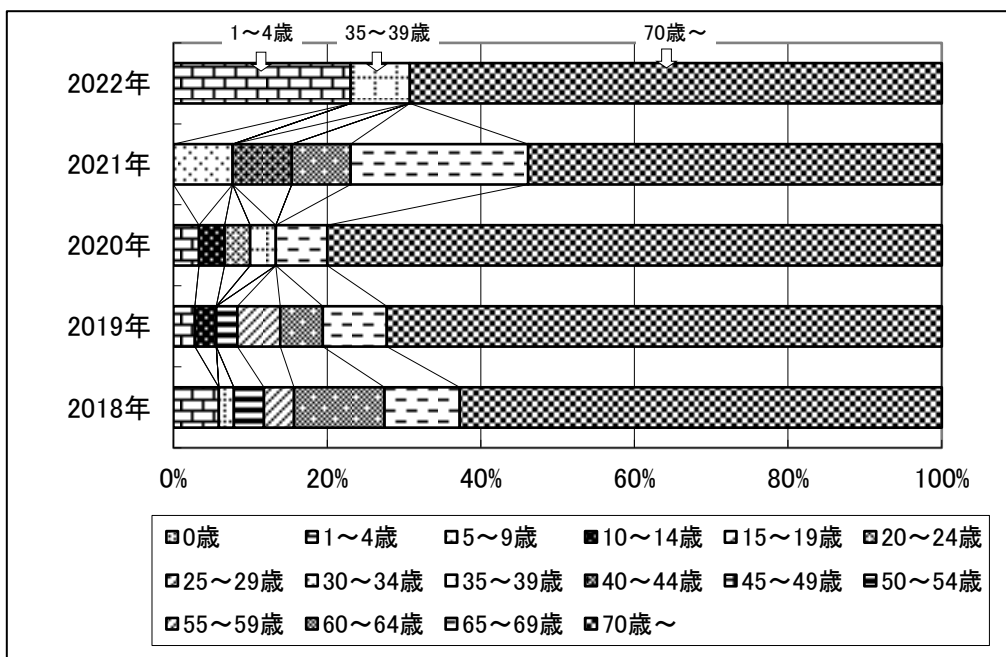


図 28-2 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症患者の年齢階級別割合



(27) 薬剤耐性緑膿菌感染症

年間患者数は6人（定点あたり0.43人）で、2021年の8人（0.57人）より減少した。患者の年齢階級別割合は、70歳以上が5人、50～54歳が1人となっていた。

図 29-1 薬剤耐性緑膿菌感染症の月別定点あたり患者数

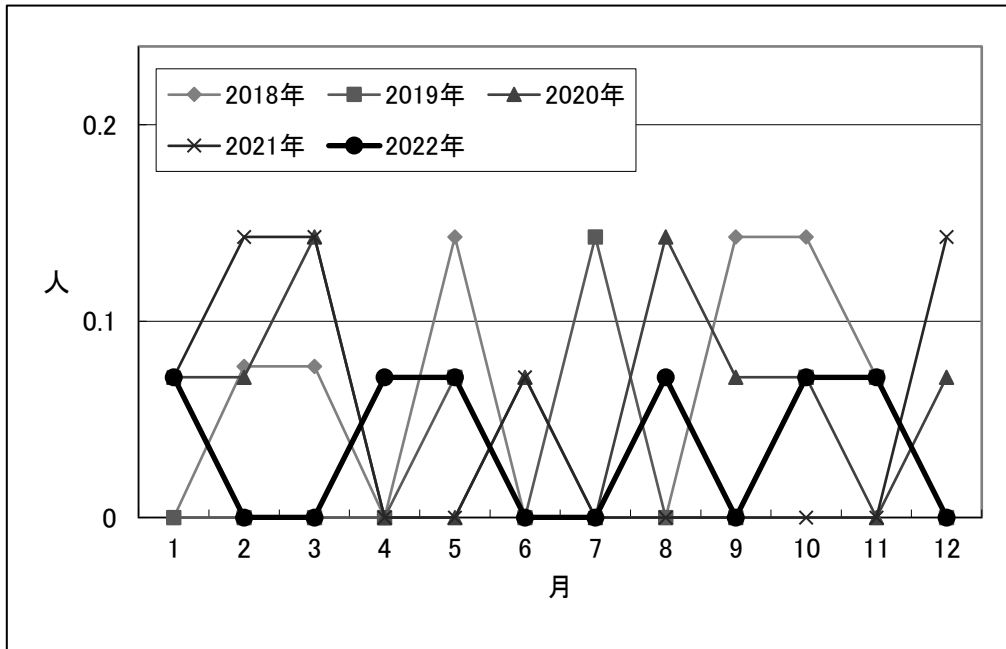
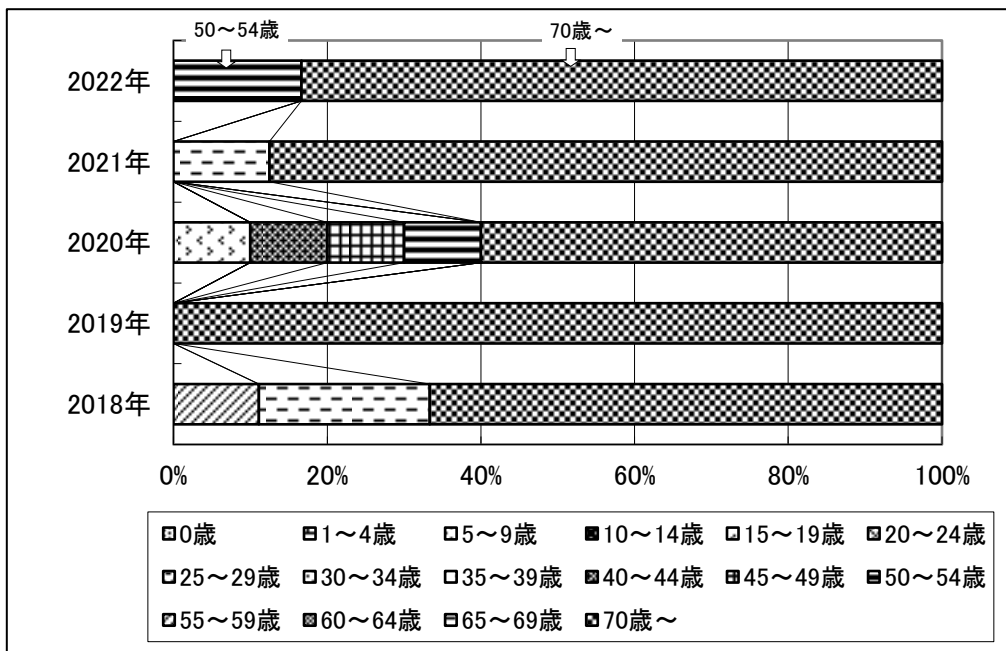


図 29-2 薬剤耐性緑膿菌感染症患者の年齢階級別割合



3. 病原微生物検出状況

(1) 腸管出血性大腸菌感染症事例（2022年）

| 保健所等 | 件数 | | |
|------|------|-----|---------|
| | 0157 | 026 | その他の血清型 |
| 伊丹 | 4 | 0 | 0 |
| 宝塚 | 0 | 0 | 0 |
| 加古川 | 5 | 1 | 0 |
| 加東 | 2 | 0 | 0 |
| 龍野 | 0 | 0 | 1 |
| 豊岡 | 1 | 0 | 0 |
| 朝来 | 0 | 1 | 0 |
| 洲本 | 0 | 0 | 3 |

その他の血清型：0156, 0121, 0111

(2) 細菌による食中毒（疑）事例（2022年）

| 保健所等 | 病原菌 | 件数 | 当所での検査数 |
|------|----------|----|----------------------|
| 朝来 | セレウス菌 | 2 | エンテロトキシン試験 |
| 伊丹 | 腸管病原性大腸菌 | 2 | 菌検出、病原遺伝子検出、血清型、PFGE |
| 加古川 | 腸管病原性大腸菌 | 1 | 菌検出 |
| 朝来 | 腸管病原性大腸菌 | 11 | 菌検出、病原遺伝子検出、血清型、PFGE |
| 宝塚 | 腸管病原性大腸菌 | 5 | 菌検出、病原遺伝子検出、血清型、PFGE |
| 豊岡 | 腸管病原性大腸菌 | 5 | 菌検出、病原遺伝子検出、血清型、PFGE |
| 朝来 | 腸管病原性大腸菌 | 1 | 病原遺伝子検出、血清型、PFGE |
| 朝来 | 腸管病原性大腸菌 | 10 | 菌検出、病原遺伝子検出、血清型、PFGE |
| 加古川 | 黄色ブドウ球菌 | 5 | エンテロトキシン試験 |
| 加古川 | サルモネラ | 7 | 血清型 |
| 宝塚 | サルモネラ | 2 | 血清型 |

*保健所設置市は除く

(3) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症事例（2022年）

| 保健所等 | 菌種 | 件数 | 群別 [※] , T型別 [※] , EMM型 [※] |
|------|--------------------|----|--|
| 洲本 | <i>S. pyogenes</i> | 1 | A群, TB3264, EMM89.0 |
| 伊丹 | <i>S. pyogenes</i> | 1 | G群, STG485.0 |
| 加古川 | <i>S. pyogenes</i> | 1 | A群, T型別不能, EMM49.0 |
| 加古川 | <i>S. pyogenes</i> | 1 | A群, T型別不能, EMM81.0 |

※国立感染症研究所で実施

(4) 侵襲性肺炎球菌感染症事例（2022年）

| 保健所等 | 菌種 | 件数 | 血清型 |
|------|----------------------|----|---------|
| 洲本 | <i>S. pneumoniae</i> | 1 | 15A/15F |
| 洲本 | <i>S. pneumoniae</i> | 1 | 15A/15F |

(5) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症事例 (2022年)

| 保健所等 | 菌種 | 件数 | カルバペネマーゼ陽性件数 |
|------|----------------------|----|--------------|
| 宝塚 | <i>K. aerogenes</i> | 1 | 0 |
| | <i>E. cloacae</i> | 1 | 0 |
| 加古川 | <i>E. cloacae</i> | 1 | 0 |
| | <i>K. aerogenes</i> | 1 | 0 |
| 加東 | <i>K. pneumoniae</i> | 5 | 2 |
| | <i>K. aerogenes</i> | 3 | 0 |
| | <i>E. cloacae</i> | 2 | 0 |
| | <i>E. coli</i> | 1 | 1 |
| | <i>C. freundii</i> | 1 | 0 |
| 赤穂 | <i>K. oxytoca</i> | 1 | 1 |
| 朝来 | <i>K. aerogenes</i> | 2 | 0 |
| 洲本 | <i>E. cloacae</i> | 3 | 0 |
| | <i>K. aerogenes</i> | 2 | 0 |
| | <i>M. morgani</i> | 1 | 0 |

*保健所設置市は除く

| 菌種 | 検出されたカルバペネマーゼ遺伝子 |
|----------------------|------------------|
| <i>E. coli</i> | IMP-6 |
| <i>K. pneumoniae</i> | NDM-1 |
| <i>K. oxytoca</i> | IMP-6 |
| <i>K. pneumoniae</i> | NDM-1 |

名称は2023年10月30日現在のものを使用。

(6) その他の細菌検査 (2022年)

| 保健所等 | 検体 | 件数 | 当所での検査等 | 当所での検査結果 |
|--------|------------------------------------|----|--|--------------------|
| 龍野 | サルモネラ属菌 | 1 | 血清型別 | S. Muenster |
| 伊丹 | <i>Clostridioides difficile</i> 菌株 | 1 | <i>Clostridioides difficile</i> の毒素遺伝子の検出 [※] 、 遺伝子型別 [※] | A+B+CDT+ |
| 豊岡 | 血液 | 1 | レプトスピラ抗体検査 [※] 、レプトスピラ遺伝子の検出 [※] | 陰性 |
| 加古川 | インフルエンザウイルス菌株 | 1 | 英膜型別 | f |
| 感染症対策課 | 血清 | 1 | ライム病抗体検査 [※] 、ボレリアDNAの検出 [※] | 陰性 |
| 豊岡 | 血清 | 1 | ライム病抗体検査 [※] 、ボレリアDNAの検出 [※] | 陰性 |
| 伊丹 | VRE菌株 | 1 | 耐性遺伝子の検出 | <i>vanC1</i> |
| 龍野 | サルモネラ属菌 | 1 | 血清型別 | 型別不能 |
| 加古川 | 菌株 (サルモネラ属菌、大腸菌、セレウス菌) | 13 | 血清型別等 | S. Schwarzengrund等 |
| 龍野 | サルモネラ属菌菌株 | 1 | 血清型別 | S. Yovokome |
| 龍野 | サルモネラ属菌菌株 | 1 | 血清型別 | S. Thompson |

※国立感染症研究所で実施

(7) 結核菌の同定試験及び結核の感染源調査 (2022年)

| 菌株搬入日 | 保健所等 | 菌株番号 | クラスター番号* | |
|------------|------|---------|----------|-----------|
| | | | JATA(12) | 24Beijing |
| 2022.01.11 | 豊岡 | MY21047 | 161 | |
| 2022.01.25 | 尼崎市 | MY21253 | | |
| 2022.04.27 | 尼崎市 | MY21254 | | |
| 2022.04.27 | 尼崎市 | MY21255 | | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21401 | 180 | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21402 | 006 | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21403 | | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21404 | | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21405 | 120 | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21406 | 043 | 013 |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21407 | | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21408 | | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21409 | 006 | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21410 | 121 | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21411 | | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21412 | | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21413 | 184 | |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21414 | 002 | 105 |
| 2022.03.22 | 明石市 | MY21415 | 065 | |
| 2022.06.21 | 洲本 | MY22001 | | |
| 2022.06.21 | 洲本 | MY22002 | | |
| 2022.06.21 | 洲本 | MY22003 | 097 | 041 |
| 2022.06.21 | 洲本 | MY22004 | | |
| 2022.06.21 | 洲本 | MY22005 | 002 | 110 |
| 2022.06.21 | 洲本 | MY22006 | | |
| 2022.06.21 | 洲本 | MY22007 | | |
| 2022.06.21 | 洲本 | MY22008 | 006 | |
| 2022.06.29 | 丹波 | MY22009 | 035 | 012 |
| 2022.06.29 | 丹波 | MY22010 | | |
| 2022.07.05 | 中播磨 | MY22011 | | |
| 2022.07.11 | 龍野 | MY22012 | | |
| 2022.07.25 | 赤穂 | MY22013 | 075 | 111 |
| 2022.07.25 | 丹波 | MY22014 | | |
| 2022.07.25 | 丹波 | MY22015 | | |
| 2022.07.25 | 丹波 | MY22016 | 169 | |
| 2022.07.25 | 丹波 | MY22017 | | |
| 2022.07.25 | 丹波 | MY22018 | | |
| 2022.07.25 | 丹波 | MY22019 | 003 | |
| 2022.07.28 | 豊岡 | MY22020 | 038 | 065 |
| 2022.07.28 | 豊岡 | MY22021 | 117 | |
| 2022.08.10 | 朝来 | MY22022 | | |
| 2022.09.28 | 朝来 | MY22023 | | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22024 | 118 | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22025 | | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22026 | 189 | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22027 | 008 | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22028 | 001 | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22029 | 110 | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22030 | 190 | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22031 | 001 | 002 |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22032 | | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22033 | 191 | |
| 2022.11.01 | 加古川 | MY22034 | 056 | |
| 2022.12.01 | 朝来 | MY22036 | 192 | |
| 2022.12.01 | 朝来 | MY22037 | | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22201 | 100 | |

| 菌株搬入日 | 保健所等 | 菌株番号 | クラスター番号* | |
|------------|------|---------|----------|-----------|
| | | | JATA(12) | 24Beijing |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22202 | 154 | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22203 | | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22204 | 181 | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22205 | 041 | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22206 | | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22207 | 183 | 108 |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22208 | 035 | 012 |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22209 | | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22210 | | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22211 | 003 | 073 |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22212 | 002 | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22213 | 001 | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22214 | 185 | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22215 | 186 | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22216 | | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22217 | 008 | 106 |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22218 | 098 | |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22219 | 101 | 109 |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22220 | 139 | 056 |
| 2022.04.28 | 尼崎市 | MY22221 | | |
| 2022.05.10 | 尼崎市 | MY22222 | 183 | 108 |
| 2022.05.10 | 尼崎市 | MY22223 | 001 | 002 |
| 2022.05.10 | 尼崎市 | MY22224 | 187 | |
| 2022.05.10 | 尼崎市 | MY22225 | 182 | 107 |
| 2022.05.10 | 尼崎市 | MY22226 | | |
| 2022.12.08 | 尼崎市 | MY22227 | 002 | |
| 2022.12.20 | 尼崎市 | MY22228 | 004 | 112 |
| 2022.12.20 | 尼崎市 | MY22229 | | |
| 2022.12.20 | 尼崎市 | MY22230 | | |
| 2022.12.20 | 尼崎市 | MY22231 | 001 | 096 |
| 2022.12.20 | 尼崎市 | MY22232 | 157 | 113 |
| 2022.12.20 | 尼崎市 | MY22233 | 157 | 113 |
| 2022.12.20 | 尼崎市 | MY22234 | 039 | |
| 2022.12.20 | 尼崎市 | MY22235 | | |
| 2022.12.20 | 尼崎市 | MY22236 | | |
| 2022.12.22 | 尼崎市 | MY22237 | 193 | |
| 2022.12.22 | 尼崎市 | MY22238 | | |
| 2023.12.27 | 尼崎市 | MY22239 | 099 | 087 |
| 2022.05.11 | 西宮市 | MY22301 | | |
| 2022.06.29 | 西宮市 | MY22302 | | |
| 2022.04.28 | 明石市 | MY22401 | 001 | |
| 2022.04.28 | 明石市 | MY22402 | 135 | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22403 | | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22404 | | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22405 | 194 | 114 |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22406 | | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22407 | | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22408 | 070 | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22409 | | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22410 | 001 | 062 |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22411 | 006 | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22412 | 001 | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22413 | 040 | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22414 | 035 | 012 |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22415 | 195 | 115 |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22416 | 180 | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22417 | | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22418 | | |

| 菌株搬入日 | 保健所等 | 菌株番号 | クラスター番号* | |
|------------|------|---------|----------|-----------|
| | | | JATA(12) | 24Beijing |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22419 | 196 | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22420 | | |
| 2022.12.26 | 明石市 | MY22421 | 041 | |

*JATA(12)-VNTRプロファイル及び24領域(24Beijing)VNTRプロファイルが一致したものに同一の番号を付した。空白は2012年から当所で蓄積しているデータベース内に一致する菌株がみられなかったことを表す。

(8) 新型コロナウイルスの検出状況 (2022年)

| 検査実施年月 | 検体数 | 陽性検体数 | 陽性率 (%) |
|---------|--------|-------|---------|
| 2022.01 | 5,558 | 1,410 | 25 |
| 2022.02 | 3,624 | 1,075 | 30 |
| 2022.03 | 1,701 | 397 | 23 |
| 2022.04 | 1,058 | 213 | 20 |
| 2022.05 | 648 | 208 | 32 |
| 2022.06 | 278 | 44 | 16 |
| 2022.07 | 2,063 | 983 | 48 |
| 2022.08 | 2,674 | 1,681 | 63 |
| 2022.09 | 632 | 271 | 43 |
| 2022.10 | 207 | 49 | 24 |
| 2022.11 | 254 | 67 | 26 |
| 2022.12 | 338 | 212 | 63 |
| 合計 | 19,035 | 6,610 | 35 |

(9) インフルエンザウイルスの検出状況 (2022年)

| 検体搬入年月 | 検体数 | ウイルス検出数 | | | | 陰性 |
|---------|-----|------------------|------|--------------------|--------------------|----|
| | | A(H1N1) pdm09 | A香港型 | B型 (Victoria系統) | B型 (Yamagata系統) | |
| 2022.01 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 2022.02 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 2022.03 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.04 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.05 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.06 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.07 | 10 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.08 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.09 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.11 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.12 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 17 | 0 | 15 | 0 | 0 | 2 |

(10) 日本脳炎流行予測調査結果：ブタ血清中の HI 抗体価（2022 年）

| 採血月日 | 検査頭数 | HI抗体価 | | | | | | | | 陽性率 (%) | 2ME感受性 (%) |
|------------|------|-------|----|----|----|----|-----|-----|------|------------|---------------|
| | | <10 | 10 | 20 | 40 | 80 | 160 | 320 | ≥640 | | |
| 2022.06.08 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.06.23 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.07.06 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.07.20 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.08.03 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.08.24 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.09.07 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2022.09.28 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

(11) 蚊媒介感染症の検査（2022 年）

| 疾患名 | 検体数 (患者数) | 陽性 患者数 | ウイルス型 | 備考 |
|-----------|--------------|-----------|-------|----|
| デング熱 | 2 (1) | 0 | — | — |
| チクングニア熱 | 2 (1) | 0 | — | — |
| ジカウイルス感染症 | 2 (1) | 0 | — | — |

(12) ダニ媒介感染症の検査（2022 年）

| 疾患名 | 検体数 | 患者数（陽性数） | 備考 |
|--------------|-----|----------|-----------|
| 日本紅斑熱 | 111 | 42 (10) | 遺伝子及び抗体検査 |
| つつが虫病 | 95 | 33 (7) | 遺伝子及び抗体検査 |
| 重症熱性血小板減少症候群 | 43 | 32 (2) | 遺伝子検査 |

(13) HIV 及び肝炎ウイルスの検査（2022 年）

| 疾患名 | 検体数 | 患者数（陽性数） | 備考 |
|-------|-----|----------|--------|
| HIV | 71 | 71 (0) | 職員特殊健診 |
| | 1 | 1 (1) | 確認検査 |
| A 型肝炎 | 0 | — | 遺伝子検査 |
| E 型肝炎 | 0 | — | 遺伝子検査 |

(14) 集団嘔吐下痢症事例からのノロウイルス等の検出状況 (2022年)

| 事例No. | 月 | 日 | 保健所等 | 原因施設 | 感染経路 | 原因食 | 対象者 | 患者数 | 検体 | 検体数 | 陽性数 | 検出ウイルス |
|-------|----|----|----------|------|------|----------------|-----|-----|-------|-----|----------|----------|
| 1 | 1 | 6 | 朝来 | 飲食店 | 食品疑い | 不明 | 45 | 22 | 有症 | 11 | 9 | NoV G II |
| | | | | | | | | | 調理従事者 | 5 | 4 | NoV G II |
| | | | | | | | | | 拭き取り | 5 | 0 | |
| 2 | 2 | 15 | 加東 | 飲食店 | 食品疑い | 不明 | 153 | 19 | 有症 | 19 | 19 | NoV G II |
| | | | | | | | | | 調理従事者 | 11 | 4 | NoV G II |
| | | | | | | | | | 拭き取り | 10 | 0 | |
| 3 | 6 | 11 | 朝来 | 仕出屋 | 食品疑い | ほうれん草の白和え | 251 | 171 | 調理従事者 | 10 | 0 | |
| | | | 有症者 | | | | | | 11 | 0 | | |
| | | | 有症者 | | | | | | 1 | 0 | | |
| | | | 有症者 | | | | | | 2 | 0 | | |
| | | | 有症者 | | | | | | 5 | 0 | | |
| 有症者 | 5 | 0 | | | | | | | | | | |
| 4 | 7 | 7 | 伊丹 | その他 | 食品疑い | 不明 | 74 | 11 | 有症者 | 1 | 0 | |
| 5 | 7 | 17 | 加古川 | その他 | 食品疑い | 鶏肉とカシューナッツの炒め丼 | 58 | 56 | 有症者 | 3 | 0 | |
| 6 | 9 | 24 | 加東 | 飲食店 | 食品疑い | 不明 | 217 | 154 | 有症者 | 1 | 0 | |
| | | | 加古川 | | | | | | 有症者 | 5 | 0 | |
| | | | 丹波 | | | | | | 有症者 | 2 | 0 | |
| | | | 芦屋 | | | | | | 有症者 | 1 | 0 | |
| 7 | 9 | 25 | 芦屋 | 飲食店 | 食品疑い | 不明 | 5 | 3 | 有症者 | 1 | 0 | |
| 8 | 10 | 23 | 洲本 | 旅館 | 食品疑い | 不明 | 45 | 23 | 調理従事者 | 6 | 3 | NoV G II |
| | | | 有症者 | | | | | | 3 | 3 | NoV G II | |
| | | | 拭き取り | | | | | | 10 | 0 | | |
| | | | 有症者 | | | | | | 1 | 1 | NoV G II | |
| 有症者 | 1 | 1 | NoV G II | | | | | | | | | |
| 9 | 11 | 14 | 加古川 | 飲食店 | 食品疑い | 不明 | 不明 | 3 | 有症者 | 3 | 0 | |

NoV G I : ノロウイルスG I、NoV G II : ノロウイルスG II

(15) 麻しん及び風しんウイルスの検出状況 (2022年)

| 保健所等 | 麻しんウイルス | | | | 風しんウイルス | | | |
|------|---------|-----|-----|------------|---------|-----|-----|------------|
| | 検査数 | | 陽性数 | | 検査数 | | 陽性数 | |
| | 患者数 | 検体数 | 患者数 | 遺伝子型 (患者数) | 患者数 | 検体数 | 患者数 | 遺伝子型 (患者数) |
| 芦屋 | 1 | 2 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - |
| 加古川 | 0 | 0 | 0 | - | 1 | 5 | 0 | - |
| 加東 | 1 | 3 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - |
| 朝来 | 1 | 3 | 0 | - | 1 | 2 | 0 | - |
| 洲本 | 1 | 3 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | - |
| 合計 | 4 | 11 | 0 | - | 2 | 7 | 0 | - |

(16) 感染症発生動向調査における月別病原体検出件数 (2022年)

(インフルエンザの検体を除く)

(検体数)

| 検体採取月 | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|-------|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 検体数 | | 6 | 15 | 6 | 6 | 17 | 39 | 41 | 16 | 17 | 8 | 21 | 12 | 204 |
| 患者数 | | 3 | 10 | 4 | 4 | 9 | 31 | 39 | 15 | 16 | 4 | 11 | 9 | 155 |
| 検査材料 | 咽頭ぬぐい液 | 1 | 4 | 1 | 1 | 4 | 11 | 5 | 2 | 4 | 1 | 2 | 9 | 45 |
| | 鼻腔ぬぐい液 | 1 | 3 | 2 | 0 | 3 | 18 | 35 | 11 | 9 | 3 | 8 | 1 | 94 |
| | 髄液 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 1 | 9 |
| | 便 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 0 | 2 | 3 | 1 | 2 | 0 | 17 |
| | 尿 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 11 |
| | 血液 | 1 | 6 | 1 | 3 | 5 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | 26 |
| | 気管吸引液 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

(検出件数)

| 疾患名 | 検出病原体 | 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|----------------------|---------------------|--|------------|---|---|---|----|----|----|----|---|---|---|-----|
| | | 咽頭結膜熱 | アデノウイルス 1型 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | アデノウイルス 2型 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 16 |
| | アデノウイルス 4型 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | アデノウイルス 5型 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | アデノウイルス 6型 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 手足口病 | コクサッキーウイルス A6型 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 無菌性髄膜炎 | エコーウイルス14型 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 新型コロナウイルス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 感染性胃腸炎 | アストロウイルス 1型 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | パレコウイルス 1型 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | アデノウイルス 2型 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | アデノウイルス 41型 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| RSウイルス感染症 | RSウイルス | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 17 | 35 | 11 | 8 | 3 | 2 | 0 | 80 |
| | ヒトボカウイルス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | エコーウイルス30型 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | ライノウイルス | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 7 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 16 |
| 発疹症 (突発性発疹含む) | ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV6) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | ヒトヘルペスウイルス 7 (HHV7) | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 呼吸器疾患 (上気道炎・下気道炎) | ライノウイルス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | ヒトボカウイルス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV6) | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | インフルエンザ菌 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| その他 (不明熱等) | サイトメガロウイルス | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | BKウイルス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 検出数 (合計) | | 3 | 5 | 4 | 1 | 6 | 34 | 50 | 11 | 12 | 6 | 3 | 9 | 144 |

4. 資 料

| | |
|--|----|
| (1) 全数把握対象疾病の患者数 | |
| 付表1-1：全数把握対象疾病の年間患者数（2022年） | 52 |
| 付表1-2：全数把握対象疾病の週別患者数（届出のあった疾病）（2022年） | 53 |
| 付表1-3：全数把握対象疾病の保健所別患者数（届出のあった疾病）（2022年） | 54 |
| 付表1-4：全数把握対象疾病の年齢階級別患者数（届出のあった疾病）（2022年） | 55 |
| 付表1-5：新型コロナウイルス感染症の患者数（届出のあった疾病）（2022年） | 56 |
| (2) 定点把握対象疾病の週（月）別患者数 | |
| 付表2-1：週報対象疾病の週別患者数（2022年） | 57 |
| 付表2-2：週報対象疾病の週別定点あたり患者数（2022年） | 58 |
| 付表2-3：月報対象疾病の月別患者数（2022年） | 59 |
| 付表2-4：月報対象疾病の月別定点あたり患者数（2022年） | 59 |
| (3) 定点把握対象疾病の保健所別患者数 | |
| 付表3-1：週報対象疾病の保健所別患者数（2022年） | 60 |
| 付表3-2：週報対象疾病の保健所別定点あたり患者数（2022年） | 61 |
| 付表3-3：月報対象疾病の保健所別患者数（2022年） | 62 |
| 付表3-4：月報対象疾病の保健所別定点あたり患者数（2022年） | 62 |
| (4) 定点把握対象疾病の年齢階級別患者数 | |
| 付表4-1：週報対象疾病の年齢階級別患者数（2022年） | 63 |
| 付表4-2：週報対象疾病患者の年齢階級別割合（2022年） | 64 |
| 付表4-3：月報対象疾病の年齢階級別患者数（2022年） | 65 |
| 付表4-4：月報対象疾病患者の年齢階級別割合（2022年） | 65 |
| (5) 定点把握対象疾病（月報）の性別患者数 | |
| 付表5：月報対象疾病の性別患者数と割合（2022年） | 65 |

付表1-1 全数把握対象疾病の年間累積患者数（2022年）

| 疾病名 | | 計 | 疾病名 | | 計 |
|------------------------|----------------------------|-----------------|----------------------------|-----------------------|----|
| 一類感染症 | エボラ出血熱 | 0 | 四類感染症 (2) | 日本紅斑熱 | 17 |
| | クリミア・コンゴ出血熱 | 0 | | 日本脳炎 | 0 |
| | 痘そう | 0 | | ハンタウイルス肺症候群 | 0 |
| | 南米出血熱 | 0 | | Bウイルス病 | 0 |
| | ペスト | 0 | | 鼻疽 | 0 |
| | マールブルグ病 | 0 | | ブルセラ症 | 0 |
| | ラッサ熱 | 0 | | ベネズエラウマ脳炎 | 0 |
| 二類感染症 | 急性灰白髄炎 | 0 | | ヘンドラウイルス感染症 | 0 |
| | 結核 | 762 | | 発しんチフス | 0 |
| | ジフテリア | 0 | | ボツリヌス症 | 0 |
| | 重症急性呼吸器症候群* ^A | 0 | | マラリア | 1 |
| | 中東呼吸器症候群* ^B | 0 | | 野兔病 | 0 |
| | 鳥インフルエンザ(H5N1) | 0 | | ライム病 | 0 |
| | 鳥インフルエンザ(H7N9) | 0 | | リッサウイルス感染症 | 0 |
| 三類感染症 | コレラ | 0 | | リフトバレー熱 | 0 |
| | 細菌性赤痢 | 0 | | 類鼻疽 | 0 |
| | 腸管出血性大腸菌感染症 | 94 | | レジオネラ症 | 81 |
| | 腸チフス | 0 | | レプトスピラ症 | 0 |
| | パラチフス | 0 | | ロッキー山紅斑熱 | 0 |
| 四類感染症 (1) | E型肝炎 | 5 | | アメーバ赤痢 | 24 |
| | ウエストナイル熱* ^C | 0 | | ウイルス性肝炎* ^F | 8 |
| | A型肝炎 | 3 | | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 81 |
| | エキノкокクス症 | 0 | | 急性弛緩性麻痺* ^G | 0 |
| | エムボックス | 0 | | 急性脳炎* ^H | 11 |
| | 黄熱 | 0 | | クリプトスポリジウム症 | 0 |
| | オウム病 | 0 | | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 2 |
| | オムスク出血熱 | 0 | | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 22 |
| | 回帰熱 | 0 | | 後天性免疫不全症候群 | 23 |
| | キャサヌル森林病 | 0 | ジアルジア症 | 3 | |
| | Q熱 | 0 | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 12 | |
| | 狂犬病 | 0 | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 1 | |
| | コクシジオイデス症 | 0 | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 62 | |
| | ジカウイルス感染症 | 0 | 水痘(入院例) | 9 | |
| | 重症熱性血小板減少症候群* ^D | 2 | 先天性風しん症候群 | 0 | |
| | 腎症候性出血熱 | 0 | 梅毒 | 393 | |
| | 西部ウマ脳炎 | 0 | 播種性クリプトкокクス症 | 6 | |
| | ダニ媒介脳炎 | 0 | 破傷風 | 1 | |
| | 炭疽 | 0 | バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 0 | |
| | チクングニア熱 | 0 | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 2 | |
| | つつが虫病 | 9 | 百日咳 | 15 | |
| デング熱 | 2 | 風しん | 0 | | |
| 東部ウマ脳炎 | 0 | 麻しん | 1 | | |
| 鳥インフルエンザ* ^E | 0 | 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | 0 | | |
| ニパウイルス感染症 | 0 | | | | |
| | | | 新型インフルエンザ等感染症 | 計 | |
| | | | 新型コロナウイルス感染症* ^I | 1,202,985 | |

名称は2023年10月30日現在のものを使用。

^A病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。^B病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

^Cウエストナイル脳炎を含む。^D病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。*^EH5N1及びH7N9を除く。*^FE型肝炎及びA型肝炎を除く。

^G急性灰白髄炎を除く。^Hウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*^I病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。

付表1-2 全数把握対象疾病の週別患者数（届出のあった疾病）（2022年）

| 疾病名 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | |
|-----------|----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|---|
| 二類 | 結核 | 14 | 12 | 18 | 19 | 18 | 14 | 14 | 17 | 18 | 9 | 18 | 23 | 11 | 16 | 10 | 18 | 10 | 9 | 14 | 14 | 20 | 15 | 14 | 25 | 14 | 12 | 14 | |
| 三類 感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 2 | 4 | 2 | 3 | 2 | 1 | 3 | 1 | 4 | 2 | |
| 四類 感染症 | E型肝炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | A型肝炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 重症熱性血小板減少症候群* ^A | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | つつが虫病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | Dengue熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日本紅斑熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | マラリア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | レジオネラ症 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 5 | 6 | 4 | |
| 五類 感染症 | アメーバ赤痢 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | |
| | ウイルス性肝炎* ^B | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 2 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 | 1 | |
| | 急性脳炎* ^C | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | |
| | 後天性免疫不全症候群 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | ジアルジア症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 3 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | |
| | 水痘(入院例) | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | |
| | 梅毒 | 4 | 6 | 4 | 5 | 6 | 10 | 5 | 7 | 3 | 3 | 4 | 3 | 4 | 7 | 11 | 6 | 6 | 4 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 10 | 10 | 8 | 11 | |
| | 播種性クリプトコックス症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | 破傷風 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 百日咳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 麻しん | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 疾病名 | | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 計 | | |
| 二類 | 結核 | 12 | 10 | 14 | 14 | 13 | 18 | 22 | 22 | 10 | 15 | 14 | 23 | 22 | 7 | 9 | 14 | 18 | 15 | 8 | 10 | 16 | 15 | 10 | 15 | 6 | 762 | | |
| 三類 感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 9 | 3 | 2 | 2 | 1 | 4 | 7 | 4 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1 | 0 | 8 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 94 | | |
| 四類 感染症 | E型肝炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | | |
| | A型肝炎 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | | |
| | 重症熱性血小板減少症候群* ^A | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | | |
| | つつが虫病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 | | |
| | Dengue熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | | |
| | 日本紅斑熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | | |
| | マラリア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| | レジオネラ症 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 0 | 5 | 3 | 3 | 1 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 81 | | |
| 五類 感染症 | アメーバ赤痢 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 24 | | |
| | ウイルス性肝炎* ^B | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 8 | | |
| | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 2 | 3 | 1 | 6 | 1 | 6 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 3 | 2 | 1 | 1 | 4 | 81 | | |
| | 急性脳炎* ^C | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 | | |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | | |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 後天性免疫不全症候群 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 23 | | |
| | ジアルジア症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | | |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | | |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 62 | | |
| | 水痘(入院例) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | | |
| | 梅毒 | 8 | 15 | 13 | 6 | 6 | 7 | 8 | 11 | 3 | 8 | 10 | 13 | 10 | 7 | 11 | 15 | 6 | 15 | 6 | 5 | 5 | 8 | 7 | 10 | 5 | 393 | | |
| | 播種性クリプトコックス症 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | | |
| | 破傷風 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | | |
| 百日咳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | | |
| 麻しん | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |

名称は2023年10月30日現在のものを使用。

^A病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。^BE型肝炎及びA型肝炎を除く。*^Cウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

付表1-3 全数把握対象疾病の保健所別患者数（届出のあった疾病）（2022年）

| 疾 病 名 | | 神戸市 | 尼崎市 | 姫路市 | 西宮市 | 明石市 | 芦屋 | 伊丹 | 宝塚 | 加古川 | 加東 |
|-------|----------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|
| 二類 | 結核 | 225 | 88 | 66 | 49 | 55 | 11 | 46 | 37 | 67 | 44 |
| 三類 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 33 | 9 | 15 | 7 | 4 | 0 | 5 | 1 | 7 | 3 |
| 四類 | E型肝炎 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | A型肝炎 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 重症熱性血小板減少症候群 ^{*A} | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | つつが虫病 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | デング熱 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日本紅斑熱 | 7 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | マラリア | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | レジオネラ症 | 36 | 2 | 6 | 3 | 5 | | 2 | 4 | 6 | 7 |
| 五類 | アメーバ赤痢 | 5 | 5 | 0 | 5 | 2 | 1 | 0 | 3 | 1 | 2 |
| | ウイルス性肝炎 ^{*B} | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 17 | 10 | 13 | 2 | 3 | 1 | 2 | 5 | 3 | 13 |
| | 急性脳炎 ^{*C} | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 3 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 14 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | ジアルジア症 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 5 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 18 | 6 | 11 | 3 | 1 | 0 | 3 | 1 | 6 | 2 |
| | 水痘(入院例) | 3 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 梅毒 | 139 | 35 | 57 | 43 | 10 | 7 | 14 | 22 | 25 | 14 |
| | 播種性クリプトコックス症 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 破傷風 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | 百日咳 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 11 | 1 |
| 麻しん | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

| 疾 病 名 | | 龍野 | 赤穂 | 福崎 | 豊岡 | 朝来 | 丹波 | 洲本 | 計 |
|-------|----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 二類 | 結核 | 14 | 9 | 4 | 9 | 5 | 18 | 15 | 762 |
| 三類 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 4 | 2 | 94 |
| 四類 | E型肝炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | A型肝炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 重症熱性血小板減少症候群 ^{*A} | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | つつが虫病 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 9 |
| | デング熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 日本紅斑熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 17 |
| | マラリア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | レジオネラ症 | 2 | 0 | 1 | 3 | 0 | 3 | 1 | 81 |
| 五類 | アメーバ赤痢 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24 |
| | ウイルス性肝炎 ^{*B} | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 | 6 | 81 |
| | 急性脳炎 ^{*C} | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 22 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 23 |
| | ジアルジア症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 0 | 0 | 1 | 5 | 2 | 1 | 2 | 62 |
| | 水痘(入院例) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| | 梅毒 | 7 | 4 | 4 | 2 | 1 | 3 | 6 | 393 |
| | 播種性クリプトコックス症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| | 破傷風 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 百日咳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 |
| 麻しん | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |

名称は2023年10月30日現在のものを使用。

^{*A}病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。^{*B}E型肝炎及びA型肝炎を除く。^{*C}ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

付表1-4 全数把握対象疾病の年齢階級別患者数(届出のあった疾病)(2022年)

| 疾 病 名 | | 0歳 | 1-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 | 40-44歳 | 45-49歳 |
|-------------------|----------------------------|----|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 二類 | 結核 | 5 | 1 | 1 | 6 | 4 | 22 | 15 | 16 | 15 | 21 | 22 |
| 三類 感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 0 | 14 | 6 | 3 | 8 | 10 | 8 | 3 | 8 | 4 | 5 |
| 四類 感染症 | E型肝炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | A型肝炎 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 重症熱性血小板減少症候群 ^{*A} | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | つつが虫病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | デング熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 日本紅斑熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| | マラリア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | レジオネラ症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 五類 感 染 症 | アメーバ赤痢 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 3 |
| | ウイルス性肝炎 ^{*B} | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 |
| | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 急性脳炎 ^{*C} | 2 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 8 | 4 | 1 | 2 |
| | ジアルジア症 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 0 | 13 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 4 |
| | 水痘(入院例) | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| | 梅毒 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 58 | 61 | 35 | 37 | 30 | 51 |
| | 播種性クリプトコックス症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 破傷風 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 百日咳 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| | 麻しん | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 疾 病 名 | | 50-54歳 | 55-59歳 | 60-64歳 | 65-69歳 | 70-74歳 | 75-79歳 | 80-84歳 | 85-89歳 | 90歳以上 | 計 |
|-------------------|----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|
| 二類 | 結核 | 30 | 38 | 24 | 35 | 92 | 103 | 109 | 111 | 92 | 762 |
| 三類 感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 7 | 7 | 3 | 1 | 4 | 2 | 0 | 1 | 0 | 94 |
| 四類 感 染 症 | E型肝炎 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 5 |
| | A型肝炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| | 重症熱性血小板減少症候群 ^{*A} | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| | つつが虫病 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| | デング熱 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 日本紅斑熱 | 2 | 0 | 2 | 1 | 3 | 5 | 0 | 0 | 0 | 17 |
| | マラリア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | レジオネラ症 | 3 | 7 | 12 | 10 | 16 | 12 | 9 | 5 | 5 | 81 |
| 五類 感 染 症 | アメーバ赤痢 | 4 | 3 | 4 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24 |
| | ウイルス性肝炎 ^{*B} | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 8 |
| | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 1 | 4 | 4 | 6 | 2 | 15 | 16 | 18 | 13 | 81 |
| | 急性脳炎 ^{*C} | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| | クロイツフェルト・ヤコブ病 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 2 | 0 | 3 | 2 | 1 | 2 | 0 | 5 | 4 | 22 |
| | 後天性免疫不全症候群 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23 |
| | ジアルジア症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 3 | 12 |
| | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 0 | 3 | 5 | 6 | 11 | 6 | 4 | 3 | 3 | 62 |
| | 水痘(入院例) | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| | 梅毒 | 38 | 30 | 16 | 13 | 5 | 1 | 4 | 1 | 1 | 393 |
| | 播種性クリプトコックス症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 6 |
| | 破傷風 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 百日咳 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 15 |
| | 麻しん | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

名称は2023年10月30日現在のものを使用。

^{*A}病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。^{*B}E型肝炎及びA型肝炎を除く。^{*C}ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

付表1-5 新型コロナウイルス感染症^{*A}の患者数(届出のあった疾病)(2022年)

(1) 週別

| | | | | | | | | | |
|--------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 787 | 5,150 | 15,657 | 27,487 | 37,143 | 35,855 | 32,456 | 25,176 | 22,946 | 18,963 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 14,679 | 11,765 | 12,522 | 13,309 | 13,566 | 10,629 | 9,013 | 8,173 | 10,946 | 10,057 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 8,149 | 5,374 | 4,444 | 3,848 | 4,226 | 6,111 | 12,685 | 29,332 | 48,371 | 66,278 |
| 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| 71,461 | 71,886 | 71,036 | 66,755 | 44,844 | 32,627 | 24,147 | 14,443 | 9,683 | 6,988 |
| 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 |
| 6,979 | 8,679 | 10,002 | 12,334 | 13,788 | 15,142 | 18,867 | 22,074 | 29,094 | 38,682 |
| 51 | 52 | 計 | | | | | | | |
| 45,428 | 42,949 | 1,202,985 | | | | | | | |

(2) 年齢階級別

| | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|-----|-----------|
| 0-9歳 | 10-19歳 | 20-29歳 | 30-39歳 | 40-49歳 | 50-59歳 | 60-69歳 | 70-79歳 | 80歳以上 | 非公表 | 計 |
| 167,022 | 185,196 | 162,690 | 173,038 | 186,098 | 137,007 | 79,388 | 57,880 | 54,659 | 7 | 1,202,985 |

^{*A}病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に感染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。

付表2-1 週報対象疾病の週別患者数（2022年）

| 疾 病 名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
|-------------------------|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| インフルエンザ ^{*A} | 2 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| RSウイルス感染症 | 6 | 26 | 11 | 16 | 9 | 7 | 17 | 11 | 14 | 8 | 4 | 7 | 5 | 5 | 2 | 4 | 0 | 1 |
| 咽頭結膜熱 | 24 | 22 | 18 | 9 | 17 | 6 | 24 | 12 | 7 | 7 | 12 | 13 | 9 | 9 | 5 | 9 | 17 | 23 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 29 | 26 | 41 | 71 | 23 | 14 | 35 | 14 | 29 | 24 | 25 | 25 | 14 | 16 | 18 | 26 | 25 | 16 |
| 感染性胃腸炎 | 893 | 1238 | 1470 | 1073 | 856 | 711 | 654 | 467 | 556 | 452 | 500 | 375 | 333 | 356 | 431 | 443 | 494 | 413 |
| 水痘 | 10 | 11 | 12 | 7 | 3 | 3 | 2 | 5 | 2 | 6 | 6 | 4 | 6 | 9 | 4 | 7 | 9 | 8 |
| 手足口病 | 36 | 17 | 28 | 16 | 7 | 19 | 6 | 2 | 4 | 1 | 6 | 4 | 2 | 4 | 11 | 5 | 10 | 4 |
| 伝染性紅斑 | 4 | 3 | 5 | 4 | 0 | 1 | 1 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 突発性発しん | 31 | 44 | 29 | 28 | 17 | 22 | 31 | 25 | 20 | 30 | 26 | 24 | 38 | 35 | 31 | 44 | 52 | 27 |
| ヘルパンギーナ | 5 | 4 | 3 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 |
| 流行性耳下腺炎 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 4 | 6 | 4 | 4 | 4 | 1 | 3 | 3 | 8 | 2 | 2 |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 流行性角結膜炎 | 5 | 4 | 6 | 6 | 5 | 5 | 7 | 3 | 6 | 3 | 2 | 5 | 1 | 5 | 7 | 9 | 5 | 5 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 無菌性髄膜炎 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 疾 病 名 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| インフルエンザ ^{*A} | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 28 | 9 | 10 | 16 | 4 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| RSウイルス感染症 | 9 | 10 | 22 | 29 | 29 | 61 | 66 | 149 | 327 | 675 | 694 | 733 | 686 | 448 | 348 | 268 | 289 | 276 |
| 咽頭結膜熱 | 19 | 16 | 44 | 49 | 60 | 48 | 80 | 52 | 68 | 49 | 37 | 21 | 15 | 12 | 10 | 10 | 3 | 9 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 58 | 26 | 33 | 28 | 36 | 51 | 32 | 24 | 47 | 45 | 41 | 37 | 39 | 13 | 26 | 26 | 44 | 44 |
| 感染性胃腸炎 | 552 | 731 | 735 | 752 | 889 | 911 | 819 | 751 | 693 | 651 | 464 | 437 | 354 | 248 | 266 | 324 | 341 | 388 |
| 水痘 | 6 | 9 | 7 | 13 | 13 | 19 | 8 | 6 | 5 | 8 | 4 | 6 | 7 | 3 | 7 | 6 | 14 | 6 |
| 手足口病 | 6 | 6 | 25 | 12 | 11 | 20 | 22 | 38 | 73 | 84 | 95 | 101 | 113 | 93 | 135 | 177 | 226 | 209 |
| 伝染性紅斑 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 1 | 2 | 3 | 3 | 4 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 突発性発しん | 45 | 39 | 38 | 44 | 50 | 48 | 37 | 37 | 39 | 33 | 24 | 33 | 18 | 20 | 23 | 34 | 30 | 34 |
| ヘルパンギーナ | 0 | 6 | 1 | 1 | 5 | 3 | 9 | 16 | 12 | 17 | 20 | 32 | 26 | 22 | 23 | 56 | 50 | 61 |
| 流行性耳下腺炎 | 4 | 4 | 6 | 8 | 3 | 5 | 1 | 6 | 4 | 6 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 6 | 6 | 7 |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 流行性角結膜炎 | 4 | 5 | 11 | 11 | 4 | 9 | 8 | 11 | 8 | 14 | 1 | 9 | 6 | 7 | 6 | 8 | 6 | 4 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 無菌性髄膜炎 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |

| 疾 病 名 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 計 |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| インフルエンザ ^{*A} | 4 | 0 | 5 | 5 | 7 | 7 | 10 | 21 | 29 | 37 | 29 | 27 | 41 | 62 | 155 | 253 | 807 |
| RSウイルス感染症 | 188 | 164 | 156 | 118 | 108 | 91 | 58 | 64 | 58 | 60 | 42 | 24 | 27 | 25 | 35 | 22 | 6512 |
| 咽頭結膜熱 | 3 | 4 | 6 | 4 | 5 | 1 | 5 | 5 | 11 | 7 | 12 | 10 | 13 | 14 | 25 | 23 | 993 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 29 | 24 | 32 | 40 | 27 | 49 | 50 | 27 | 31 | 37 | 29 | 60 | 28 | 34 | 24 | 18 | 1660 |
| 感染性胃腸炎 | 424 | 266 | 368 | 392 | 330 | 369 | 424 | 411 | 414 | 462 | 368 | 425 | 497 | 613 | 731 | 510 | 29025 |
| 水痘 | 3 | 10 | 13 | 10 | 7 | 11 | 9 | 14 | 14 | 17 | 13 | 22 | 11 | 13 | 9 | 8 | 445 |
| 手足口病 | 247 | 162 | 169 | 219 | 195 | 208 | 162 | 132 | 132 | 122 | 106 | 70 | 69 | 64 | 66 | 25 | 3776 |
| 伝染性紅斑 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 2 | 3 | 0 | 1 | 88 |
| 突発性発しん | 39 | 23 | 24 | 32 | 22 | 27 | 30 | 29 | 36 | 22 | 31 | 29 | 28 | 29 | 17 | 16 | 1614 |
| ヘルパンギーナ | 88 | 25 | 57 | 74 | 54 | 59 | 32 | 33 | 23 | 32 | 28 | 20 | 19 | 14 | 11 | 4 | 957 |
| 流行性耳下腺炎 | 4 | 4 | 3 | 3 | 2 | 4 | 4 | 7 | 3 | 8 | 13 | 4 | 0 | 3 | 6 | 0 | 202 |
| 急性出血性結膜炎 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 流行性角結膜炎 | 7 | 5 | 7 | 6 | 2 | 5 | 11 | 2 | 9 | 4 | 4 | 9 | 7 | 5 | 14 | 8 | 326 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 無菌性髄膜炎 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 32 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |

^{*A}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 ^{*B}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表2-2 週報対象疾病の週別定点あたり患者数 (2022年)

| 疾 病 名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
|-------------------------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| インフルエンザ ^{*A} | 0.01 | 0.01 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.09 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 |
| RSウイルス感染症 | 0.05 | 0.20 | 0.09 | 0.13 | 0.07 | 0.06 | 0.13 | 0.09 | 0.11 | 0.06 | 0.03 | 0.06 | 0.04 | 0.04 | 0.02 | 0.03 | 0.00 | 0.01 |
| 咽頭結膜熱 | 0.19 | 0.17 | 0.14 | 0.07 | 0.13 | 0.05 | 0.19 | 0.09 | 0.06 | 0.06 | 0.09 | 0.10 | 0.07 | 0.07 | 0.04 | 0.07 | 0.13 | 0.18 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.23 | 0.20 | 0.32 | 0.56 | 0.18 | 0.11 | 0.28 | 0.11 | 0.23 | 0.19 | 0.20 | 0.20 | 0.11 | 0.12 | 0.14 | 0.20 | 0.19 | 0.12 |
| 感染性胃腸炎 | 6.98 | 9.75 | 11.57 | 8.45 | 6.74 | 5.60 | 5.15 | 3.68 | 4.38 | 3.56 | 3.94 | 2.95 | 2.62 | 2.76 | 3.34 | 3.43 | 3.83 | 3.20 |
| 水痘 | 0.08 | 0.09 | 0.09 | 0.06 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.04 | 0.02 | 0.05 | 0.05 | 0.03 | 0.05 | 0.07 | 0.03 | 0.05 | 0.07 | 0.06 |
| 手足口病 | 0.28 | 0.13 | 0.22 | 0.13 | 0.06 | 0.15 | 0.05 | 0.02 | 0.03 | 0.01 | 0.05 | 0.03 | 0.02 | 0.03 | 0.09 | 0.04 | 0.08 | 0.03 |
| 伝染性紅斑 | 0.03 | 0.02 | 0.04 | 0.03 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.04 | 0.00 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.03 | 0.02 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| 突発性発しん | 0.24 | 0.35 | 0.23 | 0.22 | 0.13 | 0.17 | 0.24 | 0.20 | 0.16 | 0.24 | 0.20 | 0.19 | 0.30 | 0.27 | 0.24 | 0.34 | 0.40 | 0.21 |
| ヘルパンギーナ | 0.04 | 0.03 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.03 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.02 | 0.00 |
| 流行性耳下腺炎 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.03 | 0.05 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.01 | 0.02 | 0.02 | 0.06 | 0.02 | 0.02 |
| 急性出血性結膜炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 流行性角結膜炎 | 0.14 | 0.11 | 0.17 | 0.17 | 0.14 | 0.14 | 0.20 | 0.09 | 0.17 | 0.09 | 0.06 | 0.14 | 0.03 | 0.14 | 0.20 | 0.26 | 0.14 | 0.14 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.00 |
| 無菌性髄膜炎 | 0.07 | 0.00 | 0.14 | 0.00 | 0.07 | 0.14 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.00 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

| 疾 病 名 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|-------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| インフルエンザ ^{*A} | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.04 | 0.14 | 0.05 | 0.05 | 0.08 | 0.02 | 0.01 | 0.02 | 0.01 | 0.01 |
| RSウイルス感染症 | 0.07 | 0.08 | 0.17 | 0.22 | 0.22 | 0.47 | 0.51 | 1.16 | 2.53 | 5.23 | 5.38 | 5.68 | 5.32 | 3.47 | 2.70 | 2.08 | 2.24 | 2.14 |
| 咽頭結膜熱 | 0.15 | 0.12 | 0.34 | 0.38 | 0.47 | 0.37 | 0.62 | 0.40 | 0.53 | 0.38 | 0.29 | 0.16 | 0.12 | 0.09 | 0.08 | 0.08 | 0.02 | 0.07 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.45 | 0.20 | 0.26 | 0.22 | 0.28 | 0.40 | 0.25 | 0.19 | 0.36 | 0.35 | 0.32 | 0.29 | 0.30 | 0.10 | 0.20 | 0.20 | 0.34 | 0.34 |
| 感染性胃腸炎 | 4.28 | 5.67 | 5.70 | 5.83 | 6.89 | 7.06 | 6.35 | 5.82 | 5.37 | 5.05 | 3.60 | 3.39 | 2.74 | 1.92 | 2.06 | 2.51 | 2.64 | 3.01 |
| 水痘 | 0.05 | 0.07 | 0.05 | 0.10 | 0.10 | 0.15 | 0.06 | 0.05 | 0.04 | 0.06 | 0.03 | 0.05 | 0.05 | 0.02 | 0.05 | 0.05 | 0.11 | 0.05 |
| 手足口病 | 0.05 | 0.05 | 0.19 | 0.09 | 0.09 | 0.16 | 0.17 | 0.29 | 0.57 | 0.65 | 0.74 | 0.78 | 0.88 | 0.72 | 1.05 | 1.37 | 1.75 | 1.62 |
| 伝染性紅斑 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.03 | 0.01 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.03 | 0.02 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 突発性発しん | 0.35 | 0.30 | 0.29 | 0.34 | 0.39 | 0.37 | 0.29 | 0.29 | 0.30 | 0.26 | 0.19 | 0.26 | 0.14 | 0.16 | 0.18 | 0.26 | 0.23 | 0.26 |
| ヘルパンギーナ | 0.00 | 0.05 | 0.01 | 0.01 | 0.04 | 0.02 | 0.07 | 0.12 | 0.09 | 0.13 | 0.16 | 0.25 | 0.20 | 0.17 | 0.18 | 0.43 | 0.39 | 0.47 |
| 流行性耳下腺炎 | 0.03 | 0.03 | 0.05 | 0.06 | 0.02 | 0.04 | 0.01 | 0.05 | 0.03 | 0.05 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.05 | 0.05 | 0.05 |
| 急性出血性結膜炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.06 | 0.00 |
| 流行性角結膜炎 | 0.11 | 0.14 | 0.31 | 0.31 | 0.11 | 0.26 | 0.23 | 0.31 | 0.23 | 0.40 | 0.03 | 0.26 | 0.17 | 0.20 | 0.17 | 0.23 | 0.17 | 0.11 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.00 |
| 無菌性髄膜炎 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.07 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.00 |

| 疾 病 名 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 週平均 |
|-------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| インフルエンザ ^{*A} | 0.02 | 0.00 | 0.03 | 0.03 | 0.04 | 0.04 | 0.05 | 0.11 | 0.15 | 0.19 | 0.15 | 0.14 | 0.21 | 0.31 | 0.78 | 1.27 | 0.08 |
| RSウイルス感染症 | 1.46 | 1.27 | 1.21 | 0.91 | 0.84 | 0.71 | 0.45 | 0.50 | 0.45 | 0.47 | 0.33 | 0.19 | 0.21 | 0.19 | 0.27 | 0.17 | 0.97 |
| 咽頭結膜熱 | 0.02 | 0.03 | 0.05 | 0.03 | 0.04 | 0.01 | 0.04 | 0.04 | 0.09 | 0.05 | 0.09 | 0.08 | 0.10 | 0.11 | 0.19 | 0.18 | 0.15 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.22 | 0.19 | 0.25 | 0.31 | 0.21 | 0.38 | 0.39 | 0.21 | 0.24 | 0.29 | 0.22 | 0.47 | 0.22 | 0.26 | 0.19 | 0.14 | 0.25 |
| 感染性胃腸炎 | 3.29 | 2.06 | 2.85 | 3.04 | 2.56 | 2.86 | 3.29 | 3.19 | 3.21 | 3.58 | 2.85 | 3.29 | 3.85 | 4.75 | 5.67 | 3.95 | 4.34 |
| 水痘 | 0.02 | 0.08 | 0.10 | 0.08 | 0.05 | 0.09 | 0.07 | 0.11 | 0.11 | 0.13 | 0.10 | 0.17 | 0.09 | 0.10 | 0.07 | 0.06 | 0.07 |
| 手足口病 | 1.91 | 1.26 | 1.31 | 1.70 | 1.51 | 1.61 | 1.26 | 1.02 | 1.02 | 0.95 | 0.82 | 0.54 | 0.53 | 0.50 | 0.51 | 0.19 | 0.57 |
| 伝染性紅斑 | 0.01 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.02 | 0.02 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.00 | 0.01 | 0.01 |
| 突発性発しん | 0.30 | 0.18 | 0.19 | 0.25 | 0.17 | 0.21 | 0.23 | 0.22 | 0.28 | 0.17 | 0.24 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.13 | 0.12 | 0.24 |
| ヘルパンギーナ | 0.68 | 0.19 | 0.44 | 0.57 | 0.42 | 0.46 | 0.25 | 0.26 | 0.18 | 0.25 | 0.22 | 0.16 | 0.15 | 0.11 | 0.09 | 0.03 | 0.14 |
| 流行性耳下腺炎 | 0.03 | 0.03 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.03 | 0.03 | 0.05 | 0.02 | 0.06 | 0.10 | 0.03 | 0.00 | 0.02 | 0.05 | 0.00 | 0.03 |
| 急性出血性結膜炎 | 0.06 | 0.00 | 0.03 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.06 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 流行性角結膜炎 | 0.20 | 0.14 | 0.20 | 0.17 | 0.06 | 0.14 | 0.31 | 0.06 | 0.26 | 0.11 | 0.11 | 0.26 | 0.20 | 0.14 | 0.40 | 0.23 | 0.18 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.02 |
| 無菌性髄膜炎 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.14 | 0.07 | 0.00 | 0.14 | 0.07 | 0.00 | 0.21 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.07 | 0.04 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

^{*A}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 ^{*B}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表2-3 月報対象疾病の月別患者数（2022年）

| 疾 病 名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 計 |
|-------------------|----|----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|----|----|------|
| 性器クラミジア感染症 | 82 | 86 | 104 | 110 | 92 | 95 | 121 | 86 | 113 | 112 | 83 | 88 | 1172 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 19 | 22 | 16 | 24 | 24 | 24 | 20 | 16 | 27 | 23 | 16 | 14 | 245 |
| 尖圭コンジローマ | 12 | 10 | 17 | 16 | 21 | 20 | 16 | 13 | 23 | 17 | 21 | 21 | 207 |
| 淋菌感染症 | 24 | 25 | 28 | 36 | 29 | 22 | 28 | 33 | 29 | 20 | 24 | 18 | 316 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 52 | 53 | 51 | 41 | 42 | 31 | 35 | 48 | 50 | 55 | 67 | 58 | 583 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 | 2 | 1 | 1 | 13 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 6 |

付表2-4 月報対象疾病の月別定点あたり患者数（2022年）

| 疾 病 名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 月平均 |
|-------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 性器クラミジア感染症 | 1.78 | 1.87 | 2.26 | 2.39 | 2.00 | 2.07 | 2.63 | 1.87 | 2.46 | 2.43 | 1.80 | 1.91 | 2.12 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 0.41 | 0.48 | 0.35 | 0.52 | 0.52 | 0.52 | 0.43 | 0.35 | 0.59 | 0.50 | 0.35 | 0.30 | 0.44 |
| 尖圭コンジローマ | 0.26 | 0.22 | 0.37 | 0.35 | 0.46 | 0.43 | 0.35 | 0.28 | 0.50 | 0.37 | 0.46 | 0.46 | 0.38 |
| 淋菌感染症 | 0.52 | 0.54 | 0.61 | 0.78 | 0.63 | 0.48 | 0.61 | 0.72 | 0.63 | 0.43 | 0.52 | 0.39 | 0.57 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 3.71 | 3.79 | 3.64 | 2.93 | 3.00 | 2.21 | 2.50 | 3.43 | 3.57 | 3.93 | 4.79 | 4.14 | 3.47 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0.07 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.21 | 0.14 | 0.07 | 0.07 | 0.08 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.00 | 0.07 | 0.00 | 0.07 | 0.07 | 0.00 | 0.04 |

付表3-1 週報対象疾病の保健所別患者数（2022年）

| 疾 病 名 | 神戸市 | 尼崎市 | 姫路市 | 西宮市 | 明石市 | 芦屋 | 伊丹 | 宝塚 | 加古川 | 加東 |
|-------------------------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|
| インフルエンザ**A | 209 | 106 | 105 | 131 | 29 | 8 | 42 | 41 | 38 | 37 |
| RSウイルス感染症 | 986 | 574 | 1509 | 180 | 257 | 9 | 213 | 197 | 888 | 555 |
| 咽頭結膜熱 | 148 | 78 | 105 | 36 | 91 | 2 | 60 | 72 | 132 | 82 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 568 | 69 | 289 | 72 | 20 | 16 | 26 | 33 | 191 | 90 |
| 感染性胃腸炎 | 6392 | 1809 | 4761 | 994 | 2503 | 105 | 1362 | 983 | 1101 | 2823 |
| 水痘 | 95 | 33 | 47 | 23 | 40 | 6 | 36 | 27 | 20 | 33 |
| 手足口病 | 774 | 520 | 563 | 195 | 248 | 50 | 171 | 178 | 167 | 273 |
| 伝染性紅斑 | 17 | 6 | 12 | 4 | 10 | 0 | 2 | 7 | 2 | 5 |
| 突発性発しん | 330 | 94 | 194 | 94 | 214 | 6 | 50 | 79 | 149 | 106 |
| ヘルパンギーナ | 104 | 218 | 96 | 41 | 37 | 8 | 40 | 30 | 173 | 79 |
| 流行性耳下腺炎 | 45 | 18 | 17 | 5 | 21 | 2 | 20 | 1 | 12 | 21 |
| 急性出血性結膜炎 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 流行性角結膜炎 | 61 | 30 | 34 | 6 | 5 | 7 | 82 | 44 | 30 | 7 |
| 細菌性髄膜炎*B | 1 | 4 | 0 | 0 | — | — | — | — | 3 | 0 |
| 無菌性髄膜炎 | 3 | 10 | 0 | 0 | — | — | — | — | 12 | 0 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | 0 | 0 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | 0 | 0 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 1 | 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | 1 | 0 |

| 疾 病 名 | 龍野 | 赤穂 | 福崎 | 豊岡 | 朝来 | 丹波 | 洲本 | 計 |
|-------------------------|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-------|
| インフルエンザ**A | 15 | 12 | 4 | 4 | 6 | 3 | 17 | 807 |
| RSウイルス感染症 | 117 | 237 | 114 | 261 | 21 | 56 | 338 | 6512 |
| 咽頭結膜熱 | 22 | 26 | 2 | 35 | 32 | 33 | 37 | 993 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 10 | 114 | 11 | 48 | 31 | 14 | 58 | 1660 |
| 感染性胃腸炎 | 924 | 1330 | 289 | 1695 | 364 | 201 | 1389 | 29025 |
| 水痘 | 21 | 4 | 5 | 15 | 9 | 22 | 9 | 445 |
| 手足口病 | 58 | 33 | 42 | 205 | 101 | 92 | 106 | 3776 |
| 伝染性紅斑 | 2 | 4 | 1 | 4 | 8 | 1 | 3 | 88 |
| 突発性発しん | 30 | 72 | 11 | 80 | 54 | 18 | 33 | 1614 |
| ヘルパンギーナ | 24 | 4 | 2 | 48 | 20 | 26 | 7 | 957 |
| 流行性耳下腺炎 | 9 | 6 | 1 | 5 | 11 | 6 | 2 | 202 |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 流行性角結膜炎 | 4 | 0 | 13 | 1 | 0 | 0 | 2 | 326 |
| 細菌性髄膜炎*B | 0 | 0 | — | 3 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 無菌性髄膜炎 | 0 | 0 | — | 4 | 0 | 3 | 0 | 32 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0 | 1 | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |

*A鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *Bインフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表3-2 週報対象疾病の保健所別定点あたり患者数（2022年）

| 疾 病 名 | 神戸市 | 尼崎市 | 姫路市 | 西宮市 | 明石市 | 芦屋 | 伊丹 | 宝塚 | 加古川 | 加東 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| インフルエンザ ^{*A} | 4.35 | 7.57 | 5.53 | 9.36 | 2.64 | 2.67 | 3.50 | 4.56 | 2.71 | 2.85 |
| RSウイルス感染症 | 31.81 | 63.78 | 116.08 | 20.00 | 36.71 | 4.50 | 26.63 | 32.83 | 98.67 | 69.38 |
| 咽頭結膜熱 | 4.77 | 8.67 | 8.08 | 4.00 | 13.00 | 1.00 | 7.50 | 12.00 | 14.67 | 10.25 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 18.32 | 7.67 | 22.23 | 8.00 | 2.86 | 8.00 | 3.25 | 5.50 | 21.22 | 11.25 |
| 感染性胃腸炎 | 206.19 | 201.00 | 366.23 | 110.44 | 357.57 | 52.50 | 170.25 | 163.83 | 122.33 | 352.88 |
| 水痘 | 3.06 | 3.67 | 3.62 | 2.56 | 5.71 | 3.00 | 4.50 | 4.50 | 2.22 | 4.13 |
| 手足口病 | 24.97 | 57.78 | 43.31 | 21.67 | 35.43 | 25.00 | 21.38 | 29.67 | 18.56 | 34.13 |
| 伝染性紅斑 | 0.55 | 0.67 | 0.92 | 0.44 | 1.43 | 0.00 | 0.25 | 1.17 | 0.22 | 0.63 |
| 突発性発しん | 10.65 | 10.44 | 14.92 | 10.44 | 30.57 | 3.00 | 6.25 | 13.17 | 16.56 | 13.25 |
| ヘルパンギーナ | 3.35 | 24.22 | 7.38 | 4.56 | 5.29 | 4.00 | 5.00 | 5.00 | 19.22 | 9.88 |
| 流行性耳下腺炎 | 1.45 | 2.00 | 1.31 | 0.56 | 3.00 | 1.00 | 2.50 | 0.17 | 1.33 | 2.63 |
| 急性出血性結膜炎 | 0.20 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 流行性角結膜炎 | 6.10 | 10.00 | 11.33 | 2.00 | 2.50 | 7.00 | 41.00 | 22.00 | 10.00 | 3.50 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 0.33 | 4.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — | — | 3.00 | 0.00 |
| 無菌性髄膜炎 | 1.00 | 10.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — | — | 12.00 | 0.00 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — | — | 0.00 | 0.00 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — | — | 0.00 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0.33 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — | — | 1.00 | 0.00 |

| 疾 病 名 | 龍野 | 赤穂 | 福崎 | 豊岡 | 朝来 | 丹波 | 洲本 | 全県 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| インフルエンザ ^{*A} | 1.88 | 2.00 | 2.00 | 0.50 | 2.00 | 0.50 | 2.13 | 4.08 |
| RSウイルス感染症 | 23.40 | 59.25 | 114.00 | 52.20 | 10.50 | 14.00 | 67.60 | 50.88 |
| 咽頭結膜熱 | 4.40 | 6.50 | 2.00 | 7.00 | 16.00 | 8.25 | 7.40 | 7.76 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 2.00 | 28.50 | 11.00 | 9.60 | 15.50 | 3.50 | 11.60 | 12.97 |
| 感染性胃腸炎 | 184.80 | 332.50 | 289.00 | 339.00 | 182.00 | 50.25 | 277.80 | 226.76 |
| 水痘 | 4.20 | 1.00 | 5.00 | 3.00 | 4.50 | 5.50 | 1.80 | 3.48 |
| 手足口病 | 11.60 | 8.25 | 42.00 | 41.00 | 50.50 | 23.00 | 21.20 | 29.50 |
| 伝染性紅斑 | 0.40 | 1.00 | 1.00 | 0.80 | 4.00 | 0.25 | 0.60 | 0.69 |
| 突発性発しん | 6.00 | 18.00 | 11.00 | 16.00 | 27.00 | 4.50 | 6.60 | 12.61 |
| ヘルパンギーナ | 4.80 | 1.00 | 2.00 | 9.60 | 10.00 | 6.50 | 1.40 | 7.48 |
| 流行性耳下腺炎 | 1.80 | 1.50 | 1.00 | 1.00 | 5.50 | 1.50 | 0.40 | 1.58 |
| 急性出血性結膜炎 | 0.00 | — | 5.00 | 0.00 | — | — | 0.00 | 0.20 |
| 流行性角結膜炎 | 4.00 | — | 13.00 | 1.00 | — | — | 2.00 | 9.31 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 0.00 | 0.00 | — | 3.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.79 |
| 無菌性髄膜炎 | 0.00 | 0.00 | — | 4.00 | 0.00 | 3.00 | 0.00 | 2.29 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.00 | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0.00 | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0.00 | 1.00 | — | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.21 |

*A鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *Bインフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表3-3 月報対象疾病の保健所別患者数（2022年）

| 疾 病 名 | 神戸市 | 尼崎市 | 姫路市 | 西宮市 | 明石市 | 芦屋 | 伊丹 | 宝塚 | 加古川 | 加東 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|
| 性器クラミジア感染症 | 363 | 181 | 158 | 102 | 31 | 33 | 16 | 36 | 71 | 57 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 77 | 22 | 22 | 8 | 11 | 22 | 6 | 24 | 3 | 10 |
| 尖圭コンジローマ | 56 | 20 | 49 | 33 | 8 | 17 | 3 | 6 | 2 | 4 |
| 淋菌感染症 | 120 | 40 | 39 | 34 | 3 | 22 | 1 | 10 | 24 | 8 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 137 | 67 | 21 | 147 | — | — | — | — | 30 | 15 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 3 | 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | 0 | 0 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 6 | 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | 0 | 0 |

| 疾 病 名 | 龍野 | 赤穂 | 福崎 | 豊岡 | 朝来 | 丹波 | 洲本 | 計 |
|-------------------|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 性器クラミジア感染症 | 83 | 0 | 2 | 17 | 3 | 8 | 11 | 1172 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 9 | 0 | 12 | 14 | 0 | 5 | 0 | 245 |
| 尖圭コンジローマ | 3 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 1 | 207 |
| 淋菌感染症 | 9 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 | 316 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 28 | 13 | — | 11 | 17 | 69 | 28 | 583 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 2 | 0 | — | 2 | 3 | 0 | 3 | 13 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 0 | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |

付表3-4 月報対象疾病の保健所別定点あたり患者数（2022年）

| 疾 病 名 | 神戸市 | 尼崎市 | 姫路市 | 西宮市 | 明石市 | 芦屋 | 伊丹 | 宝塚 | 加古川 | 加東 |
|-------------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 性器クラミジア感染症 | 30.25 | 45.25 | 39.50 | 34.00 | 15.50 | 33.00 | 8.00 | 12.00 | 17.75 | 19.00 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 6.42 | 5.50 | 5.50 | 2.67 | 5.50 | 22.00 | 3.00 | 8.00 | 0.75 | 3.33 |
| 尖圭コンジローマ | 4.67 | 5.00 | 12.25 | 11.00 | 4.00 | 17.00 | 1.50 | 2.00 | 0.50 | 1.33 |
| 淋菌感染症 | 10.00 | 10.00 | 9.75 | 11.33 | 1.50 | 22.00 | 0.50 | 3.33 | 6.00 | 2.67 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 45.67 | 67.00 | 21.00 | 147.00 | — | — | — | — | 30.00 | 15.00 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 1.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — | — | 0.00 | 0.00 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 2.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | — | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

| 疾 病 名 | 龍野 | 赤穂 | 福崎 | 豊岡 | 朝来 | 丹波 | 洲本 | 全県 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 性器クラミジア感染症 | 83.00 | 0.00 | 2.00 | 17.00 | 3.00 | 8.00 | 5.50 | 25.48 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 9.00 | 0.00 | 12.00 | 14.00 | 0.00 | 5.00 | 0.00 | 5.33 |
| 尖圭コンジローマ | 3.00 | 0.00 | 0.00 | 4.00 | 0.00 | 1.00 | 0.50 | 4.50 |
| 淋菌感染症 | 9.00 | 0.00 | 1.00 | 0.00 | 1.00 | 0.00 | 2.00 | 6.87 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 28.00 | 13.00 | — | 11.00 | 17.00 | 69.00 | 28.00 | 41.64 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 2.00 | 0.00 | — | 2.00 | 3.00 | 0.00 | 3.00 | 0.93 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0.00 | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.43 |

付表4-1 週報対象疾病の年齢階級別患者数（2022年）

| | 0-5カ月 | 6-11カ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| インフルエンザ ^{※A} | 4 | 11 | 29 | 35 | 37 | 30 | 43 | 48 | 49 | 47 | 34 |
| RSウイルス感染症 | 501 | 618 | 1844 | 1547 | 1071 | 540 | 230 | 82 | 27 | 16 | 8 |
| 咽頭結膜熱 | 5 | 71 | 396 | 205 | 119 | 73 | 48 | 27 | 12 | 14 | 7 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 4 | 28 | 168 | 190 | 204 | 219 | 214 | 141 | 97 | 91 | 71 |
| 感染性胃腸炎 | 263 | 1643 | 4717 | 4165 | 3510 | 2896 | 2302 | 1684 | 1227 | 963 | 848 |
| 水痘 | 3 | 23 | 39 | 26 | 20 | 36 | 48 | 36 | 40 | 37 | 40 |
| 手足口病 | 38 | 287 | 1411 | 987 | 491 | 272 | 134 | 54 | 29 | 20 | 12 |
| 伝染性紅斑 | 1 | 7 | 20 | 8 | 6 | 7 | 8 | 7 | 7 | 5 | 4 |
| 突発性発しん | 24 | 424 | 884 | 179 | 50 | 34 | 9 | 4 | 2 | 2 | 0 |
| ヘルパンギーナ | 7 | 69 | 257 | 242 | 149 | 94 | 49 | 35 | 19 | 12 | 11 |
| 流行性耳下腺炎 | 0 | 0 | 5 | 7 | 15 | 27 | 33 | 23 | 21 | 27 | 11 |
| 急性出血性結膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 流行性角結膜炎 | 0 | 0 | 9 | 15 | 4 | 2 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| | 0歳 | 1-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 | 40-44歳 | 45-49歳 |
| 細菌性髄膜炎 ^{※B} | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 無菌性髄膜炎 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 4 | 1 | 2 | 1 | 0 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| クラミジア肺炎（オウム病を除く） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるもの） | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-29歳 | 30-39歳 | 40-49歳 | 50-59歳 | 60-69歳 | 70-79歳 | 80歳以上 | 計 | |
| インフルエンザ ^{※A} | 170 | 109 | 50 | 38 | 32 | 17 | 11 | 7 | 6 | 807 | |
| | 10-14歳 | 15-19歳 | 20歳以上 | | | | | | | | |
| RSウイルス感染症 | 12 | 2 | 14 | | | | | | | 6512 | |
| 咽頭結膜熱 | 9 | 0 | 7 | | | | | | | 993 | |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 164 | 28 | 41 | | | | | | | 1660 | |
| 感染性胃腸炎 | 2482 | 644 | 1681 | | | | | | | 29025 | |
| 水痘 | 91 | 2 | 4 | | | | | | | 445 | |
| 手足口病 | 17 | 3 | 21 | | | | | | | 3776 | |
| 伝染性紅斑 | 6 | 0 | 2 | | | | | | | 88 | |
| 突発性発しん | 0 | 0 | 2 | | | | | | | 1614 | |
| ヘルパンギーナ | 10 | 1 | 2 | | | | | | | 957 | |
| 流行性耳下腺炎 | 30 | 0 | 3 | | | | | | | 202 | |
| | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-29歳 | 30-39歳 | 40-49歳 | 50-59歳 | 60-69歳 | 70歳以上 | | | |
| 急性出血性結膜炎 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 0 | | 7 | |
| 流行性角結膜炎 | 5 | 18 | 46 | 68 | 55 | 35 | 28 | 35 | | 326 | |
| | 50-54歳 | 55-59歳 | 60-64歳 | 65-69歳 | 70歳以上 | | | | | | |
| 細菌性髄膜炎 ^{※B} | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 | | | | | 11 | |
| 無菌性髄膜炎 | 1 | 2 | 3 | 0 | 8 | | | | | 32 | |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 | |
| クラミジア肺炎（オウム病を除く） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 | |
| 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるもの） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | 3 | |

^{※A}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 ^{※B}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表4-2 週報対象疾病患者の年齢階級別割合 (%) (2022年)

| | 0-5カ月 | 6-11カ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| インフルエンザ ^{*A} | 0.50 | 1.36 | 3.59 | 4.34 | 4.58 | 3.72 | 5.33 | 5.95 | 6.07 | 5.82 | 4.21 |
| RSウイルス感染症 | 7.68 | 9.47 | 28.26 | 23.71 | 16.41 | 8.28 | 3.52 | 1.26 | 0.41 | 0.25 | 0.12 |
| 咽頭結膜熱 | 0.50 | 7.14 | 39.80 | 20.60 | 11.96 | 7.34 | 4.82 | 2.71 | 1.21 | 1.41 | 0.70 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.23 | 1.64 | 9.82 | 11.11 | 11.93 | 12.81 | 12.51 | 8.25 | 5.67 | 5.32 | 4.15 |
| 感染性胃腸炎 | 0.90 | 5.63 | 16.16 | 14.27 | 12.02 | 9.92 | 7.89 | 5.77 | 4.20 | 3.30 | 2.91 |
| 水痘 | 0.67 | 5.17 | 8.76 | 5.84 | 4.49 | 8.09 | 10.79 | 8.09 | 8.99 | 8.31 | 8.99 |
| 手足口病 | 1.01 | 7.60 | 37.39 | 26.15 | 13.01 | 7.21 | 3.55 | 1.43 | 0.77 | 0.53 | 0.32 |
| 伝染性紅斑 | 1.10 | 7.69 | 21.98 | 8.79 | 6.59 | 7.69 | 8.79 | 7.69 | 7.69 | 5.49 | 4.40 |
| 突発性発しん | 1.49 | 26.30 | 54.84 | 11.10 | 3.10 | 2.11 | 0.56 | 0.25 | 0.12 | 0.12 | 0.00 |
| ヘルパンギーナ | 0.73 | 7.20 | 26.83 | 25.26 | 15.55 | 9.81 | 5.11 | 3.65 | 1.98 | 1.25 | 1.15 |
| 流行性耳下腺炎 | 0.00 | 0.00 | 2.36 | 3.30 | 7.08 | 12.74 | 15.57 | 10.85 | 9.91 | 12.74 | 5.19 |
| 急性出血性結膜炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 流行性角結膜炎 | 0.00 | 0.00 | 2.85 | 4.75 | 1.27 | 0.63 | 0.95 | 0.63 | 0.00 | 0.32 | 0.00 |
| | 0歳 | 1-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 | 40-44歳 | 45-49歳 |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 8.33 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 8.33 | 0.00 |
| 無菌性髄膜炎 | 2.38 | 0.00 | 2.38 | 0.00 | 7.14 | 14.29 | 4.76 | 2.38 | 7.14 | 4.76 | 4.76 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.00 | 10.00 | 0.00 | 40.00 | 10.00 | 10.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 10.00 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0.00 | 0.00 | 100.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0.00 | 57.14 | 14.29 | 28.57 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-29歳 | 30-39歳 | 40-49歳 | 50-59歳 | 60-69歳 | 70-79歳 | 80歳以上 | 計 | |
| インフルエンザ ^{*A} | 21.07 | 13.51 | 6.20 | 4.71 | 3.97 | 2.11 | 1.36 | 0.87 | 0.74 | 100.00 | |
| | 10-14歳 | 15-19歳 | 20歳以上 | | | | | | | | |
| RSウイルス感染症 | 0.18 | 0.03 | 0.41 | | | | | | | 100.00 | |
| 咽頭結膜熱 | 0.90 | 0.00 | 0.90 | | | | | | | 100.00 | |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 9.59 | 1.64 | 5.32 | | | | | | | 100.00 | |
| 感染性胃腸炎 | 8.50 | 2.21 | 6.33 | | | | | | | 100.00 | |
| 水痘 | 20.45 | 0.45 | 0.90 | | | | | | | 100.00 | |
| 手足口病 | 0.45 | 0.08 | 0.50 | | | | | | | 100.00 | |
| 伝染性紅斑 | 6.59 | 0.00 | 5.49 | | | | | | | 100.00 | |
| 突発性発しん | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | | | | | 100.00 | |
| ヘルパンギーナ | 1.04 | 0.10 | 0.31 | | | | | | | 100.00 | |
| 流行性耳下腺炎 | 14.15 | 0.00 | 6.13 | | | | | | | 100.00 | |
| | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-29歳 | 30-39歳 | 40-49歳 | 50-59歳 | 60-69歳 | 70歳以上 | | | |
| 急性出血性結膜炎 | 19.23 | 69.23 | 0.00 | 3.85 | 3.85 | 3.85 | 0.00 | 0.00 | | 100.00 | |
| 流行性角結膜炎 | 3.16 | 3.80 | 20.89 | 17.41 | 18.35 | 9.49 | 6.33 | 9.18 | | 100.00 | |
| | 50-54歳 | 55-59歳 | 60-64歳 | 65-69歳 | 70歳以上 | | | | | | |
| 細菌性髄膜炎 ^{*B} | 8.33 | 16.67 | 16.67 | 0.00 | 41.67 | | | | | 100.00 | |
| 無菌性髄膜炎 | 7.14 | 0.00 | 9.52 | 2.38 | 30.95 | | | | | 100.00 | |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 20.00 | | | | | 100.00 | |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | | | 100.00 | |
| 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの) | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | | | | | 100.00 | |

*A鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。*Bインフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表4-3 月報対象疾病の年齢階級別患者数(2022年)

| 疾 病 名 | 0歳 | 1-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 |
|-------------------|----|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 性器クラミジア感染症 | 0 | 0 | 0 | 2 | 100 | 342 | 259 | 134 | 115 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 0 | 0 | 0 | 2 | 8 | 19 | 31 | 28 | 27 |
| 尖圭コンジローマ | 0 | 1 | 0 | 0 | 11 | 44 | 28 | 28 | 18 |
| 淋菌感染症 | 0 | 0 | 1 | 0 | 22 | 87 | 55 | 32 | 22 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 21 | 5 | 4 | 3 | 1 | 6 | 7 | 7 | 7 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 疾 病 名 | 40-44歳 | 45-49歳 | 50-54歳 | 55-59歳 | 60-64歳 | 65-69歳 | 70歳以上 | 計 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|------|
| 性器クラミジア感染症 | 73 | 69 | 48 | 16 | 10 | 4 | 0 | 1172 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 31 | 19 | 26 | 22 | 10 | 8 | 14 | 245 |
| 尖圭コンジローマ | 10 | 19 | 21 | 11 | 7 | 4 | 5 | 207 |
| 淋菌感染症 | 28 | 17 | 28 | 13 | 8 | 3 | 0 | 316 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 9 | 9 | 11 | 21 | 19 | 39 | 414 | 583 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 13 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 6 |

付表4-4 月報対象疾病患者の年齢階級別割合(%) (2022年)

| 疾 病 名 | 0歳 | 1-4歳 | 5-9歳 | 10-14歳 | 15-19歳 | 20-24歳 | 25-29歳 | 30-34歳 | 35-39歳 |
|-------------------|------|-------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 性器クラミジア感染症 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.17 | 8.53 | 29.18 | 22.10 | 11.43 | 9.81 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.82 | 3.27 | 7.76 | 12.65 | 11.43 | 11.02 |
| 尖圭コンジローマ | 0.00 | 0.48 | 0.00 | 0.00 | 5.31 | 21.26 | 13.53 | 13.53 | 8.70 |
| 淋菌感染症 | 0.00 | 0.00 | 0.32 | 0.00 | 6.96 | 27.53 | 17.41 | 10.13 | 6.96 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 3.60 | 0.86 | 0.69 | 0.51 | 0.17 | 1.03 | 1.20 | 1.20 | 1.20 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0.00 | 23.08 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 7.69 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

| 疾 病 名 | 40-44歳 | 45-49歳 | 50-54歳 | 55-59歳 | 60-64歳 | 65-69歳 | 70歳以上 | 計 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 性器クラミジア感染症 | 6.23 | 5.89 | 4.10 | 1.37 | 0.85 | 0.34 | 0.00 | 100.00 |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 12.65 | 7.76 | 10.61 | 8.98 | 4.08 | 3.27 | 5.71 | 100.00 |
| 尖圭コンジローマ | 4.83 | 9.18 | 10.14 | 5.31 | 3.38 | 1.93 | 2.42 | 100.00 |
| 淋菌感染症 | 8.86 | 5.38 | 8.86 | 4.11 | 2.53 | 0.95 | 0.00 | 100.00 |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 1.54 | 1.54 | 1.89 | 3.60 | 3.26 | 6.69 | 71.01 | 100.00 |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 69.23 | 100.00 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0.00 | 0.00 | 16.67 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 83.33 | 100.00 |

付表5 月報対象疾病の性別患者数と割合(%) (2022年)

| 疾 病 名 | 男 (%) | 女 (%) | 計 (%) |
|-------------------|-------------|-------------|---------------|
| 性器クラミジア感染症 | 554 (47.27) | 618 (52.73) | 1172 (100.00) |
| 性器ヘルペスウイルス感染症 | 79 (32.24) | 166 (67.76) | 245 (100.00) |
| 尖圭コンジローマ | 134 (64.73) | 73 (35.27) | 207 (100.00) |
| 淋菌感染症 | 250 (79.11) | 66 (20.89) | 316 (100.00) |
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 347 (59.52) | 236 (40.48) | 583 (100.00) |
| ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 7 (53.85) | 6 (46.15) | 13 (100.00) |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 5 (83.33) | 1 (16.67) | 6 (100.00) |

兵庫県感染症発生動向調査事業実施要領

第1 目 的

感染症対策については、近年の新たな感染症の出現とともに、これまで制圧されてきた感染症の再興など感染症の脅威と感染症を取り巻く状況の変化に対応するため、健康危機管理の観点から、迅速かつ的確な対応、感染症の発生、拡大に備えた事前対応型の行政の構築などを柱として、平成11年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）が施行された。

感染症発生動向調査事業は、県内の感染症の発生情報を正確に把握・分析、その情報を速やかに地域に公表することにより、地域住民の感染症に対する理解と協力を促し、医療機関における適切な初期診療や予防接種・衛生教育等の適切な予防措置を進め、感染症の発生及びまん延を防止するとともに、病原体情報（検査情報も含む。以下同じ）を収集、分析することで、流行している病原体の検出状況及び特性を確認し、適切な感染症対策を立案することを目的として実施する。

第2 法令等の遵守

本事業の実施にあたっては、感染症法及び国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱（以下、「国要綱」という。）を遵守する。

第3 対象感染症

本事業の対象とする感染症は、別表1のとおりとする。

第4 実施主体

実施主体は、兵庫県（以下、「県」という。）及び神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市及び明石市（以下「保健所設置市」という。）とする。

第5 実施体制

1 基幹地方感染症情報センター及び地方感染症情報センター

地方感染症情報センターは、県又は保健所設置市の管轄区域内における患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、県又は保健所設置市の感染症所管課に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開することとして、県又は保健所設置市ごとに、原則として、地方衛生研究所内に地方感染症情報センターを設置する。

また、基幹地方感染症情報センターを県の地方感染症情報センター内に設置し、保健所設置市の地方感染症情報センター等と連携のうえ県全域にわたる患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、その結果を地方感染症情報センター、県保健医療部感染症等対策室感染症対策課（以下、「県感染症対策課」という。）に報告するとともに、全国情報と併せて、これらをインターネット等により速やかに情報公開する。

なお、基幹地方感染症情報センターは情報の収集、分析の効果的、効率的な運

用を図るため、必要に応じて兵庫県健康づくり審議会感染症対策専門委員会の助言を求める。

2 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

(1) 県は、定点把握対象の感染症について、患者及び当該感染症により死亡した者（感染症法第14条第1項の厚生労働省令で定める五類感染症に限る。）の情報及び疑似症情報を収集するため、感染症法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点をあらかじめ指定する。

なお、保健所設置市内の定点については、保健所設置市の推薦に基づき指定する。

(2) 県は、定点把握対象の五類感染症について、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点をあらかじめ指定する。

また、感染症法施行規則第7条の3に規定する五類感染症については、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を指定する。

なお、保健所設置市内の定点については、保健所設置市の推薦に基づき指定する。

3 検査施設

県及び保健所設置市の管轄区域内における本事業に係る検体等の検査については、地方衛生研究所若しくは県健康福祉事務所（以下、「健康福祉事務所」という。）又は保健所設置市の検査施設において実施する。

地方衛生研究所若しくは健康福祉事務所又は保健所設置市の検査施設（以下、「地方衛生研究所等」という。）は、県又は保健所設置市がそれぞれ別に定める検査施設における病原体検査の業務管理要領（以下「病原体検査要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

また、所管する地方衛生研究所等において実施できない検査について、保健所設置市は県立健康科学研究所に協力を依頼し、県立健康科学研究所において実施できない検査については、県又は保健所設置市は国立感染症研究所等に協力を依頼するなど検査実施体制を確保する。

第6 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び全数把握対象の五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 健康福祉事務所・保健所

(ア) 感染症法第12条に基づく医師からの届出（当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体を検案した場合を含む。）、または感染症法第13条に基づく獣医師からの届出を受けた健康

福祉事務所又は保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力するものとする。

また、健康福祉事務所又は保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持する医療機関に対して、病原体検査のための検体等の提供について、県又は保健所設置市がそれぞれ別に定める様式の検査票（以下「検査票」という。）を添付して依頼等を行うものとする。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じてそれぞれの感染症所管課及び地方衛生研究所と協議する。

- (イ) 健康福祉事務所又は保健所は、検体等の提供を受けた場合には、検査票を添付して地方衛生研究所等へ検査を依頼するものとする。
- (ウ) 健康福祉事務所又は保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

イ 地方衛生研究所等

- (ア) 地方衛生研究所等は、検査票及び検体等が送付された場合にあつては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を健康福祉事務所又は保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、健康福祉事務所又は保健所、県感染症対策課、地方感染症情報センター又は中央感染症情報センター（国立感染症研究所感染症疫学センター。以下同じ。）に報告する。

また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに送付する。

- (イ) 保健所設置市の地方衛生研究所等において実施することが困難な検査については、必要に応じて県立健康科学研究所に依頼する。

なお、県立健康科学研究所においても実施することが困難な検査については、必要に応じて国立感染症研究所に依頼する。

- (ウ) 患者が一類感染症と診断されている場合、県域を超えた感染症の集団発生があった場合等の緊急的な場合及び国から提出を求められた場合にあつては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

ウ 地方感染症情報センター

- (ア) 地方感染症情報センターは、管轄区域の患者情報について、健康福祉事務所又は保健所等から情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

- (イ) 地方感染症情報センターは、管轄区域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報。以下同じ。）等として公表される県情報、全国情報と併せて、健康福祉事務所や保健所等の関係機関に提供・公開する。

エ 基幹地方感染症情報センター

基幹地方感染症情報センターは、県域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集し、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

オ 県感染症対策課・保健所設置市感染症所管課

県感染症対策課又は保健所設置市感染症所管課は、基幹地方感染症情報センター及び地方感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。

なお、緊急の場合や国から対応を求められた場合においては、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

カ 情報の報告等

(ア) 県感染症対策課、保健所設置市感染症所管課は、その管轄する区域外に居住する者について感染症法第12条第1項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県知事等に通報する。

(イ) 保健所設置市は、厚生労働大臣に対して、感染症法第12条の規定による発生届出の一連の事務の中で、同条第2項の報告を行う場合、感染症法第15条の規定による積極的疫学調査の一連の事務の中で、同条第13項の報告を行う場合は、併せて都道府県知事に報告する。

(ウ) 県感染症対策課又は保健所設置市感染症所管課は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、感染症法第15条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県知事等に通報する。

(エ) (ア)～(ウ)の報告等について、感染症サーベイランスシステムにより相互に情報を閲覧できる措置を講じた場合は、当該報告をしたものとみなす。

2 定点把握対象の五類感染症

(1) 対象とする感染症の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合及び当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体と検案される場合とする。

(2) 定点の指定

ア 患者定点

感染症法第14条に定める定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、県は次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を指定する。

また、定点の指定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ県全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

なお、保健所設置市内の患者定点の指定にあたっては、保健所設置市の推薦に基づき指定する。

(ア) 小児科定点

別表2の小児科定点の対象感染症については、小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）を小児科定点として指定する。小児科定点の数は国要綱に基づき算定する。この場合において、小児科定点とし

て指定された医療機関は、インフルエンザ定点、新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」とする）定点として協力するよう努める。なお、インフルエンザ定点と COVID-19 定点は同一とする（インフルエンザ／COVID-19 定点）。

（イ）インフルエンザ定点

別表 2 のインフルエンザ／COVID-19 定点の対象感染症については、前記（ア）で指定した小児科定点のうちインフルエンザ／COVID-19 定点として協力する小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ／COVID-19 定点とする。内科定点の数は国要綱に基づき算定する。

（ウ）眼科定点

別表 2 の眼科定点の対象疾患については、眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）を眼科定点として指定すること。眼科定点の数は国要綱に基づき算定する。

（エ）性感染症定点

別表 2 の性感染症定点の対象疾患については、産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和 23 年政令第 326 号）第 3 条の 2 第 1 項第 1 号ハ及び二（ 2 ）の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）を性感染症定点として指定する。性感染症定点の数は国要綱に基づき算定する。

（オ）基幹定点

別表 2 の基幹定点の対象疾患については、対象患者がほとんど入院患者であるため、患者を 300 人以上収容する施設を有する病院であって内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を 2 次医療圏域毎に 1 カ所以上、基幹定点として指定する。

なお、基幹定点においては、別表 2 のインフルエンザ定点及び COVID-19 定点と異なり、入院患者に限定される。

イ 病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、県は、次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て、原則、患者定点として指定された医療機関の中から病原体定点を指定する。

また、定点の指定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ県全体の発生状況を把握できるよう考慮する。

同様に感染症法第 14 条の 2 に規定されている別表 1 の(90)に掲げるインフルエンザの病原体の分離等検査情報を収集するために、次の（エ）のインフルエンザ病原体定点を指定提出機関として指定する。

なお、病原体定点の数等については、次の基準の範囲内で、県が保健所設置市と協議して決定する。

（ア）小児科病原体定点

アの（ア）により指定された患者定点の概ね 10% を小児科病原体定点とする。

(イ) 眼科病原体定点

アの(ウ)により指定された患者定点の概ね10%を眼科病原体定点として指定する。

(ウ) 基幹病原体定点

アの(オ)により指定された患者定点の全てを基幹病原体定点として指定する。

(エ) インフルエンザ病原体定点・指定提出機関

アの(ア)及び(イ)により指定された患者定点の概ね10%とし、それぞれ3定点と2定点を下回らないよう指定する。

(3) 調査単位等

(ア) 患者定点に係る調査単位の期間等は、別表2のとおりとする。

(イ) 小児科病原体定点に係る調査単位の期間等は、別表3のとおりとする。

(4) 実施方法

ア 患者定点

(ア) 患者定点として指定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準(平成18年3月8日健感発第0308001号厚生労働省健康局結核感染症課長通知。以下同じ。)により、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2)のアにより指定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの健康福祉事務所又は保健所が定める方法により行って差し支えない。

(ウ) (イ)の届出に当たっては感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 病原体定点

(ア) 病原体定点として指定された医療機関は、県又は保健所設置市が別に定めるところにより病原体検査のために検体等を採取する。

(イ) 小児科病原体定点においては、患者発生状況を踏まえ、県又は保健所設置市が別に定めるところにより、別表3の対象感染症のうち複数の感染症について、毎月、原則として概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を、検査票を添えて、梱包のうえ、地方衛生研究所等に提出するものとする。

(ウ) インフルエンザ病原体定点として指定された医療機関は、インフルエンザ(インフルエンザ様疾患を含む。)について、調査単位ごとに1検体程度を梱包のうえ、地方衛生研究所等に提出する。

(エ) その他の病原体定点として指定された医療機関は、県又は保健所設置市が別に定めるところにより、検体等について、検査票を添えて、梱包のうえ、速やかに地方衛生研究所等に提出する。

ウ 検体等を所持している医療機関等

健康福祉事務所又は保健所から当該患者の病原体検査のための検体等を提供の依頼を受けた場合にあつては、健康福祉事務所又は保健所に協力し、検体等を提供する。

エ 健康福祉事務所・保健所

(ア) 届出を受けた健康福祉事務所又は保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医療機関からの届出である場合には、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症サーベイランスシステムに入力する。

また、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、県感染症対策課又は保健所設置市感染症所管課並びに地方感染症情報センターに報告する。

なお、健康福祉事務所又は保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、検査票を添付して病原体検査のための検体等の提供の依頼等を行い、地方衛生研究所等へ検査を依頼するものとする。病原体検査の必要性の判断及び実施等については、必要に応じて県感染症対策課又は保健所設置市感染症所管課及び地方衛生研究所等と協議する。

(イ) 健康福祉事務所又は保健所は、検体等の提供を受けた場合には、検査票を添付して地方衛生研究所等へ検査を依頼するものとする。

(ウ) 健康福祉事務所又は保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況を把握し、市町、医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

オ 地方衛生研究所等

(ア) 地方衛生研究所等は、検査票及び検体等が送付された場合にあつては、病原体検査要領に基づき当該検体を検査し、その結果を病原体情報として健康福祉事務所又は保健所を経由して病原体定点に通知するとともに、県感染症対策課及び保健所設置市感染症所管課並びに地方感染症情報センターに送付する。

また、病原体情報については、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(イ) 保健所設置市の地方衛生研究所等において実施することが困難な検査については、必要に応じて県立健康科学研究所に検査を依頼する。

なお、県立健康科学研究所においても検査が困難な場合は、必要に応じて国立感染症研究所に協力を依頼するものとする。

(ウ) 地方衛生研究所等は、県域を超えた集団発生があつた場合等の緊急の場合及び国から提出を求められ場合にあつては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

カ 地方感染症情報センター

(ア) 地方感染症情報センターは、県又は保健所設置市の管轄区域の患者情報について、健康福祉事務所又は保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 地方感染症情報センターは、県又は保健所設置市の管轄区域内の全ての患

者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される県情報、全国情報と併せて、健康福祉事務所又は保健所等の関係機関に提供・公開する。

キ 基幹地方感染症情報センター

基幹感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、県感染症対策課、保健所設置市感染症所管課及び健康福祉事務所、保健所、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

ク 県感染症対策課・保健所設置市感染症所管課

県感染症対策課又は保健所設置市感染症所管課は、基幹地方感染症情報センター及び地方感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。

なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県とも連携の上、迅速な対応を行う。

3 感染症法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(1) 対象とする疑似症の状態

届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 疑似症定点の指定

県は次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て疑似症定点を指定する。また、定点の指定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ県全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮すること。

具体的な疑似症定点の届出医療機関は、以下の医療機関のうちから、アからウの順に優先順位をつけ、感染症法施行規則第 6 条第 2 項に定められる基準を踏まえ選定すること。

なお、保健所設置市内の疑似症定点の指定にあたっては、保健所設置市の推薦に基づき指定すること。

ア 診療報酬に基づく特定集中治療室管理料(1～4)、小児特定集中治療室管理料又はハイケアユニット入院医療管理料(1～2)の届出をしている医療機関。

イ 法に基づく感染症指定医療機関

- ・法に基づく特定感染症指定医療機関
- ・法に基づく第一種感染症指定医療機関
- ・法に基づく第二種感染症指定医療機関

ウ マスギャザリング(一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団)において、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関(例:大規模なスポーツ競技会等において、観客や大会運営関係者が受診する可能性がある医療機関)

県は疑似症定点と疑似症定点以外の医療機関との連携体制をあらかじめ構築するよう取組むこととし、疑似症定点以外の医療機関においても、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項及び第 14 条第 2

項に基づく届出の基準について」(平成18年3月8日健感発第0308001号厚生労働省健康局結核感染症課長通知)の別紙「医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準」(以下、「届出基準」という。)に該当すると判断される患者については、疑似症定点や健康福祉事務所又は保健所に相談できるよう予め疑似症定点に指定されている医療機関名や相談先を示すなどの配慮を行い、疑似症の迅速かつ適切な把握に努める。

(3) 実施方法

ア 疑似症定点

- (ア) 疑似症定点として指定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、診療時において、届出基準により、直ちに疑似症発生状況の把握を行うものとする。
- (イ) (2)により選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、直ちに疑似症発生状況等を記載する。なお、当該疑似症の届出については、原則として感染症サーベイランスシステムへの入力により実施することとする。
- (ウ) (イ)の届出に当たっては感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 健康福祉事務所・保健所

- (ア) 健康福祉事務所又は保健所は、疑似症定点における感染症サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに、感染症サーベイランスシステムに入力するものとし、また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、県感染症対策課又は保健所設置市感染症所管課及び地方感染症情報センターに報告する。
- (イ) 健康福祉事務所・保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町、医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

ウ 地方感染症情報センター

- (ア) 地方感染症情報センターは管轄区域の疑似症情報について、健康福祉事務所又は保健所等からの情報の入力済み報告があり次第、登録情報の確認を行う。
- (イ) 地方感染症情報センターは管轄区域内の全ての疑似症情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される県情報、全国情報と併せて、健康福祉事務所又は保健所等の関係機関に提供・公開する。

エ 基幹地方感染症情報センター

基幹地方感染症情報センターは、県内の全ての疑似症情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、県感染症対策課、保健所設置市感染症所管課及び健康福祉事務所、保健所、地方感染症情報センター等の関係機関に情報提供する。

オ 県感染症対策課・保健所設置市感染症所管課

地方感染症情報センターが収集、分析した疑似症情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。

なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、直接必要な情

報を収集するとともに、国及び他の都道府県と連携の上、迅速な対応を行う。

4 感染症法第14条8項の規定に基づく疑似症

3の(1)及び(3)を適応し疑似症定点にかかる記載は「疑似症定点以外」と読みかえる。

5 その他

- (1) 上記の実施方法以外の部分について、必要と認められる場合には、県の実情に応じた追加を行い、地域における効果的・効率的な感染症発生動向調査を構築していくこととする。
- (2) 本実施要領に定める事項以外の内容については、保健所設置市の意見を聴取したうえで、必要に応じて県保健医療部感染症等対策室感染症対策課長が定めることとする。

6 保健所設置市との関係

県は、本事業を実施するため保健所設置市と協議し、連携を図る。

なお、本要領に定める保健所設置市内の保健所設置市感染症所管課、保健所、地方衛生研究所等及び地方感染症情報センターの機能及び役割分担等については、実情に応じて保健所設置市が別に定めることができる。

附 則

- 1 この実施要領は、平成22年9月1日から施行する。
- 2 兵庫県結核・感染症発生動向調査事業実施要綱（昭和62年1月1日施行）は廃止する。
- 3 この実施要領の一部改正は、平成23年2月1日から施行する。
- 4 この実施要領の一部改正は、平成23年9月5日から施行する。
- 5 この実施要領の一部改正は、平成25年3月4日から施行する。
- 6 この実施要領の一部改正は、平成25年4月1日から施行する。
- 7 この実施要領の一部改正は、平成25年10月14日から施行する。
- 8 この実施要領の一部改正は、平成26年7月26日から施行する。
- 9 この実施要領の一部改正は、平成26年9月19日から施行する。
- 10 この実施要領の一部改正は、平成27年1月21日から施行する。
- 11 この実施要領の一部改正は、平成28年2月15日から施行する。
- 12 この実施要領の一部改正は、平成28年4月1日から施行する。

なお、第6の3(4)のイ(イ)及び(エ)の規定にかかわらず、姫路市内、尼崎市内、西宮市内の病原体定点（インフルエンザ定点を除く。）として指定された医療機関は、当面の間、検体等を県立健康科学研究所に送付するものとする。

- 13 この実施要領の一部改正は、平成30年1月1日から施行する。
また、第6の4(3)のア(イ)及びイ(ア)の改正は平成30年3月1

日から施行する。さらに第4及び第6の1(1)のイ(イ)及び第6の3(4)のオ(イ)の改正は、平成30年4月1日から施行することとし、第6の3(4)のイ(イ)及び(エ)の規定にかかわらず、明石市内の病原体定点(インフルエンザ定点を除く。)として指定された医療機関は、当面の間、検体等を県立健康科学研究所に送付するものとする。

14 この実施要領の一部改正は、平成30年5月1日から施行する。

15 この実施要領の一部改正は、平成31年4月1日から施行する。

16 この実施要領の一部改正は、令和2年2月1日から施行する。

17 この実施要領の一部改正は、令和2年5月29日から施行する。

18 この実施要領の一部改正は、令和3年2月13日から施行する。

19 この実施要領の一部改正は、令和4年4月1日から施行する。

20 この実施要領の一部改正は、令和4年10月31日から施行する。

21 この実施要領の一部改正は、令和5年5月8日から施行する。

ただし、附則12の「第6の3」では「第6の2」と読み替え、また附則13中の「さらに」以降、「第6の3」は「第6の2」と読み替え、それぞれ適用を継続する。

22 この実施要領の一部改正は、令和5年5月26日から施行する。

附則21のただし書きの内容については、引き続き適用する。

23 この実施要領の一部改正は、令和5年9月25日から施行する。

附則21のただし書きの内容については、引き続き適用する。

別表1 兵庫県感染症発生動向調査事業の対象感染症

| 類型 | 疾患名 | 届出 |
|----|--|----|
| 一類 | (1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱 | 全数 |
| 二類 | (8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、(12)中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）、(13)鳥インフルエンザ (H5N1) (14)鳥インフルエンザ (H7N9) | 全数 |
| 三類 | (15)コレラ、(16)細菌性赤痢、(17)腸管出血性大腸菌感染症、(18)腸チフス、(19)パラチフス | 全数 |
| 四類 | (20) E 型肝炎、(21)ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、(22) A 型肝炎、(23)エキノコックス症、(24) エムポックス、(25)黄熱、(26)オウム病、(27)オムスク出血熱、(28)回帰熱、(29)キャサヌル森林病、(30)Q 熱、(31)狂犬病、(32)コクシジオイデス症、(33)ジカウイルス感染症、(34)重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 S F T S ウイルスであるものに限る。）、(35)腎症候性出血熱、(36)西部ウマ脳炎、(37)ダニ媒介脳炎、(38)炭疽、(39)チクングニア熱、(40)つつが虫病、(41)デング熱、(42)東部ウマ脳炎、(43)鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9 を除く。）、(44)ニパウイルス感染症、(45)日本紅斑熱、(46)日本脳炎、(47)ハンタウイルス肺症候群、(48) B ウイルス病、(49)鼻疽、(50)ブルセラ症、(51)ベネズエラウマ脳炎、(52)ヘンドラウイルス感染症、(53)発しんチフス、(54)ボツリヌス症、(55)マラリア、(56)野兎病、(57)ライム病、(58)リッサウイルス感染症、(59)リフトバレー熱、(60)類鼻疽、(61)レジオネラ症、(62)レプトスピラ症、(63)ロッキー山紅斑熱 | 全数 |
| 五類 | (64)アメーバ赤痢、(65)ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、(66)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、(67)急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）、(68)急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、(69)クリプトスポリジウム症、(70)クロイツフェルト・ヤコブ病、(71)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(72)後天性免疫不全症候群、(73)ジアルジア症、(74)侵襲性インフルエンザ菌感染症、(75)侵襲性髄膜炎菌感染症、(76)侵襲性肺炎球菌感染症、(77)水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）、(78)先天性風しん症候群、(79)梅毒、(80)播種性クリプトコックス症、(81)破傷風、(82)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(83)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(84)百日咳、(85)風しん、(86)麻しん、(87)薬剤耐性アシネトバクター感染症 | 全数 |

| | | |
|---------------|---|------|
| | (88)RS ウイルス感染症、(89)咽頭結膜熱、(90)インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、(91)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(92)感染性胃腸炎、(93)急性出血性結膜炎、(94)クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、(95)細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、(96)新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）、(97)水痘、(98)性器クラミジア感染症、(99)性器ヘルペスウイルス感染症、(100)尖圭コンジローマ、(101)手足口病、(102)伝染性紅斑、(103)突発性発しん、(104)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(105)ヘルパンギーナ、(106)マイコプラズマ肺炎、(107)無菌性髄膜炎、(108)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(109)薬剤耐性緑膿菌感染症、(110)流行性角結膜炎、(111)流行性耳下腺炎、(112)淋菌感染症 | 定点 |
| 疑似症 | 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症 (117)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象 | 定点 |
| | (118)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、都道府県知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。 | 定点以外 |
| 新型インフルエンザ等感染症 | (113)新型インフルエンザ、(114)再興型インフルエンザ、(115)新型コロナウイルス感染症、(116)再興型コロナウイルス感染症 | 全数 |

別表2 定点把握対象の五類感染症の調査単位

| 定点種類 | 対象疾患 | 調査単位 |
|-------------------------|--|---------------|
| 小児科定点 | (88)RS ウイルス感染症、(89)咽頭結膜熱、(91)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(92)感染性胃腸炎、(97)水痘、(101)手足口病、(102)伝染性紅斑、(103)突発性発しん、(105)ヘルパンギーナ、(111)流行性耳下腺炎 | 1週間(月曜日から日曜日) |
| インフルエンザ /COVID-19 定点 | (90)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)、(96)新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。) | 1週間(月曜日から日曜日) |
| 眼科定点 | (93)急性出血性結膜炎、(110)流行性角結膜炎 | 1週間(月曜日から日曜日) |
| 性感染症定点 | (98)性器クラミジア感染症、(99)性器ヘルペスウイルス感染症、(100)尖圭コンジローマ、(112)淋菌感染症 | 各月 |
| 基幹定点 | (90)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)※ただし、入院患者に限定する。 (92)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(94)クラミジア肺炎(オウム病を除く。)、(95)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)、(106)マイコプラズマ肺炎、(107)無菌性髄膜炎 | 1週間(月曜日から日曜日) |
| | (104)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(108)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (109)薬剤耐性緑膿菌感染症 | 各月 |

別表3 病原体定点把握対象の五類感染症の調査単位

| 定点種類 | 対象疾患 | 調査単位 |
|------------------|--|---|
| 小児科病原体 定点 | (88)RS ウイルス感染症、(89)咽頭結膜熱、 (91)A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(92)感染 性胃腸炎、(97)水痘、(101)手足口病、(102) 伝染性紅斑、(103)突発性発しん、(105)ヘル パンギーナ、(111)流行性耳下腺炎 | 各月 |
| インフルエン ザ病原体定点 | (90)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く。) | 流行期（兵庫県におけるインフ ルエンザ定点の1定点あたりの 患者数が1を超えた時点から1 を下回るまでの期間には1週間 (月曜日か日曜日) 非流行期（流行期以外の期間） には各月 |
| 眼科病原体 定点 | (93)急性出血性結膜炎、(110)流行性角結膜 炎 | 各月 |
| 基幹病原体 定点 | (92)のうち病原体がロタウイルスであるも の、(95)細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、 髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された 場合を除く。）、(107)無菌性髄膜炎 | 各月 |

2022年 兵庫県感染症発生動向調査事業年報

発行 2024年1月31日
発行者 大橋 秀隆
発行所 兵庫県立健康科学研究所
(兵庫県感染症情報センター)
電話 079-440-9090 (代表)
Fax 079-438-5570
メール kenkokagaku@pref.hyogo.lg.jp

